

# **ESMPRO/JMSS Ver6.0 開発キット JAPI**

---

ユーザーズマニュアル



# は し が き

本書は、ESMPRO/JMSS 開発キット JAPI (以降 JAPI と称します)で提供している API について説明しています。JAPI を利用すると、Visual C++ 等で作成したアプリケーションから、JMSS で監視しているジョブの制御等を行うことができます。

本書の構成は、次のとおりです。

| 章 | タイトル                           | 内容                             |
|---|--------------------------------|--------------------------------|
| 1 | 概要                             | JAPI の概要について                   |
| 2 | Visual C# .NET 用 API リファレンス    | Visual C# .NET 用 API リファレンス    |
| 3 | Visual Basic .NET 用 API リファレンス | Visual Basic .NET 用 API リファレンス |
| 4 | Visual C++用 API リファレンス         | Visual C++用 API リファレンス         |
| 5 | Visual Basic 用 API リファレンス      | Visual Basic 用 API リファレンス      |
| 6 | COBOL85 用 API リファレンス           | COBOL85 用 API リファレンス           |
| 7 | エラーコード一覧                       | API で返却されるエラーコードについて           |
| 8 | 互換性留意事項                        | 旧バージョンとの互換性について                |
| 9 | ホスト連携機能                        | ホスト連携機能について                    |

なお、セットアップ方法については、セットアップカードを参照してください。

2003 年 10 月 初 版

## 備考

(1)本書は、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows Server 2003、Windows 98/Me/XP に対応しています。

(2)Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Windows 98 は、Microsoft® Windows® 98 の略称です。

Windows NT 4.0 は、Microsoft® Windows NT® Server 4.0、Microsoft® Windows NT® WorkStation 4.0 の略称です。

JMSS は日本電気ソフトウェア株式会社の登録商標です。

その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

# 目 次

|  |    |
|--|----|
| 第1章 概要 .....                             | 1  |
| 1.1 JAPI とは .....                        | 1  |
| 1.2 開発プラットフォーム .....                     | 1  |
| 1.3 提供 API 群 .....                       | 1  |
| 1.4 製品構成 .....                           | 2  |
| 1.5 ユーザ AP 起動時に必要なファイル .....             | 3  |
| 第2章 Visual C# .NET 用 API リファレンス .....    | 5  |
| 2.1 API 一覧 .....                         | 5  |
| 2.2 ジョブ制御 API .....                      | 6  |
| 2.3 イベント処理 API .....                     | 13 |
| 2.4 ジョブキュー参照 API .....                   | 16 |
| 2.5 アラート通報 API .....                     | 18 |
| 2.6 構造体クラス .....                         | 19 |
| 第3章 Visual Basic .NET 用 API リファレンス ..... | 27 |
| 3.1 API 一覧 .....                         | 27 |
| 3.2 ジョブ制御 API .....                      | 28 |
| 3.3 イベント処理 API .....                     | 35 |
| 3.4 ジョブキュー参照 API .....                   | 39 |
| 3.5 アラート通報 API .....                     | 41 |
| 3.6 構造体クラス .....                         | 42 |
| 第4章 Visual C++ 用 API リファレンス .....        | 49 |
| 4.1 API 一覧 .....                         | 49 |
| 4.2 ジョブ制御 API .....                      | 50 |
| 4.3 イベント処理 API .....                     | 57 |
| 4.4 ジョブキュー参照 API .....                   | 61 |
| 4.5 アラート通報 API .....                     | 63 |
| 4.6 構造体 .....                            | 64 |

|   |     |
|---|-----|
| 第5章 Visual Basic 用 API リファレンス .....         | 73  |
| 5.1 API 一覧 .....                            | 73  |
| 5.2 ジョブ制御 API .....                         | 74  |
| 5.3 イベント処理 API .....                        | 82  |
| 5.4 ジョブキュー参照 API .....                      | 86  |
| 5.5 アラート通報 API .....                        | 88  |
| 5.6 データ定義型 .....                            | 89  |
| 第6章 COBOL85 用 API リファレンス .....              | 97  |
| 6.1 API 一覧 .....                            | 97  |
| 6.2 ジョブ制御 API .....                         | 98  |
| 6.3 イベント処理 API .....                        | 106 |
| 6.4 ジョブキュー参照 API .....                      | 112 |
| 6.5 アラート通報 API .....                        | 115 |
| 6.6 集団項目 .....                              | 117 |
| 第7章 コード一覧 .....                             | 127 |
| 7.1 エラーコード .....                            | 127 |
| 7.2 その他定数 .....                             | 130 |
| 第8章 互換性留意事項 .....                           | 133 |
| 8.1 JMSS Ver2.0 ~ 4.0 開発キット JAPI との互換 ..... | 133 |
| 第9章 ホスト連携機能 .....                           | 135 |
| 9.1 ホスト連携機能とは .....                         | 135 |
| 9.2 ホストからのジョブ投入要求処理の概要 .....                | 135 |
| 9.3 投入要求の準備 .....                           | 136 |
| 9.4 ホストからのジョブ投入要求方法 .....                   | 138 |



# 第 1 章 概要

---

## 1.1 JAPI とは

JAPI (JMSS Application Program Interface) は、ESMPRO/JMSS Ver 6.0 以降または、JMSS/ジョブ運用管理 Ver 6.0 以降のジョブ運用管理機能を、ユーザアプリケーションから利用できるようにしたアプリケーションプログラムインタフェースです。

## 1.2 開発プラットフォーム

JAPI では、次の開発プラットフォームにおいて、各々 4 つに大別される API(機能)群を提供しています。

|                     |  |
|---------------------|--|
| ・ Visual C# .NET    | Microsoft .NET Framework 1.1 以降に対応しています。 |
| ・ Visual Basic .NET | Microsoft .NET Framework 1.1 以降に対応しています。 |
| ・ Visual C++        | Version 6.0 以降に対応しています。                  |
| ・ Visual Basic      | Version 6.0 以降に対応しています。                  |
| ・ COBOL85           | COBOL85 Pro Version 8.0 以降に対応しています。      |

## 1.3 提供 API 群

|               |   |
|---------------|---|
| ・ジョブ制御 API    | ジョブ制御を行う API を提供しています。  |
| ・イベント処理 API   | イベント送信、受信を行う API を提供しています。  |
| ・ジョブキュー参照 API | ジョブキューの参照を行う API を提供しています。  |
| ・アラート通報 API   | イベントログや ESMPRO/ServerManager、ページャにアラートを通報する API を提供しています (JMSS/ジョブ運用管理では使用できません。Windows 98/Me/Xp 上では使用できません)。 |

## 1.4 製品構成

### JAPI

|                          |   |
|--------------------------|---|
| — BIN                    |   |
| — JAPI.DLL               | JAPI ダイナミックリンクライブラリファイル<br>(JMSS インストールディレクトリにもコピーされます) |
| — JapiDotNet.Interop.dll | JAPI .NET アセンブリ   |
| — JAPI.HLP               | JAPI オンラインヘルプ   |
| — INCLUDE                |   |
| — JMSS.H                 | Visual C++用のヘッダファイル                                     |
| — JAPI.BAS               | Visual Basic 用宣言ファイル                                    |
| — JAPI.COB               | COBOL85 用 COPY ライブラリファイル                                |
| — LIB                    |   |
| — JAPI.LIB               | インポートライブラリファイル  |
| — SYMBOL                 |   |
| — JAPI.PDB               | JAPI.DLL プログラムデータベース                                    |
| — JapiDotNet.Interop.pdb | JAPI .NET アセンブリプログラムデータベース                              |
| — JMSSDVSV.PDB           | Jdriven サービス プログラムデータベース                                |
| — SAMPLE                 |   |
| — VC                     | Visual C++用のサンプルディレクトリ                                  |
| — VB                     | Visual Basic 用のサンプルディレクトリ                               |
| — COBOL85                | COBOL85 用のサンプルディレクトリ                                    |
| — CSDotNet               | Visual C# .NET 用のサンプルディレクトリ                             |
| — VBDotNet               | Visual Basic .NET 用のサンプルディレクトリ                          |
| — SETJAPI.BAT            | JAPI 環境設定バッチファイル  |
| — JAPI.TXT               | 追加説明  |



## 1.5 ユーザ AP 起動時に必要なファイル

JAPI を使用したユーザアプリケーションを起動するには、JAPI.DLL が必要です。

JMSS クライアントで起動する場合は、パスの通っているディレクトリにコピーしてください。

注意) JAPI は、JMSS/ジョブ運用管理 Ver 6.0 または、ESMPRO/JMSS Ver 6.0 以降がインストールされているマシンでのみ動作します。

JAPI.DLL は、単一 JMSS サーバ内にのみ配布可能となっています。JMSS サーバが複数ある場合には JMSS サーバ毎に本製品の購入が必要となります。



# 第2章 Visual C# .NET 用 API リファレンス

---

## 2.1 API 一覧

### ジョブ制御 API

|                     |                                      |
|---------------------|--------------------------------------|
| JmssThrowJob        | 指定ジョブの投入を行います。                       |
| JmssWaitJobExit     | 指定ジョブの終了待ちを行います。                     |
| JmssGetJobStatus    | 指定のジョブ状態を取得します。                      |
| JmssControlJob      | 指定ジョブの実行制御(強制終了、一時停止、再開、停止、継続)を行います。 |
| JmssGetChildJobList | 指定条件で指定ジョブから派生したジョブのジョブ番号一覧を取得します。   |
| JmssCurrentJobNo    | 自ジョブ番号を取得します。                        |

### イベント処理 API

|                  |  |
|------------------|--|
| JmssSendEvent    | 指定 JMSS サーバの指定ジョブキューにイベントを送信します。         |
| JmssSendEventEx  | 指定 JMSS サーバの指定ジョブキューにパラメータ付きでイベントを送信します。 |
| JmssReceiveEvent | 指定イベントの受信待ち合わせを行います。                     |

### ジョブキュー参照 API

|                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| JmssDispQueueDialog | ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。 |
| JmssGetJobQuere     | 指定したジョブキューの情報を取得します。       |

### アラート通報 API

|                 |   |
|-----------------|---|
| JmssReportEvent | ESMPRO マネージャ / ページにアラートを通報します (JMSS/ジョブ運用管理システム上では使用できません)。 |
| JmssGetJobQuere | 指定したジョブキューの情報を取得します。  |

### 構造体クラス

|                  |                |
|------------------|----------------|
| JMSSJOBTHROWINFO | ジョブ投入情報構造体クラス  |
| JMSSJOBINFO      | ジョブ情報構造体クラス    |
| JMSSJOBQINFO     | ジョブキュー情報構造体クラス |

## 2.2 ジョブ制御 API

### JmssThrowJob

```
public static int JmssThrowJob(ServerName, JmssJobThrowInfo, JobNo)
```

|                      |                         |                       |
|----------------------|-------------------------|-----------------------|
| String               | <i>ServerName</i>       | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| ref JMSSJOBTHROWINFO | <i>JmssJobThrowInfo</i> | /* ジョブ投入情報構造体クラス */   |
| ref int              | <i>JobNo</i>            | /* 投入ジョブ番号(返却) */     |

JmssThrowJob 関数は、ジョブ投入構造体クラス JMSSJOBTHROWINFO で指定したジョブの投入を行います。

#### パラメータ

ServerName

JmssJobThrowInfo

JobNo

#### 説明

本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。

ジョブ投入構造体クラス JMSSJOBTHROWINFO を指定します。

ジョブ投入が成功した場合に通知される投入ジョブ番号を格納する変数を指定します。

#### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NOT\_ENOUGH\_MEMORY  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_THROW  
JMSS\_QUEUE\_NOTFOUND  
JMSS\_QUEUE\_FULL  
JMSS\_QUEUE\_CLOSED  
JMSS\_PARENTJOB\_TERMINATE  
JMSS\_POWEROFF\_TERMINATE  
JMSS\_EXCLUSIVE\_ERROR  
JMSS\_BADPATH

## JmssWaitJobExit

**public static int JmssWaitJobExit**(*ServerName, JobNo, JmssJobInfo, dwTimeOut*)

|                 |                    |                       |
|-----------------|--------------------|-----------------------|
| String          | <i>ServerName</i>  | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| int             | <i>JobNo</i>       | /* ジョブ番号 */           |
| ref JMSSJOBINFO | <i>JmssJobInfo</i> | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| int             | <i>TimeOut</i>     | /* タイムアウト時間 */        |

JmssWaitJobExit 関数は、JobNo で指定したジョブ番号のジョブが終了するまで待ち合わせを行います。すでに指定ジョブが終了している場合には、本関数はすぐに正常終了します。また、タイムアウト時間内にジョブが終了しなかった場合には、エラー終了します。

### パラメータ

### 説明

|             |   |
|-------------|---|
| ServerName  | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。  |
| JobNo       | 待ち合わせを行うジョブのジョブ番号を指定します。  |
| JmssJobInfo | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。  |
| TimeOut     | タイムアウト時間をミリ秒単位で指定します。<br>0 を指定した場合は、すぐタイムアウトエラーで終了します。<br>INFINITE(0xffffffff)を指定した場合は、ジョブが終了するまで無限に待ち続けます。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_JOBNO  
JMSS\_TIMEOUT

## JmssGetJobStatus

```
public static int JmssGetJobStatus(ServerName, JobNo, JmssJobInfo)
```

|                 |                    |                       |
|-----------------|--------------------|-----------------------|
| String          | <i>ServerName</i>  | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| int             | <i>JobNo</i>       | /* ジョブ番号 */           |
| ref JMSSJOBINFO | <i>JmssJobInfo</i> | /* ジョブ情報構造体クラス */     |

JmssGetJobStatus 関数は、JobNo で指定したジョブ番号のジョブ状態を取得します。

### パラメータ

### 説明

|             |  |
|-------------|--|
| ServerName  | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。   |
| JobNo       | 情報(状態)取得を行うジョブのジョブ番号を指定します。  |
| JmssJobInfo | ジョブ情報構造体クラス JMSSJOBINFO を指定します。<br>関数が正常に終了した場合は、このジョブ情報構造体クラスにジョブ情報(状態)が格納されます。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

- JMSS\_PARAM\_ERROR
- JMSS\_NO\_CONNECT
- JMSS\_NOGET\_SERVERNAME
- JMSS\_SECURITY\_NO\_USE
- JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP
- JMSS\_NO\_JOB
- JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssControlJob

**public static int JmssControlJob(ServerName, ControlMode, JobNo)**

|        |                    |                       |
|--------|--------------------|-----------------------|
| String | <i>ServerName</i>  | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| int    | <i>ControlMode</i> | /* 要求する制御の種類 */       |
| int    | <i>JobNo</i>       | /* ジョブ番号 */           |

JmssControlJob 関数は、JobNo で指定したジョブ番号のジョブに対して、ControlMode で指定された制御操作を行います。

### パラメータ

ServerName  
ControlMode

### 説明

本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。  
要求する制御の種類を指定します。  
このパラメータには、次の値のいずれかを指定します。

### 値

JMSS\_CONTROL\_TERMINATE

JMSS\_CONTROL\_SUSPEND

JMSS\_CONTROL\_RESUME

JMSS\_CONTROL\_HOLD

JMSS\_CONTROL\_RELEASE

JMSS\_CONTROL\_DELETE

JMSS\_CONTROL\_STOP

JMSS\_CONTROL\_CONTINUE

JobNo

### 意味

強制終了要求を行います。  
対象ジョブが実行中であれば強制終了され、実行待ちであればジョブキューから(登録)削除されます。  
実行中のジョブネットワークの一時停止要求を行います。  
本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。  
一時停止中のジョブネットワークの再開要求を行います。  
本要求は一時停止中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。  
ジョブの保留要求を行います。  
本要求は実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。  
ジョブの保留解除要求を尾端舞います。  
本要求は保留ジョブに対してのみ有効に働きます。  
ジョブの登録削除要求を行います。  
本要求は保留 / 実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。  
ジョブの停止要求を行います。  
本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。  
ジョブの継続要求を行います。  
本要求は停止 / 強制終了 / 不明のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。

実行制御を行うジョブのジョブ番号を指定します。

## 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_TERMINATE  
JMSS\_NO\_PAUSE  
JMSS\_NO\_RESTART  
JMSS\_NOT\_JOBNET  
JMSS\_NO\_HOLD  
JMSS\_NO\_RELEASE  
JMSS\_NO\_DELETE  
JMSS\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_CONTINUE  
JMSS\_NO\_JOBNO



## JmssGetChildJobList

```
public static int JmssGetChildJobList(ServerName, JobNo, QueryJobStatus,  
                                     lpdwJobCount, lpJobNoList)
```

|                       |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| String                | <i>ServerName</i>     | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| int                   | <i>JobNo</i>          | /* ジョブ番号 */           |
| JobStatus.QueryStatus | <i>QueryJobStatus</i> | /* 問い合わせジョブ状態条件 */    |
| ref int               | <i>JobCount</i>       | /* 格納配列最大数/格納数 */     |
| ref int[]             | <i>JobNoList</i>      | /* 派生ジョブ番号格納配列 */     |

JmssGetChildJobList 関数は、JobNo で指定したジョブ番号のジョブから派生したジョブのうち、問い合わせ条件(ジョブ状態)に一致するジョブのジョブ番号一覧を取得します。

### パラメータ

ServerName

JobNo

QueryJobStatus

### 説明

本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。

派生ジョブを問い合わせる親ジョブ番号を指定します。

取得したい派生ジョブのジョブ状態条件を指定します。

このパラメータには、次に示す値の組み合わせを指定してください。

#### 値

#### 意味

JMSS\_CONTROL\_END 実行終了した派生ジョブを対象とします。

JMSS\_CONTROL\_RUN 実行中の派生ジョブを対象とします。

JMSS\_CONTROL\_QUE 実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。

JobCount

格納できる配列の最大数を指定します。

関数が正常に終了した場合は格納した数が、指定した最大数で足りない場合は必要数が返却されます。

JobNoList

派生ジョブのジョブ番号を格納する配列へのポインタを指定します。

本パラメータが NULL の場合は、JobCount パラメータに必要数が設定返却されます。

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NO\_CONNECT

JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

JMSS\_SECURITY\_NO\_USE

JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP

JMSS\_NO\_JOB

JMSS\_NO\_ENOUGH\_BUF

JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssCurrentJobNo

**public static int JmssCurrentJobNo**(*ServerName*, *JobNo*)

|            |                   |                 |
|------------|-------------------|-----------------|
| out String | <i>ServerName</i> | /* JMSS サーバ名 */ |
| out int    | <i>JobNo</i>      | /* 自ジョブ番号 */    |

JmssCurrentJobNo 関数は、自ジョブのジョブ番号と自ジョブを監視している JMSS サーバ名を取得します。

### パラメータ

ServerName

### 説明

自ジョブを監視している JMSS サーバ名が通知されます。JMSS サーバ名の通知が必要でない場合には、NULL を指定してください。

JobNo

自ジョブのジョブ番号が通知されます。監視されていない時は 0 が通知されます。ジョブ番号の通知が必要でない場合には、NULL を指定してください。

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

JMSS\_NOWATCH

## 2.3 イベント処理 API

### JmssSendEvent

```
public static int JmssSendEvent(ServerName, QueueName, EventID, Message)
```

|        |                   |                     |
|--------|-------------------|---------------------|
| String | <i>ServerName</i> | /* 送信先 JMSS サーバ名 */ |
| String | <i>QueueName</i>  | /* 送信先ジョブキュー名 */    |
| String | <i>EventID</i>    | /* 送信イベント ID */     |
| String | <i>Message</i>    | /* 送信メッセージ */       |

JmssSendEvent 関数は、指定 JMSS サーバの指定ジョブキューに指定のイベント ID とメッセージを送信します。

| パラメータ      | 説明   |
|------------|--|
| ServerName | 送信先の JMSS サーバ名を指定します。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。  |
| QueueName  | 送信先ジョブキュー名を指定します。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、全ジョブキューに対してブロードキャストされます。      |
| EventID    | 4 文字以内のイベント ID を指定します。   |
| Message    | 128 文字(バイト)以内の送信メッセージ文字列へのポインタを指定します。<br>本パラメータを使用しない場合は、NULL を指定してください。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

```
JMSS_PARAM_ERROR  
JMSS_NO_CONNECT  
JMSS_NOGET_SERVERNAME
```

## JmssSendEventEx

**public static int JmssSendEventEx**(*ServerName*, *QueueName*, *EventID*, *Message*, *Param*)

|        |                   |                     |
|--------|-------------------|---------------------|
| String | <i>ServerName</i> | /* 送信先 JMSS サーバ名 */ |
| String | <i>QueueName</i>  | /* 送信先ジョブキュー名 */    |
| String | <i>EventID</i>    | /* 送信イベント ID */     |
| String | <i>Message</i>    | /* 送信メッセージ */       |
| String | <i>Param</i>      | /* 送信パラメータ */       |

JmssSendEventEx 関数は、指定 JMSS サーバの指定ジョブキューに指定のイベント ID、メッセージをパラメータ付きで送信します。

### パラメータ 説明

|            |  |
|------------|--|
| ServerName | 送信先の JMSS サーバ名を指定します。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。                      |
| QueueName  | 送信先ジョブキュー名を指定します。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、全ジョブキューに対してブロードキャストされます。                          |
| EventID    | 4 文字以内のイベント ID を指定します。   |
| Message    | 128 文字(バイト)以内の送信メッセージを指定します。<br>本パラメータを使用しない場合は、NULL を指定してください。                              |
| Param      | 1024 文字(バイト)以内で送信パラメータを指定します。<br>パラメータと値は NULL で区切ってください。<br>本パラメータを使用しない場合は、NULL を指定してください。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

## JmssReceiveEvent

```
public static int JmssReceiveEvent(EventID, ServerName, MachineName, UserName,  
                                   Message, ReceiveEventID, TimeOut)
```

|        |                       |                     |
|--------|-----------------------|---------------------|
| String | <i>EventID</i>        | /* 受信イベント ID */     |
| String | <i>ServerName</i>     | /* 送信元 JMSS サーバ名 */ |
| String | <i>MachineName</i>    | /* 送信元マシン名 */       |
| String | <i>UserName</i>       | /* 送信元ユーザ名 */       |
| String | <i>Message</i>        | /* 受信メッセージ */       |
| String | <i>ReceiveEventID</i> | /* 受信イベント ID */     |
| int    | <i>TimeOut</i>        | /* タイムアウト時間 */      |

JmssReceiveEvent 関数は、指定したイベント ID を指定タイムアウト時間まで受信待ちします。

### パラメータ

### 説明

|                |   |
|----------------|---|
| EventID        | 受信待ちする 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)を指定します。<br>"*"が指定された場合は、どんなイベント ID でも受信します。                               |
| ServerName     | 受信したイベント ID を送信した送信元の JMSS サーバ名が通知されます。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、本通知は行われません。                              |
| MachineName    | 受信したイベント ID を送信した送信元のマシン名が通知されます。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、本通知は行われません。                                    |
| UserName       | 受信したイベント ID を送信したユーザ名が通知されます。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、本通知は行われません。  |
| Message        | 受信した 128 文字(バイト)以内の送信メッセージが格納されます。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、本通知は行われません。                                   |
| ReceiveEventID | 受信したイベント ID が格納されます。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、本通知は行われません。   |
| TimeOut        | タイムアウト時間を秒単位で指定します。<br>0 を指定した場合は、すぐタイムアウトエラーで終了します。<br>INFINITE(0xffffffff)を指定した場合は、ジョブが終了するまで無限に待ち続けます。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

```
JMSS_PARAM_ERROR  
JMSS_NOGET_SERVERNAME  
JMSS_TIMEOUT
```

### 注意

使用するマシンが稼働マシンで、かつ JLook サービスが起動している時にのみ使用可能です。

監視している同一ジョブ内で同時に複数のイベント待ちを行った場合、JLook の画面上に表示される待ちイベント ID は最後にイベント待ち API を呼び出した時のイベント ID が表示されることになります。

## 2.4 ジョブキュー参照 API

### JmssDispQueueDialog

```
public static int JmssDispQueueDialog(ServerName, hwndOwner, QueueName, MessageTitle)
```

|        |                     |                        |
|--------|---------------------|------------------------|
| String | <i>ServerName</i>   | /* 本バージョンでは使用されません */  |
| IntPtr | <i>hwndOwner</i>    | /* 表示する親ウィンドウハンドル */   |
| String | <i>QueueName</i>    | /* 初期選択ジョブキュー名 */      |
| String | <i>MessageTitle</i> | /* エラーメッセージ表示時のタイトル */ |

JmssDispQueueDialog 関数は、ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。

#### パラメータ

#### 説明

|              |  |
|--------------|--|
| ServerName   | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。   |
| hwndOwner    | 表示するダイアログボックスの親ウィンドウハンドルを指定します(ない場合は NULL を指定してください)。  |
| QueueName    | 初期選択させたいジョブキュー名を格納したポインタを指定します。<br>ダイアログボックスでジョブキュー名が選択された場合には、選択ジョブキュー名が本パラメータの指す領域に格納されます。 |
| MessageTitle | エラーメッセージ表示時に表示させるタイトルを指定します。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、エラーメッセージを表示しません。                       |

#### 戻り値

ユーザがジョブキュー名一覧より任意のジョブキュー名を選択した場合([OK]ボタン選択)は、0 を返します。エラーが発生した場合や、ユーザーが[キャンセル]ボタンを選択した場合、ダイアログボックスを閉じた場合などは、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

```
JMSS_PARAM_ERROR  
JMSS_NO_CONNECT  
JMSS_NOGET_SERVERNAME  
JMSS_SECURITY_NO_USE  
JMSS_CANCEL
```

## JmssGetJobQueue

**public static int** JmssGetJobQueue(*ServerName*, *QueueName*, *JmssJobQInfo*)

|                  |                     |                      |
|------------------|---------------------|----------------------|
| String           | <i>ServerName</i>   | /* JMSS サーバ名 */      |
| String           | <i>QueueName</i>    | /* ジョブキュー名 */        |
| ref JMSSJOBQINFO | <i>JmssJobQInfo</i> | /* ジョブキュー情報構造体クラス */ |

JmssDispQueueDialog 関数は、ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。

### パラメータ

### 説明

|              |   |
|--------------|---|
| ServerName   | JMSS サーバ名を指定します。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。              |
| QueueName    | 情報取得を行うジョブキュー名を指定します。   |
| JmssJobQInfo | ジョブキュー情報構造体クラスのインスタンスを指定します。<br>関数が正常に終了した場合は、このジョブキュー情報構造体クラスにジョブキュー情報が格納されます。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_SECURITY\_NO\_CONTROL  
JMSS\_QUEUE\_NOTFOUND

## 2.5 アラート通報 API

### JmssReportEvent

**public static int JmssReportEvent**(*Mode, Type, Message*)

|        |                |                 |
|--------|----------------|-----------------|
| int    | <i>Mode</i>    | /* アラートの通知先 */  |
| int    | <i>Type</i>    | /* アラートのタイプ */  |
| String | <i>Message</i> | /* 出力するメッセージ */ |

JmssReportEvent 関数は、ESMPRO マネージャ / ページャにアラート通報します。

#### パラメータ

#### 説明

Mode

アラートの通知先を以下の値の組み合わせで指定します。

#### 値

#### 意味

JMSS\_JALT\_MODE\_MANAGER      ESMPRO マネージャに通報します。

JMSS\_JALT\_MODE\_PAGER      ESMPRO ページャに通報します。

Type

通報するアラートの種別を以下の値から指定します。

#### 値

#### 意味

JMSS\_JALT\_TYPE\_INFOMATION      情報レベルで通報します。

(アラートビューアでは緑色のマーク)

JMSS\_JALT\_TYPE\_WARNING      警告レベルで通報します。

(アラートビューアでは黄色のマーク)

JMSS\_JALT\_TYPE\_ERROR      エラーレベルで通報します。

(アラートビューアでは赤色のマーク)

Message

アラート通報するメッセージを指定します。

#### 戻り値

正常にアラート通報(イベントログに出力)できた場合、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値を返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NOGET\_PRODUCT\_ID

JMSS\_NOT\_REPORT\_EVENT

JMSS\_NOT\_INSTALLED

#### 注意

本 API は ESMPRO/JMSS 上でのみ使用可能です(JMSS/ジョブ運用管理上では使用できません)。



## 2.6 構造体クラス

### JMSSJOBTHROWINFO

```
public class JMSSJOBTHROWINFO
```

```
{  
    public const int Size = 1120;           // このクラスのサイズ  
    public int Priority;                     // ジョブ優先順位  
    public int WatchStdOut;                 // 標準出力の監視有無  
    public IntPtr Stdin = IntPtr.Zero;      // 常に NULL  
    public IntPtr Stdout = IntPtr.Zero;     // 常に NULL  
    public IntPtr Stderr = IntPtr.Zero;     // 常に NULL  
    public String QueueName = null;         // 投入先キュー名  
    public String JobName = null;           // 業務名  
    public String JobPath = null;           // ジョブのファイル名  
    public String JobParam = null;          // ジョブのパラメータ  
    public String ExecDir = null;           // 実行時ディレクトリ  
    public int RepeatLastCount = 0;         // 常に 0  
    public int MaxElapsedTime = 0;          // 実行経過時間タイムアウト  
    public int MaxWorkingSetSize = 0;       // 常に 0  
    public int TermReport;                  // ジョブ終了通知有無  
    public string StdoutFile = null;        // 標準出力内容保存ファイル名  
}
```

ジョブ投入情報構造体クラスは、投入するジョブの情報を格納します。

#### メンバ

|                      | 説明  |
|----------------------|---|
| Size                 | この構造体クラスのサイズです。特に変更する必要はありません。  |
| Priority             | ジョブの優先順位を指定します。指定できる値は次のとおりです。  |
| 値                    | 意味  |
| JMSS_PRIORITY_REAL   | 最高の優先順位でジョブを実行します。オペレーティングシステムを含む他のプロセスよりも優先して実行されますので、処理時間の長いジョブでは、ストールしたような状態になることがあります。一般のジョブでの使用は避けて運用してください。 |
| JMSS_PRIORITY_HIGH   | 他のジョブより優先して速やかに実行します。CPUを多く使用するジョブでは、アプリケーションを含む他のジョブが全く動作しなくなる場合がありますので、使用には細心の注意が必要です。                          |
| JMSS_PRIORITY_NORMAL | システム標準の優先順位でジョブを実行します。通常はこの順位で実行してください。   |
| JMSS_PRIORITY_IDLE   | システムがアイドル状態の時だけジョブを実行します(スクリーンセーバーと同じと考えてください)。   |

|                   |   |   |
|-------------------|---|---|
| WatchStdout       | 標準出力の監視有無を指定します。指定できる値は次のとおりです  |   |
|                   | <b>値</b>  | <b>意味</b>   |
|                   | JMSS_STDOUT_NOWATCH   | 標準出力の監視をしません。   |
|                   | JMSS_STDOUT_SYSTEM_OVERWRITE  | 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはシステム標準のファイルに上書きされます。                        |
|                   | JMSS_STDOUT_SYSTEM_APEND  | 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはシステム標準のファイルに追加されます。                         |
|                   | JMSS_STDOUT_USER_OVERWRITE  | 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはユーザ指定ファイル(caStdoutFile で指定したファイル名)に上書きされます。 |
|                   | JMSS_STDOUT_USER_APEND  | 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはユーザ指定ファイル(caStdoutFile で指定したファイル名)に追加されます。  |
| Stdin             | 本バージョンでは使用されません。常に NULL でなければなりません。   |   |
| Stdout            | 本バージョンでは使用されません。常に NULL でなければなりません。   |   |
| Stderr            | 本バージョンでは使用されません。常に NULL でなければなりません。   |   |
| QueueName         | 投入先キュー名を指定します。キュー名は最大 15 文字です。  |   |
| JobName           | ジョブの業務名を指定します。業務名は最大 32 です。   |   |
| JobPath           | ジョブのファイル名をフルパスで指定します。最大 256 文字です。   |   |
| JobParam          | ジョブのパラメータを指定します。最大 256 文字です。  |   |
| ExecDir           | ジョブの実行時ディレクトリを指定します。最大 256 文字です。  |   |
| RepeatLastCount   | 将来のために予約されています。必ず 0 を指定してください。  |   |
| MaxElapseTime     | 投入したジョブの実行時間を制限したい場合に分単位で指定します。指定できる時間は 0 分 ~ 1000 時間 59 分です。指定した時間が経過してもジョブが終了しなかった場合には強制終了し、終了コードは FFFFFFFB になります。  |   |
| MaxWorkingSetSize | 将来のために予約されています。必ず 0 を指定してください。  |   |
| TermReport        | ジョブの終了を投入元マシンに通知するかどうかを指定します。「通知する」を指定すると、投入ジョブの終了時に Messenger サービスを使用して投入ジョブのジョブ番号、業務名、終了状態、終了コードが投入元マシンに通知されます。指定できる値は次のとおりです。  |   |
|                   | <b>値</b>  | <b>意味</b>   |
|                   | JMSS_SEND_NO  | 通知しません。   |
|                   | JMSS_SEND_YES   | 通知します。  |
| StdoutFile        | 標準出力内容を好きなファイル名で保存したい場合にファイル名を指定します。実行マシンのローカルファイル名か、"¥¥マシン名¥共有名"で指定してください。WatchStdout に JMSS_STDOUT_SYSTEM_OVERWRITE または JMSS_STDOUT_SYSTEM_APEND を指定した場合は""を指定してください。標準出力内容保存ファイル名は最大 256 文字までです。 |   |

## JMSSJOBINFO

### public class JMSSJOBINFO

```
{
    public const int Size = 1264;           // クラスサイズ
    public int JobType = 0;                 // ジョブ種別
    public int NetId = 0;                   // ジョブボックス ID
    public int NetRev = 0;                  // ジョブネットファイル Revision
    public int SecondaryId = 0;             // 派生ジョブ有無
    public int JobNo = 0;                   // ジョブ番号
    public int RootJobNo = 0;               // ルートジョブ番号
    public int ParentJobNo = 0;             // 親ジョブ番号
    public int ExitCode = 0;                // 終了コード
    public int JobStatus = 0;               // ジョブ状態
    public int Priority = 0;                 // 優先順位
    public int MinWorkingSet = 0;           // 最小ワーキングセットサイズ
    public int MaxWorkingSet = 0;           // 最大ワーキングセットサイズ
    public int UserCPUTime = 0;              // ユーザモードの CPU 使用時間 (ミリ秒)
    public int KernelCPUTime = 0;           // カーネルモードの CPU 使用時間 (ミリ秒)
    public int TotalCPUTime = 0;            // 全モードの CPU 使用時間 (ミリ秒)
    public int UserCPUPercent = 0;          // ユーザモードの CPU 使用率 (%)
    public int KernelCPUPercent = 0;        // カーネルモードの CPU 使用率 (%)
    public DateTime BgnTime;                // ジョブ開始日付 / 時間
    public DateTime EndTime;                // ジョブ終了日付 / 時間
    public int RepeatInterval = 0;          // 繰り返し間隔
    public int RepeatMaxCount = 0;          // 繰り返し回数
    public DateTime RepeatEndTime;          // 繰り返し終了時間
    public int RepeatCount = 0;             // 繰り返し実行した回数
    public String EventID=null;              // イベント ID
    public String UserName = null;          // 投入元ユーザ名
    public String WsName=null;              // 投入元マシン名
    public String QueueName=null;           // 投入ジョブキュー名
    public String CompName=null;            // 実行先マシン名
    public String JobName=null;             // 業務名
    public String JobPath=null;             // ジョブのファイル名
    public String JobParam=null;            // ジョブのパラメータ
    public String ExecDir=null;             // 実行時ディレクトリ
    public String OutFileName=null;         // 標準出力ファイル名
    public int MaxElapsTime = 0;            // 実行経過時間タイムアウト
    public int ParentJntNo = 0;             // 継続実行の元となったジョブ番号
    public int Branch = 0;                  // 将来拡張用
}
```

ジョブ情報構造体クラスは、投入したジョブの各種情報を格納通知します。

## メンバ

Size

JobType

## 説明

この構造体クラスのサイズです。特に変更する必要はありません。

ジョブの種類が通知されます。

ジョブの種類は、ジョブ種別と補足情報との組み合わせにて行われます。

### 値

JMSS\_JOBTYPE\_BAT

JMSS\_JOBTYPE\_EXE32

JMSS\_JOBTYPE\_EXE16

JMSS\_JOBTYPE\_EXEDOS

JMSS\_JOBTYPE\_JNT

JMSS\_JOBTYPE\_COM

JMSS\_JOBTYPE\_CMD

JMSS\_JOBTYPE\_PIF

JMSS\_JOBTYPE\_OS2

JMSS\_JOBTYPE\_POSIX

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT\_APEND

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT\_USERFILE

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT

JMSS\_JOBTYPE\_CONTINUE

JMSS\_JOBTYPE\_REPEAT

JMSS\_JOBTYPE\_SCHEDULE

### 意味

バッチファイルです。

32 ビットアプリケーションです。

16 ビットアプリケーションです。

DOS アプリケーションです。

ジョブネットワークです。

COM ファイルです。

CMD ファイルです。

PIF ファイルです(未サポート)。

OS2 用アプリケーションです。

POSIX アプリケーションです。

標準出力監視をしています。

標準出力監視ファイルは追加モードです。

標準出力監視ファイルはユーザ指定ファイルです。

標準出力監視をしています。

継続実行しているジョブネットワークです。

スケジュール繰り返し実行指定されています。

スケジュール実行されています。

NetId

ジョブネットワークファイルにおけるジョブボックス ID が通知されます。

NetRev

ジョブネットワークファイルの作成レビジョンが通知されます。

SecondaryId

派生ジョブの有無 ID が通知されます。ID には次の 2 つがあります。

### 値

JMSS\_NOEXIST\_DERIVE\_JOB

JMSS\_EXIST\_DERIVE\_JOB

### 意味

派生ジョブはありません。

派生ジョブがあります。

JobNo

ジョブ番号が通知されます。

RootJobNo

このジョブの一番最初の親ジョブのジョブ番号が通知されます。本メンバが 0 であった場合は、親ジョブを持っていません。

ParentJobNo

このジョブの親ジョブのジョブ番号が通知されます。本メンバが 0 であった場合は、親ジョブを持っていません。

ExitCode

ジョブの終了コードが通知されます。起動エラー、終了(強制終了含む)時のみ意味を持ちます(起動エラー、終了(強制終了含む)以外の場合には 0 が返却されます)。

|                  |  |   |
|------------------|--|---|
| JobStatus        | ジョブの実行状態を通知します。次の値のいずれかになります。                                |   |
|                  | <b>値</b>   | <b>意味</b>                                   |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_RUN   | ジョブは実行中です。                                  |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_FINISH  | ジョブは終了しています。                                |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_TERM  | ジョブは強制終了されています。                             |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_ERROR   | ジョブは起動エラーとなっています。                           |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_EVENT_REC                                     | ジョブはイベント待ち状態です。                             |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_PAUSE   | ジョブは一時停止(ジョブキュー内での一時停止も含む)されています。           |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_EVENT_SEND                                    | ジョブはイベント送信を完了しています。                         |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_WAIT  | ジョブは実行待ちとなっています。                            |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_PENDING                                       | ジョブは保留状態となっています。                            |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_EXECUTE                                       | ジョブは現在起動中です。                                |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_EXCLUSIVE                                     | ジョブは排他資源待ち中です。                              |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_RETRY   | ジョブは起動リトライ中です。                              |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_CHILDJOBRETRY                                 | 派生ジョブが起動リトライ中です。                            |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_STOP  | ジョブは停止しています。                                |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_STOPPING                                      | ジョブは停止中です。                                  |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_JOBBOXRETRY                                   | ジョブボックスリトライ中です。                             |
|                  | JMSS_JOBSTATUS_UNKNOWN                                       | ジョブ状態は不明です(ジョブ実行中に JLook サービスが予期せぬ終了をしました)。 |
| Priority         | ジョブの優先順位が通知されます。次の値のいずれかになります。                               |   |
|                  | <b>値</b>   | <b>意味</b>                                   |
|                  | JMSS_PRIORITY_REAL   | 最高の優先順位でジョブを実行しています。                        |
|                  | JMSS_PRIORITY_HIGH   | 他のジョブより優先して実行しています。                         |
|                  | JMSS_PRIORITY_NORMAL   | システム標準の優先順位でジョブを実行しています。                    |
|                  | JMSS_PRIORITY_IDLE   | 最低の優先順位でジョブを実行しています。                        |
| MinWorkingSet    | 最小ワーキングセットサイズを通知します。   |   |
| MaxWorkingSet    | 最大ワーキングセットサイズを通知します。   |   |
| UserCPUTime      | ユーザモードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。                                |   |
| KernelCPUTime    | カーネルモードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。                               |   |
| TotalCPUTime     | 全モードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。                                  |   |
| UserCPUPercent   | ユーザモードの CPU 使用率を%で通知します。                                     |   |
| KernelCPUPercent | カーネルモードの CPU 使用率を%で通知します。                                    |   |
| BgnTime          | ジョブ開始日付/時間を通知します。  |   |
| EndTime          | ジョブ終了日付/時間を通知します。  |   |
| RepeatInterval   | 繰り返し周期の時間間隔が秒単位で通知されます。繰り返し実行以外の場合は常に 0 です。                  |   |
| RepeatMaxCount   | 繰り返し回数が通知されます。繰り返し回数指定で起動されたジョブ以外は常に 0 です。                   |   |
| EndTime          | 繰り返し実行における終了時間が通知されます。終了時間指定で繰り返し起動されたジョブ以外は常に 0 です。         |   |
| RepeatCount      | 繰り返して実行された回数が通知されます。本メンバは、ジョブ終了時にのみ設定され、他のジョブ状態の時には意味を持ちません。 |   |
| EventID          | イベント ID が通知されます。   |   |
| UserName         | 投入元のユーザ名が通知されます。   |   |

|              |  |
|--------------|--|
| WsName       | 投入元のマシン名が通知されます。                             |
| QueueName    | 投入ジョブキュー名が通知されます。                            |
| CompName     | 実行先のマシン名が通知されます。                             |
| JobName      | 業務名が通知されます。                                  |
| JobPath      | ジョブのファイル名がフルパスで通知されます。                       |
| JobParam     | ジョブ投入時に指定したパラメータが通知されます。                     |
| ExecDir      | ジョブの実行時ディレクトリが通知されます。                        |
| OutFileName  | 標準出力ファイル名がフルパスで通知されます。                       |
| MaxElapsTime | 実行経過時間タイムアウト時間が分単位で通知されます。未設定の場合は 0 が通知されます。 |
| ParentJntNo  | 継続実行の元となったジョブネットのジョブ番号が通知されます。通常は 0 が通知されます。 |
| Branch       | 将来拡張用です。                                     |

## JMSSJOBQINFO

### public class JMSSJOBQINFO

```
{
    public const int Size = 44;           // クラスサイズ
    public String QueueName = null;       // ジョブキュー名
    public int JobQueCondition;           // ジョブキューの状態
    public int MaxRunningJob;             // 最大ジョブキュー多重度
    public int CurRunningJob;             // 現在実行中ジョブ数
    public int MaxEntryJob;               // 最大登録ジョブ数
    public int CurrentEntryJob;           // 現在登録済みのジョブ数
    public int EntryStatus;               // 登録状況
}
```

ジョブキュー情報構造体クラスは、ジョブキューの各種情報を格納します。

### メンバ

Size

QueueName

JobQueCondition

### 説明

この構造体クラスのサイズです。特に変更する必要はありません。

情報を取得するジョブキュー名を指定します。キュー名は最大 15 文字までです。

ジョブキューの状態が通知されます。

次の値のいずれかになります。

#### 値

JMSS\_JOBQUECOND\_OPEN

JMSS\_JOBQUECOND\_CLOSE

#### 意味

ジョブキューは開いています。

ジョブキューは閉じています。

MaxRunningJob

CurRunningJob

MaxEntryJob

CurrentEntryJob

EntryStatus

ジョブキューの多重度が通知されます。

現在実行中のジョブ数が通知されます。

ジョブキューの登録可能ジョブ数が通知されます。

現在登録されているジョブ数が通知されます。

ジョブキューへの登録状態が通知されます。

次の値のいずれかになります。

#### 値

JMSS\_JOBQUEENTSTS\_NORMAL

JMSS\_JOBQUEENTSTS\_WARNING

JMSS\_JOBQUEENTSTS\_ERROR

#### 意味

登録可能ジョブ数の 90% 以下です。

登録可能ジョブ数の 90% を超えています。

登録可能ジョブ数に達しています。

Entrystatus は、一旦 JMSS\_JOBQUEENTSTS\_WARNING または

JMSS\_JOBQUEENTSTS\_ERROR となると、登録可能ジョブ数の 80% 未満になるまで値は変化せず、80% 未満になった時点で JMSS\_JOBQUEENTSTS\_NORMAL となります。





# 第3章 Visual Basic .NET用APIリファレンス

---

## 3.1 API 一覧

### ジョブ制御 API

|                     |                                      |
|---------------------|--------------------------------------|
| JmssThrowJob        | 指定ジョブの投入を行います。                       |
| JmssWaitJobExit     | 指定ジョブの終了待ちを行います。                     |
| JmssGetJobStatus    | 指定のジョブ状態を取得します。                      |
| JmssControlJob      | 指定ジョブの実行制御(強制終了、一時停止、再開、停止、継続)を行います。 |
| JmssGetChildJobList | 指定条件で指定ジョブから派生したジョブのジョブ番号一覧を取得します。   |
| JmssCurrentJobNo    | 自ジョブ番号を取得します。                        |

### イベント処理 API

|                  |  |
|------------------|--|
| JmssSendEvent    | 指定 JMSS サーバの指定ジョブキューにイベントを送信します。         |
| JmssSendEventEx  | 指定 JMSS サーバの指定ジョブキューにパラメータ付きでイベントを送信します。 |
| JmssReceiveEvent | 指定イベントの受信待ち合わせを行います。                     |

### ジョブキュー参照 API

|                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| JmssDispQueueDialog | ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。 |
| JmssGetJobQuere     | 指定したジョブキューの情報を取得します。       |

### アラート通報 API

|                 |   |
|-----------------|---|
| JmssReportEvent | ESMPRO マネージャ / ページにアラートを通報します (JMSS/ジョブ運用管理システム上では使用できません)。 |
| JmssGetJobQuere | 指定したジョブキューの情報を取得します。  |

### 構造体クラス

|                  |                |
|------------------|----------------|
| JMSSJOBTHROWINFO | ジョブ投入情報構造体クラス  |
| JMSSJOBINFO      | ジョブ情報構造体クラス    |
| JMSSJOBQINFO     | ジョブキュー情報構造体クラス |

## 3.2 ジョブ制御 API

### JmssThrowJob

Public Shared Function JmssThrowJob

|            |                  |                     |
|------------|------------------|---------------------|
| (ByVal     | ServerName       | As String           |
| ByRef      | JmssJobThrowInfo | As JMSSJOBTHROWINFO |
| ByRef      | JobNo            | As Integer)         |
| As Integer |                  |                     |

|                               |                     |                   |
|-------------------------------|---------------------|-------------------|
| ByVal <i>ServerName</i>       | As String           | ' 本バージョンでは使用されません |
| ByRef <i>JmssJobThrowInfo</i> | As JMSSJOBTHROWINFO | ' ジョブ投入情報構造体      |
| ByRef <i>JobNo</i>            | As Integer          | ' 投入ジョブ番号(返却)     |

JmssThrowJob 関数は、ジョブ投入構造体クラス JMSSJOBTHROWINFO で指定したジョブの投入を行います。

#### パラメータ

#### 説明

|                  |  |
|------------------|--|
| ServerName       | 本バージョンでは使用されません。必ず vbNullString を指定してください。 |
| JmssJobThrowInfo | ジョブ投入データ定義型 JMSSJOBTHROWINFO を指定します。       |
| JobNo            | ジョブ投入が成功した場合に通知される投入ジョブ番号を指定します。           |

#### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NOT\_ENOUGH\_MEMORY  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_THROW  
JMSS\_QUEUE\_NOTFOUND  
JMSS\_QUEUE\_FULL  
JMSS\_QUEUE\_CLOSED  
JMSS\_PARENTJOB\_TERMINATE  
JMSS\_POWEROFF\_TERMINATE  
JMSS\_EXCLUSIVE\_ERROR

## JmssWaitJobExit

Public Shared Function **JmssWaitJobExit**

```
(ByVal ServerName As String
ByVal JobNo As Integer
ByRef JmssJobInfo As Any
ByVal TimeOut As Integer)
As Integer
```

|                          |            |                   |
|--------------------------|------------|-------------------|
| ByVal <i>ServerName</i>  | As String  | ' 本バージョンでは使用されません |
| ByVal <i>JobNo</i>       | As Integer | ' ジョブ番号           |
| ByRef <i>JmssJobInfo</i> | As Any     | ' 本バージョンでは使用されません |
| ByVal <i>TimeOut</i>     | As Integer | ' タイムアウト時間        |

JmssWaitJobExit 関数は、IJobNo で指定したジョブ番号のジョブが終了するまで待ち合わせを行います。すでに指定ジョブが終了している場合には、本関数はすぐに正常終了します。また、タイムアウト時間内にジョブが終了しなかった場合には、エラー終了します。

### パラメータ

ServerName  
JobNo  
JmssJobInfo  
TimeOut

### 説明

本バージョンでは使用されません。必ず vbNullString を指定してください。  
待ち合わせを行うジョブのジョブ番号を指定します。  
本バージョンでは使用されません。必ず Null を指定してください。  
タイムアウト時間をミリ秒単位で指定します。  
0 を指定すると、すぐタイムアウトエラーで終了します。&HFFFF を指定すると、ジョブが終了するまで無限に待ち続けます。

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

```
JMSS_PARAM_ERROR
JMSS_NO_CONNECT
JMSS_NOGET_SERVERNAME
JMSS_SECURITY_NO_USE
JMSS_SECURITY_NO_STOP
JMSS_NO_JOB
JMSS_NO_JOBNO
JMSS_TIMEOUT
```

## JmssGetJobStatus

Public Shared Function **JmssGetJobStatus**

|                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| (ByVal ServerName | As String       |
| ByVal JobNo       | As Integer      |
| ByRef JmssJobInfo | As JMSSJOBINFO) |
| As Integer        |                 |

|                          |                |                   |
|--------------------------|----------------|-------------------|
| ByVal <i>ServerName</i>  | As String      | ' 本バージョンでは使用されません |
| ByVal <i>JobNo</i>       | As Integer     | ' ジョブ番号           |
| ByRef <i>JmssJobInfo</i> | As JMSSJOBINFO | ' ジョブ情報データ定義型     |

JmssGetJobStatus 関数は、IJobNo で指定したジョブ番号のジョブ状態を取得します。

### パラメータ

ServerName  
JobNo  
JmssJobInfo

### 説明

本バージョンでは使用されません。必ず vbNullString を指定してください。  
情報(状態)取得を行うジョブのジョブ番号を指定します。  
ジョブ情報構造体 JMSSJOBINFO を指すポインタを指定します。  
関数が正常に終了した場合は、このジョブ情報構造体にジョブ情報(状態)が格納されます。

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssControlJob

### Public Shared Function JmssControlJob

(ByVal ServerName As String  
ByVal ControlMode As ControlMode  
ByVal JobNo As Integer)  
As Integer

|                          |                |                   |
|--------------------------|----------------|-------------------|
| ByVal <i>ServerName</i>  | As String      | ' 本バージョンでは使用されません |
| ByVal <i>ControlMode</i> | As ControlMode | ' 要求する制御の種類       |
| ByVal <i>JobNo</i>       | As Long        | ' ジョブ番号           |

JmssControlJob 関数は、JobNo で指定したジョブ番号のジョブに対して、ControlMode で指定された制御操作を行います。

### パラメータ

### 説明

|                        |   |
|------------------------|---|
| ServerName             | 本バージョンでは使用されません。必ず vbNullString を指定してください。                                |
| ControlMode            | 要求する制御の種類を指定します。<br>このパラメータには、次の値のいずれかを指定します。                             |
| 値                      | 意味  |
| JMSS_CONTROL_TERMINATE | 強制終了要求を行います。<br>対象ジョブが実行中であれば強制終了され、実行待ちであればジョブキューから(登録)削除されます。           |
| JMSS_CONTROL_SUSPEND   | 実行中のジョブネットワークの一時停止要求を行います。<br>本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。   |
| JMSS_CONTROL_RESUME    | 一時停止中のジョブネットワークの再開要求を行います。<br>本要求は一時停止中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。 |
| JMSS_CONTROL_HOLD      | ジョブの保留要求を行います。<br>本要求は実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。             |
| JMSS_CONTROL_RELEASE   | ジョブの保留解除要求を尾篭舞います。<br>本要求は保留ジョブに対してのみ有効に働きます。                             |
| JMSS_CONTROL_DELETE    | ジョブの登録削除要求を行います。<br>本要求は保留 / 実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。      |
| JMSS_CONTROL_STOP      | ジョブの停止要求を行います。<br>本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。               |
| JMSS_CONTROL_CONTINUE  | ジョブの継続要求を行います。<br>本要求は停止 / 強制終了 / 不明のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。    |
| JobNo                  | 実行制御を行うジョブのジョブ番号を指定します。   |

## 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_TERMINATE  
JMSS\_NO\_PAUSE  
JMSS\_NO\_RESTART  
JMSS\_NOT\_JOBNET  
JMSS\_NO\_HOLD  
JMSS\_NO\_RELEASE  
JMSS\_NO\_DELETE  
JMSS\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_CONTINUE  
JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssGetChildJobList

Public Shared Function **JmssGetChildJobList**

|                      |                |
|----------------------|----------------|
| (ByVal ServerName    | As String      |
| ByVal JobNo          | As Integer     |
| ByVal QueryJobStatus | As QueryStatus |
| ByRef JobCount       | As Integer     |
| ByRef JobNoList      | As Integer() ) |
| As Integer           |                |

|                             |                |                   |
|-----------------------------|----------------|-------------------|
| ByVal <i>ServerName</i>     | As String      | ' 本バージョンでは使用されません |
| ByVal <i>JobNo</i>          | As Integer     | ' ジョブ番号           |
| ByVal <i>QueryJobStatus</i> | As QueryStatus | ' 問い合わせジョブ状態条件    |
| ByRef <i>JobCount</i>       | As Integer     | ' 格納配列最大数/格納数     |
| ByRef <i>JobNoList</i>      | As Integer()   | ' 派生ジョブ番号格納配列     |

JmssGetChildJobList 関数は、JobNo で指定したジョブ番号のジョブから派生したジョブのうち、問い合わせ条件(ジョブ状態)に一致するジョブのジョブ番号一覧を取得します。

### パラメータ

### 説明

| ServerName       | 本バージョンでは使用されません。必ず vbNullString を指定してください。   |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
|------------------|--|---|----|------------------|---------------------|------------------|-------------------|------------------|----------------------------|
| JobNo            | 派生ジョブを問い合わせる親ジョブ番号を指定します。  |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| QueryJobStatus   | 取得したい派生ジョブのジョブ状態条件を指定します。<br>このパラメータには、次に示す値の組み合わせを指定します。  |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
|                  | <table><thead><tr><th>値</th><th>意味</th></tr></thead><tbody><tr><td>JMSS_CONTROL_END</td><td>実行終了した派生ジョブを対象とします。</td></tr><tr><td>JMSS_CONTROL_RUN</td><td>実行中の派生ジョブを対象とします。</td></tr><tr><td>JMSS_CONTROL_QUE</td><td>実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。</td></tr></tbody></table> | 値 | 意味 | JMSS_CONTROL_END | 実行終了した派生ジョブを対象とします。 | JMSS_CONTROL_RUN | 実行中の派生ジョブを対象とします。 | JMSS_CONTROL_QUE | 実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。 |
| 値                | 意味   |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| JMSS_CONTROL_END | 実行終了した派生ジョブを対象とします。  |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| JMSS_CONTROL_RUN | 実行中の派生ジョブを対象とします。  |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| JMSS_CONTROL_QUE | 実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。   |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| JobCount         | 格納できる配列の最大数を指定します。<br>関数が正常に終了した場合は格納した数が、指定した最大数で足りない場合は必要数が返却されます。   |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| JobNoList        | 派生ジョブのジョブ番号を格納する配列を指定します。<br>NULL を指定すると、lpdwJobCount パラメータに必要数が設定返却されます。  |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_ENOUGH\_BUF  
JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssCurrentJobNo

Public Shared Function **JmssCurrentJobNo**

```
(ByRef ServerName As String  
ByRef JobNo As Integer)  
As Integer
```

```
ByVal ServerName As String ' JMSS サーバ名  
ByRef JobNo As Integer ' 自ジョブ番号
```

JmssCurrentJobNo 関数は、自ジョブのジョブ番号と自ジョブを監視している JMSS サーバ名を取得します。

### パラメータ

#### 説明

|            |   |
|------------|---|
| ServerName | 自ジョブを監視している JMSS サーバ名が通知されます。JMSS サーバ名の通知が必要でない場合には、vbNullString を指定してください。       |
| lJobNo     | 自ジョブのジョブ番号が通知されます。監視されていない時は 0 が通知されます。ジョブ番号の通知が必要でない場合には、vbNullString を指定してください。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

```
JMSS_PARAM_ERROR  
JMSS_NOGET_SERVERNAME  
JMSS_NOWATCH
```



## 3.3 イベント処理 API

### JmssSendEvent

Public Shared Function **JmssSendEvent**

|                   |            |
|-------------------|------------|
| (ByVal ServerName | As String  |
| ByVal QueueName   | As String  |
| ByVal EventID     | As String  |
| ByVal Message     | As String) |
| As Integer        |            |

|                         |           |                 |
|-------------------------|-----------|-----------------|
| ByVal <i>ServerName</i> | As String | ' 送信先 JMSS サーバ名 |
| ByVal <i>QueueName</i>  | As String | ' 送信先ジョブキュー名    |
| ByVal <i>EventID</i>    | As String | ' 送信イベント ID     |
| ByVal <i>Message</i>    | As String | ' 送信メッセージ       |

JmssSendEvent 関数は、指定 JMSS サーバの指定ジョブキューに指定のイベント ID とメッセージを送信します。

#### パラメータ

|            | 説明  |
|------------|---|
| ServerName | 送信先の JMSS サーバ名を指定します。<br>vbNullString を指定すると、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。       |
| QueueName  | 送信先ジョブキュー名を指定します。<br>vbNullString を指定すると、全ジョブキューに対してブロードキャストされます。           |
| EventID    | 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)を指定します。  |
| Message    | 128 文字(バイト)以内の送信メッセージ文字列を指定します。<br>送信メッセージを使用しない場合は、vbNullString を指定してください。 |

#### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

## JmssSendEventEx

Public Shared Function **JmssSendEventEx**

|                   |            |
|-------------------|------------|
| (ByVal ServerName | As String  |
| ByVal QueueName   | As String  |
| ByVal EventID     | As String  |
| ByVal Message     | As String  |
| ByVal Param       | As String) |
| As Integer        |            |

|                         |           |                 |
|-------------------------|-----------|-----------------|
| ByVal <i>ServerName</i> | As String | ' 送信先 JMSS サーバ名 |
| ByVal <i>QueueName</i>  | As String | ' 送信先ジョブキュー名    |
| ByVal <i>EventID</i>    | As String | ' 送信イベント ID     |
| ByVal <i>Message</i>    | As String | ' 送信メッセージ       |
| ByVal <i>Param</i>      | As String | ' 送信パラメータ       |

JmssSendEvent 関数は、指定 JMSS サーバの指定ジョブキューに、指定のイベント ID、メッセージをパラメータ付きで送信します。

### パラメータ

### 説明

|            |  |
|------------|--|
| ServerName | 送信先の JMSS サーバ名を指定します。<br>vbNullString を指定すると、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。                                    |
| QueueName  | 送信先ジョブキュー名を指定します。<br>vbNullString を指定すると、全ジョブキューに対してブロードキャストされます。  |
| EventID    | 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)を指定します。   |
| Message    | 128 文字(バイト)以内の送信メッセージ文字列を指定します。<br>送信メッセージを使用しない場合は、vbNullString を指定してください。                              |
| Param      | 1024 文字(バイト)以内で送信パラメータを指定します。<br>パラメータと値は Chr\$(0) で区切ってください。<br>本パラメータを使用しない場合は、vbNullString を指定してください。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

## JmssReceiveEvent

### Public Shared Function      **JmssReceiveEvent**

|            |                |           |
|------------|----------------|-----------|
| (ByVal     | EventID        | As String |
| ByRef      | ServerName     | As String |
| ByRef      | MachineName    | As String |
| ByRef      | UserName       | As String |
| ByRef      | Message        | As String |
| ByRef      | ReceiveEventID | As String |
| ByVal      | TimeOut        | As UInt32 |
| As Integer |                |           |

|                             |           |                 |
|-----------------------------|-----------|-----------------|
| ByVal <i>EventID</i>        | As String | ' 受信イベント ID     |
| ByRef <i>ServerName</i>     | As String | ' 送信元 JMSS サーバ名 |
| ByRef <i>MachineName</i>    | As String | ' 送信元マシン名       |
| ByRef <i>UserName</i>       | As String | ' 送信元ユーザ名       |
| ByRef <i>Message</i>        | As String | ' 受信メッセージ       |
| ByRef <i>ReceiveEventID</i> | As String | ' 受信イベント ID     |
| ByVal <i>TimeOut</i>        | As UInt32 | ' タイムアウト時間      |

JmssReceiveEvent 関数は、指定したイベント ID を指定タイムアウト時間まで受信待ちします。

### パラメータ

### 説明

|                |   |
|----------------|---|
| EventID        | 受信待ちする 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)を指定します。<br>"*"が指定された場合は、どんなイベント ID でも受信します。           |
| ServerName     | 受信したイベント ID を送信した送信元の JMSS サーバ名が通知されます。<br>vbNullString を指定すると、通知は行われません。             |
| MachineName    | 受信したイベント ID を送信した送信元のマシン名が通知されます。<br>vbNullString を指定すると、通知は行われません。                   |
| UserName       | 受信したイベント ID を送信したユーザ名が通知されます。<br>vbNullString を指定すると、通知は行われません。                       |
| Message        | 受信した 128 文字(バイト)以内の送信メッセージが格納されます。<br>vbNullString を指定すると、通知は行われません。                  |
| ReceiveEventID | 受信したイベント ID が格納されます。<br>vbNullString を指定すると、通知は行われません。                                |
| TimeOut        | タイムアウト時間を秒単位で指定します。<br>0 を指定すると、すぐタイムアウトエラーで終了します。 &HFFFF を指定すると、ジョブが終了するまで無限に待ち続けます。 |

## 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_TIMEOUT

## 注意

使用するマシンが稼働マシンで、かつ JLook サービスが起動している時にのみ使用可能です。

監視している同一ジョブ内で同時に複数のイベント待ちを行った場合、JLook の画面上に表示される待ちイベント ID は最後にイベント待ち API を呼び出した時のイベント ID が表示されることになります。

## 3.4 ジョブキュー参照 API

### JmssDispQueueDialog

Public Shared Function **JmssDispQueueDialog**

|                    |            |
|--------------------|------------|
| (ByVal ServerName  | As String  |
| ByVal hwndOwner    | As IntPtr  |
| ByRef QueueName    | As String  |
| ByVal MessageTitle | As String) |
| As Integer         |            |

|                           |           |                    |
|---------------------------|-----------|--------------------|
| ByVal <i>ServerName</i>   | As String | ' 本バージョンでは使用されません  |
| ByVal <i>hwndOwner</i>    | As IntPtr | ' 表示する親ウィンドウハンドル   |
| ByVal <i>QueueName</i>    | As String | ' 初期選択ジョブキュー名      |
| ByVal <i>MessageTitle</i> | As String | ' エラーメッセージ表示時のタイトル |

JmssDispQueueDialog 関数は、ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。

#### パラメータ

#### 説明

|              |   |
|--------------|---|
| ServerName   | 本バージョンでは使用されません。<br>必ず vbNullString を指定してください。                                      |
| hwndOwner    | 表示するダイアログボックスの親ウィンドウハンドルを指定します(ない場合は vbNullString を指定してください)。                       |
| QueueName    | 初期選択させたいジョブキュー名を指定します。<br>ダイアログボックスでジョブキュー名が選択された場合には、選択ジョブキュー名が本パラメータの指す領域に格納されます。 |
| MessageTitle | エラーメッセージ表示時に表示させるタイトルを指定します。<br>vbNullString を指定すると、エラーメッセージを表示しません。                |

#### 戻り値

ユーザがジョブキュー名一覧より任意のジョブキュー名を選択した場合([OK]ボタン選択)は、0 を返します。エラーが発生した場合や、ユーザが[キャンセル]ボタンを選択した場合、ダイアログボックスを閉じた場合などは、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_CANCEL

## JmssGetJobQueue

Public Shared Function **JmssGetJobQueue**

|                    |                  |
|--------------------|------------------|
| (ByVal ServerName  | As String        |
| ByVal QueueName    | As String        |
| ByRef JmssJobQInfo | As JMSSJOBQINFO) |
| As Integer         |                  |

|                           |                 |                  |
|---------------------------|-----------------|------------------|
| ByVal <i>ServerName</i>   | As String       | ' JMSS サーバ名      |
| ByVal <i>QueueName</i>    | As String       | ' ジョブキュー名        |
| ByRef <i>JmssJobQInfo</i> | As JMSSJOBQINFO | ' ジョブキュー情報構造体クラス |

JmssDispQueueDialog 関数は、ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。

### パラメータ

### 説明

|              |   |
|--------------|---|
| ServerName   | JMSS サーバ名を指定します。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。              |
| QueueName    | 情報取得を行うジョブキュー名を指定します。   |
| JmssJobQInfo | ジョブキュー情報構造体クラスのインスタンスを指定します。<br>関数が正常に終了した場合は、このジョブキュー情報構造体クラスにジョブキュー情報が格納されます。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_SECURITY\_NO\_CONTROL  
JMSS\_QUEUE\_NOTFOUND

## 3.5 アラート通報 API

### JmssReportEvent

Public Shared Function JmssReportEvent

(ByVal Mode As Mode  
ByVal Type As Type  
ByVal Message As String)  
As Integer

ByVal *Mode* As Mode ' アラートの通知先  
ByVal *Type* As Type ' アラートのタイプ  
ByVal *Message* As String ' 出力するメッセージ

JmssReportEvent 関数は、ESMPRO マネージャ / ページャにアラート通報します。

#### パラメータ

#### 説明

|         |  |
|---------|--|
| Mode    | アラートの通知先を以下の値の組み合わせで指定します                                    |
|         | 値 意味   |
|         | JMSS_JALT_MODE_MANAGER ESMPRO マネージャに通報します。                   |
|         | JMSS_JALT_MODE_PAGER ESMPRO ページャに通報します。                      |
| Type    | 通報するアラートの種別を以下の値から指定します。                                     |
|         | 値 意味   |
|         | JMSS_JALT_TYPE_INFOMATION 情報レベルで通報します。<br>(アラートビューアでは緑色のマーク) |
|         | JMSS_JALT_TYPE_WARNING 警告レベルで通報します。<br>(アラートビューアでは黄色のマーク)    |
|         | JMSS_JALT_TYPE_ERROR エラーレベルで通報します。<br>(アラートビューアでは赤色のマーク)     |
| Message | アラート通報するメッセージを指定します。   |

#### 戻り値

正常にアラート通報(イベントログに出力)できた場合、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値を返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NOGET\_PRODUCT\_ID  
JMSS\_NOT\_REPORT\_EVENT  
JMSS\_NOT\_INSTALLED

#### 注意

本 API は ESMPRO/JMSS 上でのみ使用可能です(JMSS/ジョブ運用管理上では使用できません)。

## 3.6 構造体クラス

### JMSSJOBTHROWINFO

#### Public Class JMSSJOBTHROWINFO

|                                 |            |                |
|---------------------------------|------------|----------------|
| Public Shared <i>Size</i>       | As Integer | ' この構造体クラスのサイズ |
| Public <i>Priority</i>          | As Integer | ' ジョブ優先順位      |
| Public <i>WatchStdout</i>       | As Integer | ' 標準出力の監視有無    |
| Public <i>Stdin</i>             | As IntPtr  | ' 常に 0         |
| Public <i>Stdout</i>            | As IntPtr  | ' 常に 0         |
| Public <i>Stderr</i>            | As IntPtr  | ' 常に 0         |
| Public <i>QueueName</i>         | As String  | ' 投入先キュー名      |
| Public <i>JobName</i>           | As String  | ' ジョブの業務名      |
| Public <i>JobPath</i>           | As String  | ' ジョブのファイル名    |
| Public <i>JobParam</i>          | As String  | ' ジョブのパラメータ    |
| Public <i>ExecDir</i>           | As String  | ' 実行時ディレクトリ    |
| Public <i>RepeatLastCount</i>   | As Integer | ' 常に 0         |
| Public <i>MaxElapsedTime</i>    | As Integer | ' 実行経過時間タイムアウト |
| Public <i>MaxWorkingSetSize</i> | As Integer | ' 常に 0         |
| Public <i>TermReport</i>        | As Integer | ' ジョブ終了通知      |
| Public <i>StdoutFile</i>        | As String  | ' 標準出力内容保存ファイル |

#### End Class

ジョブ投入情報データ定義型は、投入するジョブの情報を格納します。

#### メンバ

|                      | 説明  |
|----------------------|---|
| Size                 | このクラスのサイズです。特に変更する必要はありません。   |
| Priority             | ジョブの優先順位を指定します。指定できる値は次のとおりです。  |
| 値                    | 意味  |
| JMSS_PRIORITY_REAL   | 最高の優先順位でジョブを実行します。オペレーティングシステムを含む他のプロセスよりも優先して実行されますので、処理時間の長いジョブでは、ストールしたような状態になることがあります。一般のジョブでの使用は避けて運用してください。 |
| JMSS_PRIORITY_HIGH   | 他のジョブより優先して速やかに実行します。CPUを多く使用するジョブでは、アプリケーションを含む他のジョブが全く動作しなくなる場合がありますので、使用には細心の注意が必要です。                          |
| JMSS_PRIORITY_NORMAL | システム標準の優先順位でジョブを実行します。通常はこの順位で実行してください。   |
| JMSS_PRIORITY_IDLE   | システムがアイドル状態の時だけジョブを実行します(スクリーンセーバーと同じと考えてください)。   |



## メンバ

WatchStdout

## 説明

標準出力の監視有無を指定します。値は次のとおりです。

### 値

JMSS\_STDOUT\_NOWATCH

JMSS\_STDOUT\_SYSTEM\_OVERWRITE

JMSS\_STDOUT\_SYSTEM\_APPEND

JMSS\_STDOUT\_USER\_OVERWRITE

JMSS\_STDOUT\_USER\_APPEND

### 意味

標準出力の監視をしません。

標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはシステム標準のファイルに上書きされます。

標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはシステム標準のファイルに追加されます。

標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはユーザ指定ファイル (StdoutFile で指定したファイル名) に上書きされます。

標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはユーザ指定ファイル (StdoutFile で指定したファイル名) に追加されます。

Stdin

Stdout

Stderr

QueueName

JobName

JobPath

JobParam

ExecDir

RepeatLastCount

MaxElapseTime

本バージョンでは使用されません。常に 0 でなければなりません。

本バージョンでは使用されません。常に 0 でなければなりません。

本バージョンでは使用されません。常に 0 でなければなりません。

投入先キュー名を指定します。キュー名は最大 15 文字です。

ジョブの業務名を指定します。業務名は最大 32 文字です。

ジョブのファイル名をフルパスで指定します。最大 256 文字です。

ジョブのパラメータを指定します。最大 256 文字です。

ジョブの実行時ディレクトリを指定します。最大 256 文字です。

将来のために予約されています。必ず 0 を指定してください。

投入したジョブの実行時間を制限したい場合に分単位で指定します。指定できる時間は 0 分 ~ 1000 時間 59 分です。指定した時間が経過してもジョブが終了しなかった場合には強制終了し、終了コードは FFFFFFFB になります。

将来のために予約されています。必ず 0 を指定してください。

MaxWorkingSetSize

TermReport

ジョブの終了を投入元マシンに通知するかどうかを指定します。「通知する」を指定すると、投入ジョブの終了時に Messenger サービスを使用して投入ジョブのジョブ番号、業務名、終了状態、終了コードが投入元マシンに通知されます。指定できる値は次のとおりです。

### 値

JMSS\_SEND\_NO

JMSS\_SEND\_YES

### 意味

通知しません。

通知します。

StdoutFile

標準出力内容をユーザの好きなファイル名で保存したい場合にファイル名を指定します。実行マシンのローカルファイル名か、"¥¥マシン名¥¥共有名"で指定してください。WatchStdout に JMSS\_STDOUT\_SYSTEM\_OVERWRITE または JMSS\_STDOUT\_SYSTEM\_APPEND を指定した場合は Chr\$(0)を指定してください。標準出力内容保存ファイル名は最大 256 文字までです。

## JMSSJOBINFO

### Public Class JMSSJOBINFO

|                                |            |                          |
|--------------------------------|------------|--------------------------|
| Public Shared <i>Size</i>      | As Integer | ' このクラスのサイズ              |
| Public <i>JobType</i>          | As Integer | ' ジョブの種類                 |
| Public <i>NetId</i>            | As Integer | ' ジョブボックス ID             |
| Public <i>NetRev</i>           | As Integer | ' ジョブネットファイル Revision    |
| Public <i>SecondaryId</i>      | As Integer | ' 派生ジョブ有無 ID             |
| Public <i>JobNo</i>            | As Integer | ' ジョブ番号                  |
| Public <i>RootJobNo</i>        | As Integer | ' ルートジョブジョブ番号            |
| Public <i>ParentJobNo</i>      | As Integer | ' 親ジョブ番号                 |
| Public <i>ExitCode</i>         | As Integer | ' ジョブ終了コード               |
| Public <i>JobStatus</i>        | As Integer | ' ジョブ実行状態                |
| Public <i>Priority</i>         | As Integer | ' ジョブ優先順位                |
| Public <i>MinWorkingSet</i>    | As Integer | ' 最小ワーキングセットサイズ          |
| Public <i>MaxWorkingSet</i>    | As Integer | ' 最大ワーキングセットサイズ          |
| Public <i>UserCPUTime</i>      | As Integer | ' ユーザモードの CPU 使用時間(ミリ秒)  |
| Public <i>KernelCPUTime</i>    | As Integer | ' カーネルモードの CPU 使用時間(ミリ秒) |
| Public <i>TotalCPUTime</i>     | As Integer | ' 全モードの CPU 使用時間(ミリ秒)    |
| Public <i>UserCPUPercent</i>   | As Integer | ' ユーザモードの CPU 使用率(%)     |
| Public <i>KernelCPUPercent</i> | As Integer | ' カーネルモードの CPU 使用率(%)    |
| Public <i>BgnTime</i>          | As Date    | ' ジョブ開始日付/時間             |
| Public <i>EndTime</i>          | As Date    | ' ジョブ終了日付/時間             |
| Public <i>RepeatInterval</i>   | As Integer | ' 繰り返し間隔                 |
| Public <i>RepeatMaxCount</i>   | As Integer | ' 繰り返し回数                 |
| Public <i>RepeatEndTime</i>    | As Date    | ' 繰り返し実行終了時間             |
| Public <i>RepeatCount</i>      | As Integer | ' 繰り返し実行した回数             |
| Public <i>EventID</i>          | As String  | ' イベント ID                |
| Public <i>UserName</i>         | As String  | ' 投入元ユーザ名                |
| Public <i>WsName</i>           | As String  | ' 投入元マシン名                |
| Public <i>QueueName</i>        | As String  | ' 投入ジョブキュー名              |
| Public <i>CompName</i>         | As String  | ' 実行先マシン名                |
| Public <i>JobName</i>          | As String  | ' 業務名                    |
| Public <i>JobPath</i>          | As String  | ' ジョブのファイル名              |
| Public <i>JobParam</i>         | As String  | ' パラメータ                  |
| Public <i>ExecDir</i>          | As String  | ' 実行時ディレクトリ              |
| Public <i>OutFileName</i>      | As String  | ' 標準出力ファイル名              |
| Public <i>MaxElapsTime</i>     | As Integer | ' 実行経過タイムアウト時間(分)        |
| Public <i>ParentJntNo</i>      | As Integer | ' 継続実行元となったジョブネットのジョブ番号  |
| Public <i>Branch</i>           | As Integer | ' 将来拡張用                  |

### End Class

ジョブ情報データ定義型は、投入したジョブの各種情報を格納通知します。

## メンバ

Size

JobType

## 説明

このクラスのサイズです。特に変更する必要はありません。

ジョブの種類が通知されます。

ジョブの種類は、ジョブ種別と補足情報との組み合わせにて行われます。

### 値

JMSS\_JOBTYPE\_BAT

JMSS\_JOBTYPE\_EXE32

JMSS\_JOBTYPE\_EXE16

JMSS\_JOBTYPE\_EXEDOS

JMSS\_JOBTYPE\_JNT

JMSS\_JOBTYPE\_COM

JMSS\_JOBTYPE\_CMD

JMSS\_JOBTYPE\_PIF

JMSS\_JOBTYPE\_OS2

JMSS\_JOBTYPE\_POSIX

### 補足情報

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT\_APEND

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT\_USERFILE

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT

JMSS\_JOBTYPE\_CONTINUE

JMSS\_JOBTYPE\_REPEAT

JMSS\_JOBTYPE\_SCHEDULE

### 意味

バッチファイルです。

32 ビットアプリケーションです。

16 ビットアプリケーションです。

DOS アプリケーションです。

ジョブネットワークです。

COM ファイルです。

CMD ファイルです。

PIF ファイルです(未サポート)。

OS2 用アプリケーションです。

POSIX アプリケーションです。

### 意味

標準出力監視ファイルは追加モードです。

標準出力監視ファイルはユーザ指定ファイルです。

標準出力監視をしています。

継続実行しているジョブネットワークです。

スケジュール繰り返し実行指定されています。

スケジュール実行されています。

NetId

ジョブネットワークファイルにおけるジョブボックス ID が通知されます。

NetRev

ジョブネットワークファイルの作成リビジョンが通知されます。

SecondaryId

派生ジョブの有無 ID が通知されます。ID には次の 2 つがあります。

### 値

JMSS\_NOEXIST\_DERIVE\_JOB

JMSS\_EXIST\_DERIVE\_JOB

### 意味

派生ジョブはありません。

派生ジョブがあります。

JobNo

ジョブ番号が通知されます。

RootJobNo

このジョブの一番最初の親ジョブのジョブ番号が通知されます。本メンバが 0 であった場合は、親ジョブを持っていません。

ParentJobNo

このジョブの親ジョブのジョブ番号が通知されます。本メンバが 0 であった場合は、親ジョブを持っていません。

ExitCode

ジョブの終了コードが通知されます。起動エラー、終了(強制終了含む)時のみ意味を持ちます(起動エラー、終了(強制終了含む)以外の場合には 0 が返却されます)。

JobStatus

ジョブの実行状態を通知します。次の値のいずれかになります。

### 値

JMSS\_JOBSTATUS\_RUN

JMSS\_JOBSTATUS\_FINISH

JMSS\_JOBSTATUS\_TERM

JMSS\_JOBSTATUS\_ERROR

JMSS\_JOBSTATUS\_EVENT\_REC

JMSS\_JOBSTATUS\_PAUSE

### 意味

このジョブは実行中です。

このジョブは終了しています。

このジョブは強制終了されています。

このジョブは起動エラーとなっています。

このジョブはイベント待ち状態です。

このジョブは一時停止(ジョブキュー内での一時停止も含む)されています。

JMSS\_JOBSTATUS\_EVENT\_SEND

このジョブはイベント送信を完了しています。

JMSS\_JOBSTATUS\_WAIT

このジョブは実行待ちとなっています。

JMSS\_JOBSTATUS\_PENDINGP

このジョブは保留状態となっています。

JMSS\_JOBSTATUS\_EXECUTE

このジョブは現在起動中です。

JMSS\_JOBSTATUS\_EXCLUSIVE

このジョブは排他制御待ちです。

## メンバ

## 説明

### 値

### 意味

|                              |  |
|------------------------------|--|
| JMSS_JOBSTATUS_RETRY         | このジョブは起動リトライ中です。                           |
| JMSS_JOBSTATUS_CHILDJOBRETRY | 派生ジョブが起動リトライ中です。                           |
| JMSS_JOBSTATUS_STOP          | ジョブは停止しています。                               |
| JMSS_JOBSTATUS_STOPPING      | ジョブは停止中です。                                 |
| JMSS_JOBSTATUS_JOBBOXRETRY   | ジョブボックスリトライ中です。                            |
| JMSS_JOBSTATUS_UNKNOWN       | ジョブ状態は不明です(ジョブ実行中にJLook サービスが予期せぬ終了をしました)。 |

Priority

ジョブの優先順位が通知されます。次の値のいずれかになります。

### 値

### 意味

|                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| JMSS_PRIORITY_REAL   | 最高の優先順位でジョブを実行しています。     |
| JMSS_PRIORITY_HIGH   | 他のジョブより優先して実行しています。      |
| JMSS_PRIORITY_NORMAL | システム標準の優先順位でジョブを実行しています。 |
| JMSS_PRIORITY_IDLE   | 最低の優先順位でジョブを実行しています。     |

MinWorkingSet

最小ワーキングセットサイズを通知します。

MaxWorkingSet

最小ワーキングセットサイズを通知します。

UserCPUTime

ユーザモードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。

KernelCPUTime

カーネルモードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。

TotalCPUTime

全モードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。

UserCPUPercent

ユーザモードの CPU 使用率を%で通知します。

KernelCPUPercent

カーネルモードの CPU 使用率を%で通知します。

BgnTime

ジョブ開始日付/時間を通知します。

EndTime

ジョブ終了日付/時間を通知します。

RepeatInterval

繰り返し周期の時間間隔が秒単位で通知されます。時間周期指定以外の場合は常に 0 です。

RepeatMaxCount

繰り返し回数が通知されます。回数指定以外の場合は常に 0 です。

RepeatEndTime

繰り返し実行における終了時間が通知されます。終了時間指定で繰り返し起動されたジョブ以外は常に 0 です。

RepeatCount

繰り返して実行された回数が通知されます。本メンバは、繰り返しジョブ終了時にのみ設定され、他のジョブ状態の時には意味を持ちません。

EventID

イベント ID が通知されます。

UserName

投入元のユーザ名が通知されます。

WsName

投入元のマシン名が通知されます。

QueueName

投入ジョブキュー名が通知されます。

CompName

実行先のマシン名が通知されます。

JobName

業務名が通知されます。

JobPath

ジョブのファイル名がフルパスで通知されます。

caJobParam

ジョブ投入時に指定したパラメータが通知されます。

caExecDir

ジョブの実行時ディレクトリが通知されます。

OutFileName

標準出力ファイル名がフルパスで通知されます。

MaxElapsTime

実行経過時間タイムアウト時間が分単位で通知されます。未設定の場合は 0 が通知されます。

ParentJntNo

継続実行の元となったジョブネットのジョブ番号が通知されます。通常は 0 が通知されます。

Branch

将来拡張用です。

## JMSSJOBQINFO

### Public Class JMSSJOBQINFO

|                        |            |                |
|------------------------|------------|----------------|
| Public Shared Size     | As Integer | ' この構造体クラスのサイズ |
| Public QueueName       | As String  | ' ジョブキュー名      |
| Public JobQueCondition | As Integer | ' ジョブキューの状態    |
| Public MaxRunningJob   | As Integer | ' 最大ジョブキュー多重度  |
| Public CurRunningJob   | As Integer | ' 現在実行中ジョブ数    |
| Public MaxEntryJob     | As Integer | ' 最大登録ジョブ数     |
| Public CurrentEntryJob | As Integer | ' 現在登録済みのジョブ数  |
| Public EntryStatus     | As Integer | ' 登録状況         |

### End Class

ジョブキュー情報構造体クラスは、ジョブキューの各種情報を格納します。

### メンバ

Size

### 説明

この構造体クラスのサイズです。特に変更する必要はありません。

QueueName

情報を取得するジョブキュー名を指定します。キュー名は最大 15 文字までです。

JobQueCondition

ジョブキューの状態が通知されます。

次の値のいずれかになります。

### 値

### 意味

JMSS\_JOBQUECOND\_OPEN

ジョブキューは開いています。

JMSS\_JOBQUECOND\_CLOSE

ジョブキューは閉じています。

MaxRunningJob

ジョブキューの多重度が通知されます。

CurRunningJob

現在実行中のジョブ数が通知されます。

MaxEntryJob

ジョブキューの登録可能ジョブ数が通知されます。

CurrentEntryJob

現在登録されているジョブ数が通知されます。

EntryStatus

ジョブキューへの登録状態が通知されます。

次の値のいずれかになります。

### 値

### 意味

JMSS\_JOBQUEENTSTS\_NORMAL

登録可能ジョブ数の 90% 以下です。

JMSS\_JOBQUEENTSTS\_WARNING

登録可能ジョブ数の 90% を超えています。

JMSS\_JOBQUEENTSTS\_ERROR

登録可能ジョブ数に達しています。

Entrystatus は、一旦 JMSS\_JOBQUEENTSTS\_WARNING または JMSS\_JOBQUEENTSTS\_ERROR となると、登録可能ジョブ数の 80% 未満になるまで値は変化せず、80% 未満になった時点で JMSS\_JOBQUEENTSTS\_NORMAL となります。



# 第 4 章 Visual C++用 API リファレンス

---

## 4.1 API 一覧

### ジョブ制御 API

|                     |                                      |
|---------------------|--------------------------------------|
| JmssThrowJob        | 指定ジョブの投入を行います。                       |
| JmssWaitJobExit     | 指定ジョブの終了待ちを行います。                     |
| JmssGetJobStatus    | 指定のジョブ状態を取得します。                      |
| JmssControlJob      | 指定ジョブの実行制御(強制終了、一時停止、再開、停止、継続)を行います。 |
| JmssGetChildJobList | 指定条件で指定ジョブから派生したジョブのジョブ番号一覧を取得します。   |
| JmssCurrentJobNo    | 自ジョブ番号を取得します。                        |

### イベント処理 API

|                  |  |
|------------------|--|
| JmssSendEvent    | 指定 JMSS サーバの指定ジョブキューにイベントを送信します。         |
| JmssSendEventEx  | 指定 JMSS サーバの指定ジョブキューにパラメータ付きでイベントを送信します。 |
| JmssReceiveEvent | 指定イベントの受信待ち合わせを行います。                     |

### ジョブキュー参照 API

|                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| JmssDispQueueDialog | ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。 |
| JmssGetJobQuere     | 指定したジョブキューの情報を取得します。       |

### アラート通報 API

|                 |  |
|-----------------|--|
| JmssReportEvent | ESMPRO マネージャ / ページャにアラートを通報します (JMSS/ジョブ運用管理システム上では使用できません)。 |
| JmssGetJobQuere | 指定したジョブキューの情報を取得します。   |

### 構造体

|                  |             |
|------------------|-------------|
| JMSSJOBTHROWINFO | ジョブ投入情報構造体  |
| JMSSJOBINFO      | ジョブ情報構造体    |
| JMSSJOBQINFO     | ジョブキュー情報構造体 |

## 4.2 ジョブ制御 API

### JmssThrowJob

**DWORD WINAPI JmssThrowJob**(*lpServerName*, *lpJmssJobThrowInfo*, *lpJobNo*)

|                    |                           |                       |
|--------------------|---------------------------|-----------------------|
| LPSTR              | <i>lpServerName</i>       | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| LPJMSSJOBTHROWINFO | <i>lpJmssJobThrowInfo</i> | /* ジョブ投入情報構造体 */      |
| LPLONG             | <i>lpJobNo</i>            | /* 投入ジョブ番号(返却) */     |

JmssThrowJob 関数は、ジョブ投入構造体 JMSSJOBTHROWINFO で指定したジョブの投入を行います。

| パラメータ                     | 説明  |
|---------------------------|---|
| <i>lpServerName</i>       | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。        |
| <i>lpJmssJobThrowInfo</i> | ジョブ投入構造体 JMSSJOBTHROWINFO を指すポインタを指定します。  |
| <i>lpJobNo</i>            | ジョブ投入が成功した場合に通知される投入ジョブ番号を格納するポインタを指定します。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NOT\_ENOUGH\_MEMORY  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_THROW  
JMSS\_QUEUE\_NOTFOUND  
JMSS\_QUEUE\_FULL  
JMSS\_QUEUE\_CLOSED  
JMSS\_PARENTJOB\_TERMINATE  
JMSS\_POWEROFF\_TERMINATE  
JMSS\_EXCLUSIVE\_ERROR



## JmssWaitJobExit

**DWORD WINAPI JmssWaitJobExit**(*lpServerName*, *lJobNo*, *lpJmssJobInfo*, *dwTimeOut*)

|               |                      |                       |
|---------------|----------------------|-----------------------|
| LPSTR         | <i>lpServerName</i>  | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| LONG          | <i>lJobNo</i>        | /* ジョブ番号 */           |
| LPJMSSJOBINFO | <i>lpJmssJobInfo</i> | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| DWORD         | <i>dwTimeOut</i>     | /* タイムアウト時間 */        |

JmssWaitJobExit 関数は、lJobNo で指定したジョブ番号のジョブが終了するまで待ち合わせを行います。すでに指定ジョブが終了している場合には、本関数はすぐに正常終了します。また、タイムアウト時間内にジョブが終了しなかった場合には、エラー終了します。

### パラメータ

### 説明

|               |   |
|---------------|---|
| lpServerName  | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。  |
| lJobNo        | 待ち合わせを行うジョブのジョブ番号を指定します。  |
| lpJmssJobInfo | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。  |
| dwTimeOut     | タイムアウト時間をミリ秒単位で指定します。<br>0 を指定した場合は、すぐタイムアウトエラーで終了します。<br>INFINITE(0xffffffff)を指定した場合は、ジョブが終了するまで無限に待ち続けます。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_JOBNO  
JMSS\_TIMEOUT

## JmssGetJobStatus

**DWORD WINAPI JmssGetJobStatus**(*lpServerName*, *lJobNo*, *lpJmssJobInfo*)

|               |                      |                       |
|---------------|----------------------|-----------------------|
| LPSTR         | <i>lpServerName</i>  | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| LONG          | <i>lJobNo</i>        | /* ジョブ番号 */           |
| LPJMSSJOBINFO | <i>lpJmssJobInfo</i> | /* ジョブ情報構造体 */        |

JmssGetJobStatus 関数は、lJobNo で指定したジョブ番号のジョブ状態を取得します。

### パラメータ

### 説明

|               |   |
|---------------|---|
| lpServerName  | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。  |
| lJobNo        | 情報(状態)取得を行うジョブのジョブ番号を指定します。   |
| lpJmssJobInfo | ジョブ情報構造体 JMSSJOBINFO を指すポインタを指定します。<br>関数が正常に終了した場合は、このジョブ情報構造体にジョブ情報(状態)が格納されます。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

- JMSS\_PARAM\_ERROR
- JMSS\_NO\_CONNECT
- JMSS\_NOGET\_SERVERNAME
- JMSS\_SECURITY\_NO\_USE
- JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP
- JMSS\_NO\_JOB
- JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssControlJob

**DWORD WINAPI JmssControlJob**(lpServerName, dwControlMode, lJobNo)

|               |               |                       |
|---------------|---------------|-----------------------|
| LPSTR         | lpServerName  | /* 本バージョンでは使用されません */ |
| DWORD         | dwControlMode | /* 要求する制御の種類 */       |
| LPJMSSJOBINFO | lpJmssJobInfo | /* ジョブ情報構造体 */        |

JmssControlJob 関数は、lJobNo で指定したジョブ番号のジョブに対して、dwControlMode で指定された制御操作を行います。

### パラメータ

lpServerName  
dwControlMode

### 説明

本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。  
要求する制御の種類を指定します。  
このパラメータには、次の値のいずれかを指定します。

#### 値

JMSS\_CONTROL\_TERMINATE

JMSS\_CONTROL\_SUSPEND

JMSS\_CONTROL\_RESUME

JMSS\_CONTROL\_HOLD

JMSS\_CONTROL\_RELEASE

JMSS\_CONTROL\_DELETE

JMSS\_CONTROL\_STOP

JMSS\_CONTROL\_CONTINUE

#### 意味

強制終了要求を行います。  
対象ジョブが実行中であれば強制終了され、実行待ちであればジョブキューから(登録)削除されます。  
実行中のジョブネットワークの一時停止要求を行います。  
本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。  
一時停止中のジョブネットワークの再開要求を行います。  
本要求は一時停止中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。  
ジョブの保留要求を行います。  
本要求は実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。  
ジョブの保留解除要求を尾端舞います。  
本要求は保留ジョブに対してのみ有効に働きます。  
ジョブの登録削除要求を行います。  
本要求は保留 / 実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。  
ジョブの停止要求を行います。  
本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。  
ジョブの継続要求を行います。  
本要求は停止 / 強制終了 / 不明のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。

lJobNo

実行制御を行うジョブのジョブ番号を指定します。

## 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOBPOP\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_TERMINATE  
JMSS\_NO\_PAUSE  
JMSS\_NO\_RESTART  
JMSS\_NOT\_JOBNET  
JMSS\_NO\_HOLD  
JMSS\_NO\_RELEASE  
JMSS\_NO\_DELETE  
JMSS\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_CONTINUE

## JmssGetChildJobList

**DWORD WINAPI JmssGetChildJobList**(*lpServerName*, *lJobNo*, *dwQueryJobStatus*,  
*lpdwJobCount*, *lpJobNoList*)

|         |                         |                         |
|---------|-------------------------|-------------------------|
| LPSTR   | <i>lpServerName</i>     | /* 本バージョンでは使用されません */   |
| LONG    | <i>lJobNo</i>           | /* ジョブ番号 */             |
| DWORD   | <i>dwQueryJobStatus</i> | /* 問い合わせジョブ状態条件 */      |
| LPDWORD | <i>lpdwJobCount</i>     | /* 格納配列最大数/格納数 */       |
| LPDWORD | <i>lpJobNoList</i>      | /* 派生ジョブ番号格納配列へのポインタ */ |

JmssGetChildJobList 関数は、lJobNo で指定したジョブ番号のジョブから派生したジョブのうち、問い合わせ条件(ジョブ状態)に一致するジョブのジョブ番号一覧を取得します。

### パラメータ

lpServerName  
lJobNo  
dwQueryJobStatus

### 説明

本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。  
派生ジョブを問い合わせる親ジョブ番号を指定します。  
取得したい派生ジョブのジョブ状態条件を指定します。  
このパラメータには、次に示す値の組み合わせを指定してください。

### 値

### 意味

|              |                  |   |
|--------------|------------------|---|
|              | JMSS_CONTROL_END | 実行終了した派生ジョブを対象とします。   |
|              | JMSS_CONTROL_RUN | 実行中の派生ジョブを対象とします。   |
|              | JMSS_CONTROL_QUE | 実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。  |
| lpdwJobCount |                  | 格納できる配列の最大数を指定します。<br>関数が正常に終了した場合は格納した数が、指定した最大数で足りない場合は必要数が返却されます。                  |
| lpJobNoList  |                  | 派生ジョブのジョブ番号を格納する配列へのポインタを指定します。<br>本パラメータが NULL の場合は、lpdwJobCount パラメータに必要数が設定返却されます。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_ENOUGH\_BUF  
JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssCurrentJobNo

**DWORD WINAPI JmssCurrentJobNo**(*lpServerName*, *lplJobNo*)

|        |                     |                       |
|--------|---------------------|-----------------------|
| LPSTR  | <i>lpServerName</i> | /* JMSS サーバ名格納ポインタ */ |
| LPLONG | <i>lplJobNo</i>     | /* 自ジョブ番号格納ポインタ */    |

JmssCurrentJobNo 関数は、自ジョブのジョブ番号と自ジョブを監視している JMSS サーバ名を取得します。

### パラメータ

### 説明

*lpServerName*

自ジョブを監視している JMSS サーバ名が通知されます。JMSS サーバ名の通知が必要でない場合には、NULL を指定してください。

*lplJobNo*

自ジョブのジョブ番号が通知されます。監視されていない時は 0 が通知されます。ジョブ番号の通知が必要でない場合には、NULL を指定してください。

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

JMSS\_NOWATCH

## 4.3 イベント処理 API

### JmssSendEvent

**DWORD WINAPI JmssSendEvent**(*lpServerName*, *lpQueueName*, *lpEventID*, *lpMessage*)

|       |                     |                           |
|-------|---------------------|---------------------------|
| LPSTR | <i>lpServerName</i> | /* 送信先 JMSS サーバ名指定ポインタ */ |
| LPSTR | <i>lpQueueName</i>  | /* 送信先ジョブキュー名指定ポインタ */    |
| LPSTR | <i>lpEventID</i>    | /* 送信イベント ID */           |
| LPSTR | <i>lpMessage</i>    | /* 送信メッセージポインタ */         |

JmssSendEvent 関数は、指定 JMSS サーバの指定ジョブキューに指定のイベント ID とメッセージを送信します。

| パラメータ        | 説明   |
|--------------|--|
| lpServerName | 送信先の JMSS サーバ名を指定します。<br>送信先の JMSS サーバ名は、NULL で終了していなければなりません。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。 |
| lpQueueName  | 送信先ジョブキュー名を指定します。<br>ジョブキュー名は、NULL で終了していなければなりません。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、全ジョブキューに対してブロードキャストされます。            |
| lpEventID    | 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)へのポインタを指定します。<br>イベント ID 文字列は、NULL で終了していなければなりません。                                     |
| lpMessage    | 128 文字(バイト)以内の送信メッセージ文字列へのポインタを指定します。<br>送信メッセージ文字列は、NULL で終了していなければなりません。<br>本パラメータを使用しない場合は、NULL を指定してください。    |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NO\_CONNECT

JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

## JmssSendEventEx

**DWORD WINAPI JmssSendEventEx**(*lpServerName*, *lpQueueName*, *lpEventID*, *lpMessage*, *lParam*)

|       |                     |                           |
|-------|---------------------|---------------------------|
| LPSTR | <i>lpServerName</i> | /* 送信先 JMSS サーバ名指定ポインタ */ |
| LPSTR | <i>lpQueueName</i>  | /* 送信先ジョブキュー名指定ポインタ */    |
| LPSTR | <i>lpEventID</i>    | /* 送信イベント ID */           |
| LPSTR | <i>lpMessage</i>    | /* 送信メッセージポインタ */         |
| LPSTR | <i>lParam</i>       | /* 送信パラメータポインタ */         |

JmssSendEventEx 関数は、指定 JMSS サーバの指定ジョブキューに、指定のイベント ID、メッセージをパラメータ付きで送信します。

### パラメータ

### 説明

|                     |   |
|---------------------|---|
| <i>lpServerName</i> | 送信先の JMSS サーバ名を指定します。<br>送信先の JMSS サーバ名は、NULL で終了していなければなりません。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。  |
| <i>lpQueueName</i>  | 送信先ジョブキュー名を指定します。<br>ジョブキュー名は、NULL で終了していなければなりません。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、全ジョブキューに対してブロードキャストされます。   |
| <i>lpEventID</i>    | 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)へのポインタを指定します。<br>イベント ID 文字列は、NULL で終了していなければなりません。  |
| <i>lpMessage</i>    | 128 文字(バイト)以内の送信メッセージ文字列へのポインタを指定します。<br>送信メッセージ文字列は、NULL で終了していなければなりません。<br>本パラメータを使用しない場合は、NULL を指定してください。   |
| <i>lParam</i>       | 1024 文字(バイト)以内で送信パラメータを指定します。<br>パラメータと値は「name¥0value¥0name¥0value¥0...name¥0value¥0¥0」の形式で指定します。<br>送信パラメータ文字列は、NULL で終了していなければなりません。<br>本パラメータを使用しない場合は、NULL を指定してください。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME



## JmssReceiveEvent

**DWORD WINAPI JmssReceiveEvent**(*lpEventID*, *lpServerName*, *lpMachineName*, *lpUserName*,  
*lpMessage*, *lpReceiveEventID*, *dwTimeOut*)

|       |                         |                           |
|-------|-------------------------|---------------------------|
| LPSTR | <i>lpEventID</i>        | /* 受信イベント ID */           |
| LPSTR | <i>lpServerName</i>     | /* 送信元 JMSS サーバ名格納ポインタ */ |
| LPSTR | <i>lpMachineName</i>    | /* 送信元マシン名格納ポインタ */       |
| LPSTR | <i>lpUserName</i>       | /* 送信元ユーザ名格納ポインタ */       |
| LPSTR | <i>lpMessage</i>        | /* 受信メッセージポインタ */         |
| LPSTR | <i>lpReceiveEventID</i> | /* 受信イベント ID */           |
| DWORD | <i>dwTimeOut</i>        | /* タイムアウト時間 */            |

JmssReceiveEvent 関数は、指定したイベント ID を指定タイムアウト時間まで受信待ちします。

### パラメータ

### 説明

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <i>lpEventID</i>        | 受信待ちする 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)を格納したポインタを指定します。<br>イベント ID 文字列は、NULL で終了していなければなりません。<br>"*"が指定された場合は、どんなイベント ID でも受信します。 |
| <i>lpServerName</i>     | 受信したイベント ID を送信した送信元の JMSS サーバ名が通知されます。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、本通知は行われません。NULL 以外を指定する場合は、16 バイト以上の領域が必要となります。           |
| <i>lpMachineName</i>    | 受信したイベント ID を送信した送信元のマシン名が通知されます。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、本通知は行われません。NULL 以外を指定する場合は、16 バイト以上の領域が必要となります。                 |
| <i>lpUserName</i>       | 受信したイベント ID を送信したユーザ名が通知されます。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、本通知は行われません。NULL 以外を指定する場合は、41 バイト以上の領域が必要となります。                     |
| <i>lpMessage</i>        | 受信した 128 文字(バイト)以内の送信メッセージが格納されます。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、本通知は行われません。NULL 以外を指定する場合は、129 バイト以上の領域が必要となります。               |
| <i>lpReceiveEventID</i> | 受信したイベント ID が格納されます。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、本通知は行われません。NULL 以外を指定する場合は、5 バイト以上の領域が必要となります。                               |
| <i>dwTimeOut</i>        | タイムアウト時間を秒単位で指定します。<br>0 を指定した場合は、すぐタイムアウトエラーで終了します。<br>INFINITE(0xffffffff)を指定した場合は、ジョブが終了するまで無限に待ち続けます。                  |

## 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

JMSS\_TIMEOUT

## 注意

使用するマシンが稼働マシンで、かつ JLook サービスが起動している時にのみ使用可能です。

監視している同一ジョブ内で同時に複数のイベント待ちを行った場合、JLook の画面上に表示される待ちイベント ID は最後にイベント待ち API を呼び出した時のイベント ID が表示されることになります。

## 4.4 ジョブキュー参照 API

### JmssDispQueueDialog

**DWORD WINAPI JmssDispQueueDialog**(lpServerName, hwndOwner, lpQueueName, lpMessageTitle)

|       |                       |                        |
|-------|-----------------------|------------------------|
| LPSTR | <i>lpServerName</i>   | /* 本バージョンでは使用されません */  |
| HWND  | <i>hwndOwner</i>      | /* 表示する親ウィンドウハンドル */   |
| LPSTR | <i>lpQueueName</i>    | /* 初期選択ジョブキュー名 */      |
| LPSTR | <i>lpMessageTitle</i> | /* エラーメッセージ表示時のタイトル */ |

JmssDispQueueDialog 関数は、ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。

| パラメータ          | 説明   |
|----------------|--|
| lpServerName   | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL を指定してください。   |
| hwndOwner      | 表示するダイアログボックスの親ウィンドウハンドルを指定します(ない場合は NULL を指定してください)。  |
| lpQueueName    | 初期選択させたいジョブキュー名を格納したポインタを指定します。<br>ジョブキュー名は、NULL で終了していなければなりません。<br>ダイアログボックスでジョブキュー名が選択された場合には、選択ジョブキュー名が本パラメータの指す領域に格納されます。 |
| lpMessageTitle | エラーメッセージ表示時に表示させるタイトルを格納した文字列へのポインタを指定します。<br>タイトル文字列は、NULL で終了していなければなりません。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、エラーメッセージを表示しません。         |

### 戻り値

ユーザがジョブキュー名一覧より任意のジョブキュー名を選択した場合([OK]ボタン選択)は、0 を返します。エラーが発生した場合や、ユーザが[キャンセル]ボタンを選択した場合、ダイアログボックスを閉じた場合などは、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_CANCEL

## JmssGetJobQueue

**DWORD WINAPI JmssGetJobQueue**(lpcaServerName, lpcaQueueName, lpJmssJobQInfo)

|                |                       |                   |
|----------------|-----------------------|-------------------|
| LPSTR          | <i>lpcaServerName</i> | /* JMSS サーバ名 */   |
| LPSTR          | <i>lpcaQueueName</i>  | /* ジョブキュー名 */     |
| LPJMSSJOBQINFO | <i>lpJmssJobQInfo</i> | /* ジョブキュー情報構造体 */ |

JmssGetJobQueue 関数は、lpcaQueueName で指定したジョブキューの情報を取得します。  
この関数を実行するユーザには、JMSS の「セキュリティ設定権」が必要です。

### パラメータ

### 説明

|                |  |
|----------------|--|
| lpcaServerName | JMSS サーバ名を指定します。<br>JMSS サーバ名は、NULL で終了していなければなりません。<br>本パラメータに NULL を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。                       |
| lpcaQueueName  | 情報取得を行うジョブキュー名を指定します。  |
| lpJmssJobQInfo | ジョブキュー情報構造体を指すポインタを指定します。<br>Size にこの構造体のサイズを指定してください。サイズを指定しないと正常に動作しません。<br>関数が正常に終了した場合は、このジョブキュー情報情報構造体にジョブキュー情報が格納されます。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_SECURITY\_NO\_CONTROL  
JMSS\_QUEUE\_NOTFOUND

## 4.5 アラート通報 API

### JmssReportEvent

**DWORD WINAPI JmssReportEvent**(*dwMode*, *dwType*, *lpcaMessage*)

|       |                    |                 |
|-------|--------------------|-----------------|
| DWORD | <i>dwMode</i>      | /* アラートの通知先 */  |
| DWORD | <i>dwType</i>      | /* アラートのタイプ */  |
| LPSTR | <i>lpcaMessage</i> | /* 出力するメッセージ */ |

JmssReportEvent 関数は、ESMPRO マネージャ / ページャにアラート通報します。

#### パラメータ

#### 説明

*dwMode*

アラートの通知先を以下の値の組み合わせで指定します。

#### 値

#### 意味

JMSS\_JALT\_MODE\_MANAGER

ESMPRO マネージャに通報します。

JMSS\_JALT\_MODE\_PAGER

ESMPRO ページャに通報します。

*dwType*

通報するアラートの種別を以下の値から指定します。

#### 値

#### 意味

JMSS\_JALT\_TYPE\_INFOMATION

情報レベルで通報します。

(アラートビューアでは緑色のマーク)

JMSS\_JALT\_TYPE\_WARNING

警告レベルで通報します。

(アラートビューアでは黄色のマーク)

JMSS\_JALT\_TYPE\_ERROR

エラーレベルで通報します。

(アラートビューアでは赤色のマーク)

*lpcaMessage*

アラート通報するメッセージを指定します。

メッセージは、NULL で終了していなければなりません。

#### 戻り値

正常にアラート通報(イベントログに出力)できた場合、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値を返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NOGET\_PRODUCT\_ID

JMSS\_NOT\_REPORT\_EVENT

JMSS\_NOT\_INSTALLED

#### 注意

本 API は ESMPRO/JMSS システム上でのみ使用可能です(JMSS/ジョブ運用管理システム上では使用できません)。

## 4.6 構造体

### JMSSJOBTHROWINFO

```
typedef struct _JMSSJOBTHROWINFO {  
    DWORD        dwSize;           // この構造体のサイズ  
    DWORD        dwPriority;        // ジョブ優先順位  
    DWORD        fWatchStdout;     // 標準出力の監視有無  
    HANDLE       hStdin;           // 常に NULL  
    HANDLE       hStdout;          // 常に NULL  
    HANDLE       hStderr;          // 常に NULL  
    char         caQueueName[15+1]; // 投入先キュー名  
    char         caJobName[32+1];   // ジョブの業務名  
    char         caJobPath[256+1];  // ジョブのファイル名  
    char         caJobParam[256+1]; // ジョブのパラメータ  
    char         caExecDir[256+1];  // 実行時ディレクトリ  
    DWORD        dwRepeatLastCount; // 常に 0  
    DWORD        dwMaxElapsedTime; // 実行経過タイムアウト時間  
    DWORD        dwMaxWorkingSetSize; // 常に 0  
    DWORD        dwTermReport;      // ジョブ終了通知  
    char         caStdoutFile[256+1]; // 標準出力内容保存ファイル名  
} JMSSJOBTHROWINFO, FAR *LPJMSSJOBTHROWINFO;
```

ジョブ投入情報構造体は、投入するジョブの情報を格納します。

#### メンバ

dwSize

dwPriority

#### 説明

この構造体のサイズを必ず指定します。

ジョブの優先順位を指定します。指定できる値は次の 4 種類です。

##### 値

JMSS\_PRIORITY\_REAL

JMSS\_PRIORITY\_HIGH

JMSS\_PRIORITY\_NORMAL

JMSS\_PRIORITY\_IDLE

##### 意味

最高の優先順位でジョブを実行します。オペレーティングシステムを含む他のプロセスよりも優先して実行されますので、処理時間の長いジョブでは、ストールしたような状態になることがあります。一般のジョブでの使用は避けて運用してください。

他のジョブより優先して速やかに実行します。CPU を多く使用するジョブでは、アプリケーションを含む他のジョブが全く動作しなくなる場合がありますので、使用には細心の注意が必要です。

システム標準の優先順位でジョブを実行します。通常はこの順位で実行してください。

システムがアイドル状態の時だけジョブを実行します(スクリーンセーバーと同じと考えてください)。

|                     |  |
|---------------------|--|
| fWatchStdout        | 標準出力の監視有無を指定します。指定できる値は次の 4 種類です   |
|                     | <b>値</b>   |
|                     | <b>意味</b>  |
|                     | JMSS_STDOUT_NOWATCH 標準出力の監視をしません。  |
|                     | JMSS_STDOUT_SYSTEM_OVERWRITE 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはシステム標準のファイルに上書きされます。  |
|                     | JMSS_STDOUT_SYSTEM_APEND 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはシステム標準のファイルに追加されます。   |
|                     | JMSS_STDOUT_USER_OVERWRITE 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはユーザ指定ファイル(caStdoutFile で指定したファイル名)に上書きされます。                     |
|                     | JMSS_STDOUT_USER_APEND 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはユーザ指定ファイル(caStdoutFile で指定したファイル名)に追加されます。                          |
| hStdin              | 本バージョンでは使用されません。常に NULL でなければなりません。  |
| hStdout             | 本バージョンでは使用されません。常に NULL でなければなりません。  |
| hStderr             | 本バージョンでは使用されません。常に NULL でなければなりません。  |
| caQueueName         | 投入先キュー名を指定します。キュー名は最大 15 文字。NULL で終了していなければなりません。  |
| caJobName           | ジョブの業務名を指定します。業務名は最大 32 文字。NULL で終了していなければなりません。   |
| caJobPath           | ジョブのファイル名をフルパスで指定します。最大 256 文字。NULL で終了していなければなりません。   |
| caJobParam          | ジョブのパラメータを指定します。最大 256 文字。NULL で終了していなければなりません。  |
| caExecDir           | ジョブの実行時ディレクトリを指定します。最大 256 文字。NULL で終了していなければなりません。  |
| dwRepeatLastCount   | 将来のために予約されています。必ず 0 を指定してください。   |
| dwMaxElapseTime     | 投入したジョブの実行時間を制限したい場合に分単位で指定します。指定できる時間は 0 分 ~ 1000 時間 59 分です。指定した時間が経過してもジョブが終了しなかった場合には強制終了し、終了コードは FFFFFFFB になります。 |
| dwMaxWorkingSetSize | 将来のために予約されています。必ず 0 を指定してください。   |

dwTermReport

ジョブの終了を投入元マシンに通知するかどうかを指定します。「通知する」を指定すると、投入ジョブの終了時に Messenger サービスを使用して投入ジョブのジョブ番号、業務名、終了状態、終了コードが投入元マシンに通知されます。指定できる値は次の 3 種類です。

**値**

**意味**

JMSS\_SEND\_NO

通知しません。

JMSS\_SEND\_YES

通知します。

caStdoutFile

標準出力内容をユーザの好きなファイル名で保存したい場合にファイル名を指定します。実行マシンのローカルファイル名か、”¥¥マシン名¥共有名 ” で 指 定 し て く だ さ い 。 fWatchStdout に JMSS\_STDOUT\_SYSTEM\_OVERWRITE または JMSS\_STDOUT\_SYSTEM\_APPEND を指定した場合は””を指定してください。標準出力内容保存ファイル名は最大 256 文字までで、NULL で終了していなければなりません。



## JMSSJOBINFO

```
typedef struct _JMSSJOBINFO {
    DWORD    dwSize;                // この構造体のサイズ
    DWORD    dwJobType;             // ジョブの種類
    DWORD    dwNetId;               // ジョブボックス ID
    DWORD    dwNetRev;              // ジョブネットファイル Revision
    DWORD    dwSecondaryId;         // 派生ジョブ有無 ID
    long     lJobNo;                // ジョブ番号
    long     lRootJobNo;            // ルートジョブジョブ番号
    long     lParentJobNo;          // 親ジョブ番号
    DWORD    dwExitCode;            // ジョブ終了コード
    DWORD    dwJobStatus;           // ジョブ実行状態
    DWORD    dwPriority;             // ジョブ優先順位
    DWORD    dwMinWorkingSet;       // 最小ワーキングセットサイズ
    DWORD    dwMaxWorkingSet;       // 最大ワーキングセットサイズ
    DWORD    dwUserCPUTime;         // ユーザモードの CPU 使用時間(ミリ秒)
    DWORD    dwKernelCPUTime;       // カーネルモードの CPU 使用時間(ミリ秒)
    DWORD    dwTotalCPUTime;        // 全モードの CPU 使用時間(ミリ秒)
    DWORD    dwUserCPUPercent;      // ユーザモードの CPU 使用率(%)
    DWORD    dwKernelCPUPercent;    // カーネルモードの CPU 使用率(%)
    time_t   tBgn;                  // ジョブ開始日付/時間
    time_t   tEnd;                  // ジョブ終了日付/時間
    DWORD    dwRepeatInterval;      // 繰り返し間隔
    DWORD    dwRepeatMaxCount;      // 繰り返し回数
    time_t   tEndTime;              // 繰り返し実行終了時間
    DWORD    dwRepeatCount;         // 繰り返し実行した回数
    char     caEventID[4+1];        // イベント ID
    char     caUserName[40+1];      // 投入元ユーザ名
    char     caWsName[15+1];        // 投入元マシン名
    char     caQueueName[15+1];     // 投入ジョブキュー名
    char     caCompName[15+1];      // 実行先マシン名
    char     caJobName[32+1];       // 業務名
    char     caJobPath[256+1];      // ジョブのファイル名
    char     caJobParam[256+1];     // パラメータ
    char     caExecDir[256+1];      // 実行時ディレクトリ
    char     caOutFileName[256+1];  // 標準出力ファイル名
    DWORD    dwMaxElapsTime;        // 実行経過時間タイムアウト
    DWORD    dwParentJntNo;         // 継続実行の元となったジョブネットのジョブ番号
    DWORD    dwBranch;              // 将来拡張用
} JMSSJOBINFO, FAR *LPJMSSJOBINFO;
```

ジョブ情報構造体は、投入したジョブの各種情報を格納通知します。

## メンバ

dwSize

dwJobType

## 説明

この構造体のサイズを必ず指定します。

ジョブの種類が通知されます。

ジョブの種類は、10 種類のジョブ種別と 4 種類の補足情報との組み合わせにて行われます。

### 値

JMSS\_JOBTYPE\_BAT

JMSS\_JOBTYPE\_EXE32

JMSS\_JOBTYPE\_EXE16

JMSS\_JOBTYPE\_EXEDOS

JMSS\_JOBTYPE\_JNT

JMSS\_JOBTYPE\_COM

JMSS\_JOBTYPE\_CMD

JMSS\_JOBTYPE\_PIF

JMSS\_JOBTYPE\_OS2

JMSS\_JOBTYPE\_POSIX

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT\_APEND

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT\_USERFILE

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT

JMSS\_JOBTYPE\_CONTINUE

JMSS\_JOBTYPE\_REPEAT

JMSS\_JOBTYPE\_SCHEDULE

dwNetId

dwNetRev

dwSecondaryId

ジョブネットワークファイルにおけるジョブボックス ID が通知されます。

ジョブネットワークファイルの作成レビジョンが通知されます。

派生ジョブの有無 ID が通知されます。ID には次の 2 つがあります。

### 値

JMSS\_NOEXIST\_DERIVE\_JOB

JMSS\_EXIST\_DERIVE\_JOB

lJobNo

lRootJobNo

lParentJobNo

dwExitCode

ジョブ番号が通知されます。

このジョブの一番最初の親ジョブのジョブ番号が通知されます。本メンバが 0 であった場合は、親ジョブを持っていません。

このジョブの親ジョブのジョブ番号が通知されます。本メンバが 0 であった場合は、親ジョブを持っていません。

ジョブの終了コードが通知されます。起動エラー、終了(強制終了含む)時のみ意味を持ちます(起動エラー、終了(強制終了含む)以外の場合には 0 が返却されます)。

### 意味

バッチファイルです。

32 ビットアプリケーションです。

16 ビットアプリケーションです。

DOS アプリケーションです。

ジョブネットワークです。

COM ファイルです。

CMD ファイルです。

PIF ファイルです(未サポート)。

OS2 用アプリケーションです。

POSIX アプリケーションです。

標準出力監視をしています。

標準出力監視ファイルは追加モードです。

標準出力監視ファイルはユーザ指定ファイルです。

標準出力監視をしています。

継続実行しているジョブネットワークです。

スケジュール繰り返し実行指定されています。

スケジュール実行されています。

### 意味

派生ジョブはありません。

派生ジョブがあります。

|                    |  |   |
|--------------------|--|---|
| dwJobStatus        | ジョブの実行状態を通知します。次の 10 種類の値のいずれかになります。                         |   |
|                    | <b>値</b>   | <b>意味</b>                                   |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_RUN   | ジョブは実行中です。                                  |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_FINISH  | ジョブは終了しています。                                |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_TERM  | ジョブは強制終了されています。                             |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_ERROR   | ジョブは起動エラーとなっています。                           |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_EVENT_REC                                     | ジョブはイベント待ち状態です。                             |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_PAUSE   | ジョブは一時停止(ジョブキュー内での一時停止も含む)されています。           |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_EVENT_SEND                                    | ジョブはイベント送信を完了しています。                         |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_WAIT  | ジョブは実行待ちとなっています。                            |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_PENDING                                       | ジョブは保留状態となっています。                            |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_EXECUTE                                       | ジョブは現在起動中です。                                |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_EXCLUSIVE                                     | ジョブは排他資源待ち中です。                              |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_RETRY   | ジョブは起動リトライ中です。                              |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_CHILDJOBRETRY                                 | 派生ジョブが起動リトライ中です。                            |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_STOP  | ジョブは停止しています。                                |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_STOPPING                                      | ジョブは停止中です。                                  |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_JOBBOXRETRY                                   | ジョブボックスリトライ中です。                             |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_UNKNOWN                                       | ジョブ状態は不明です(ジョブ実行中に JLook サービスが予期せぬ終了をしました)。 |
| dwPriority         | ジョブの優先順位が通知されます。次の 4 種類の値のいずれかになります。                         |   |
|                    | <b>値</b>   | <b>意味</b>                                   |
|                    | JMSS_PRIORITY_REAL   | 最高の優先順位でジョブを実行しています。                        |
|                    | JMSS_PRIORITY_HIGH   | 他のジョブより優先して実行しています。                         |
|                    | JMSS_PRIORITY_NORMAL   | システム標準の優先順位でジョブを実行しています。                    |
|                    | JMSS_PRIORITY_IDLE   | 最低の優先順位でジョブを実行しています。                        |
| dwMinWorkingSet    | 最小ワーキングセットサイズを通知します。   |   |
| dwMaxWorkingSet    | 最小ワーキングセットサイズを通知します。   |   |
| dwUserCPUTime      | ユーザモードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。                                |   |
| dwKernelCPUTime    | カーネルモードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。                               |   |
| dwTotalCPUTime     | 全モードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。                                  |   |
| dwUserCPUPercent   | ユーザモードの CPU 使用率を%で通知します。                                     |   |
| dwKernelCPUPercent | カーネルモードの CPU 使用率を%で通知します。                                    |   |
| tBgn               | ジョブ開始日付/時間を通知します。  |   |
| tEnd               | ジョブ終了日付/時間を通知します。  |   |
| dwRepeatInterval   | 繰り返し周期の時間間隔が秒単位で通知されます。繰り返し実行以外の場合は常に 0 です。                  |   |
| dwRepeatMaxCount   | 繰り返し回数が通知されます。繰り返し回数指定で起動されたジョブ以外は常に 0 です。                   |   |
| tEndTime           | 繰り返し実行における終了時間が通知されます。終了時間指定で繰り返し起動されたジョブ以外は常に 0 です。         |   |
| dwRepeatCount      | 繰り返して実行された回数が通知されます。本メンバは、ジョブ終了時にのみ設定され、他のジョブ状態の時には意味を持ちません。 |   |
| caEventID          | イベント ID が NULL で終わる文字列(最大 4 文字)として通知されます。                    |   |
| caUserName         | 投入元のユーザ名が NULL で終わる文字列(最大 40 文字)として通知されます。                   |   |

|                |   |
|----------------|---|
| caWsName       | 投入元のマシン名が NULL で終わる文字列(最大 15 文字)として通知されます。          |
| caQueueName    | 投入ジョブキュー名が NULL で終わる文字列(最大 15 文字)として通知されます。         |
| caCompName     | 実行先のマシン名が NULL で終わる文字列(最大 15 文字)として通知されます。          |
| caJobName      | 業務名が NULL で終わる文字列(最大 32 文字)として通知されます。               |
| caJobPath      | ジョブのファイル名が NULL で終わる文字列(最大 256 文字)としてフルパスで通知されます。   |
| caJobParam     | ジョブ投入時に指定したパラメータが NULL で終わる文字列(最大 256 文字)として通知されます。 |
| caExecDir      | ジョブの実行時ディレクトリが NULL で終わる文字列(最大 256 文字)として通知されます。    |
| caOutFileName  | 標準出力ファイル名が NULL で終わる文字列(最大 256 文字)としてフルパスで通知されます。   |
| caRfu          | 予約されています。   |
| dwMaxElapsTime | 実行経過時間タイムアウト時間が分単位で通知されます。未設定の場合は 0 が通知されます。        |
| dwParentJntNo  | 継続実行の元となったジョブネットのジョブ番号が通知されます。通常は 0 が通知されます。        |
| dwBranch       | 将来拡張用です。  |

## JMSSJOBQINFO

```
typedef struct _JMSSJOBQINFO {  
    DWORD      dwSize;                // 構造体サイズ  
    char       caQueueName[15+1];     // ジョブキュー名  
    DWORD      dwJobQueCondition;     // ジョブキューの状態  
    DWORD      dwMaxRunningJob;       // 最大ジョブキュー多重度  
    DWORD      dwCurRunningJob;       // 現在実行中ジョブ数  
    DWORD      dwMaxEntryJob;         // 最大登録ジョブ数  
    DWORD      dwCurrentEntryJob;     // 現在登録済みのジョブ数  
    DWORD      dwEntryStatus;         // 登録状況  
} JMSSJOBQINFO, FAR *LPJMSSJOBQINFO;
```

ジョブキュー情報構造体は、ジョブキューの各種情報を格納します。

### メンバ

|                   | 説明  |                        |
|-------------------|---|------------------------|
| dwSize            | この構造体のサイズを必ず指定します。  |                        |
| caQueueName       | 情報を取得するジョブキュー名を指定します。キュー名は最大 15 文字までです。   |                        |
| dwJobQueCondition | ジョブキューの状態が通知されます。<br>次の値のいずれかになります。   |                        |
|                   | <b>値</b>  | <b>意味</b>              |
|                   | JMSS_JOBQUECOND_OPEN  | ジョブキューは開いています。         |
|                   | JMSS_JOBQUECOND_CLOSE   | ジョブキューは閉じています。         |
| dwMaxRunningJob   | ジョブキューの多重度が通知されます。  |                        |
| dwCurRunningJob   | 現在実行中のジョブ数が通知されます。  |                        |
| dwMaxEntryJob     | ジョブキューの登録可能ジョブ数が通知されます。   |                        |
| dwCurrentEntryJob | 現在登録されているジョブ数が通知されます。   |                        |
| dwEntryStatus     | ジョブキューへの登録状態が通知されます。<br>次の値のいずれかになります。  |                        |
|                   | <b>値</b>  | <b>意味</b>              |
|                   | JMSS_JOBQUEENTSTS_NORMAL  | 登録可能ジョブ数の 90% 以下です。    |
|                   | JMSS_JOBQUEENTSTS_WARNING   | 登録可能ジョブ数の 90% を超えています。 |
|                   | JMSS_JOBQUEENTSTS_ERROR   | 登録可能ジョブ数に達しています。       |
|                   | dwEntrystatus は、一旦 JMSS_JOBQUEENTSTS_WARNING または JMSS_JOBQUEENTSTS_ERROR となると、登録可能ジョブ数の 80% 未満になるまで値は変化せず、80% 未満になった時点で JMSS_JOBQUEENTSTS_NORMAL となります。 |                        |



# 第5章 Visual Basic 用 API リファレンス

---

## 5.1 API 一覧

### ジョブ制御 API

|                     |                                    |
|---------------------|------------------------------------|
| JmssThrowJob        | 指定ジョブの投入を行います。                     |
| JmssWaitJobExit     | 指定ジョブの終了待ちを行います。                   |
| JmssGetJobStatus    | 指定のジョブ状態を取得します。                    |
| JmssControlJob      | 指定ジョブの実行制御(強制終了、一時停止、再開)を行います。     |
| JmssGetChildJobList | 指定条件で指定ジョブから派生したジョブのジョブ番号一覧を取得します。 |
| JmssCurrentJobNo    | 自ジョブ番号を取得します。                      |
| JmssSetErrorLevel   | errorlevel を設定します。                 |

### イベント処理 API

|                  |  |
|------------------|--|
| JmssSendEvent    | 指定 JMSS サーバの指定ジョブキューにイベントを送信します。         |
| JmssSendEventEx  | 指定 JMSS サーバの指定ジョブキューにパラメータ付きでイベントを送信します。 |
| JmssReceiveEvent | 指定イベントの受信待ち合わせを行います。                     |

### ジョブキュー参照 API

|                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| JmssDispQueueDialog | ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。 |
| JmssGetJobQuere     | 指定したジョブキューの情報を取得します。       |

### アラート通報 API

|                 |  |
|-----------------|--|
| JmssReportEvent | ESMPRO マネージャ / ページにアラートを通報します。<br>(JMSS/ジョブ運用管理システム上では使用できません) |
|-----------------|--|

### データ定義型

|                  |                |
|------------------|----------------|
| JMSSJOBTHROWINFO | ジョブ投入情報データ定義型  |
| JMSSJOBINFO      | ジョブ情報データ定義型    |
| JMSSJOBQINFO     | ジョブキュー情報データ定義型 |

## 5.2 ジョブ制御 API

### JmssThrowJob

|                                 |                                 |                     |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------|
| Declare Function                | <b>JmssThrowJob</b> Lib "JAPI"  |                     |
|                                 | (ByVal <i>lpServerName</i>      | As String           |
|                                 | ByRef <i>lpJmssJobThrowInfo</i> | As JMSSJOBTHROWINFO |
|                                 | ByRef <i>lpJobNo</i>            | As Long)            |
|                                 | As Long                         |                     |
| ByVal <i>lpServerName</i>       | As String                       | ' 本バージョンでは使用されません   |
| ByRef <i>lpJmssJobThrowInfo</i> | As JMSSJOBTHROWINFO             | ' ジョブ投入情報構造体        |
| ByRef <i>lpJobNo</i>            | As Long                         | ' 投入ジョブ番号(返却)       |

JmssThrowJob 関数は、ジョブ投入データ定義型 JMSSJOBTHROWINFO で指定したジョブの投入を行います。

### パラメータ

### 説明

|                           |   |
|---------------------------|---|
| <i>lpServerName</i>       | 本バージョンでは使用されません。必ず vbNullString を指定してください。  |
| <i>lpJmssJobThrowInfo</i> | ジョブ投入データ定義型 JMSSJOBTHROWINFO を指すポインタを指定します。 |
| <i>lpJobNo</i>            | ジョブ投入が成功した場合に通知される投入ジョブ番号を格納するポインタを指定します。   |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NOT\_ENOUGH\_MEMORY  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_THROW  
JMSS\_QUEUE\_NOTFOUND  
JMSS\_QUEUE\_FULL  
JMSS\_QUEUE\_CLOSED  
JMSS\_PARENTJOB\_TERMINATE  
JMSS\_POWEROFF\_TERMINATE  
JMSS\_EXCLUSIVE\_ERROR



## JmssWaitJobExit

|                            |                            |                   |
|----------------------------|----------------------------|-------------------|
| Declare Function           | <b>JmssWaitJobExit</b>     | Lib "JAPI"        |
|                            | (ByVal <i>lpServerName</i> | As String         |
|                            | ByVal <i>lJobNo</i>        | As Long           |
|                            | ByRef <i>lpJmssJobInfo</i> | As Any            |
|                            | ByVal <i>dwTimeOut</i>     | As Long)          |
|                            | As Long                    |                   |
| ByVal <i>lpServerName</i>  | As String                  | ' 本バージョンでは使用されません |
| ByVal <i>lJobNo</i>        | As Long                    | ' ジョブ番号           |
| ByRef <i>lpJmssJobInfo</i> | As Any                     | ' 本バージョンでは使用されません |
| ByVal <i>dwTimeOut</i>     | As Long                    | ' タイムアウト時間        |

JmssWaitJobExit 関数は、lJobNo で指定したジョブ番号のジョブが終了するまで待ち合わせを行います。すでに指定ジョブが終了している場合には、本関数はすぐに正常終了します。また、タイムアウト時間内にジョブが終了しなかった場合には、エラー終了します。

### パラメータ

### 説明

|               |  |
|---------------|--|
| lpServerName  | 本バージョンでは使用されません。必ず vbNullString を指定してください。   |
| lJobNo        | 待ち合わせを行うジョブのジョブ番号を指定します。   |
| lpJmssJobInfo | 本バージョンでは使用されません。必ず Null を指定してください。   |
| dwTimeOut     | タイムアウト時間をミリ秒単位で指定します。<br>0 を指定すると、すぐタイムアウトエラーで終了します。&HFFFF を指定すると、ジョブが終了するまで無限に待ち続けます。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_TIMEOUT  
JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssGetJobStatus

```
Declare Function JmssGetJobStatus Lib "JAPI"  
    (ByVal lpServerName As String  
     ByVal lJobNo As Long  
     ByRef lpJmssJobInfo As JMSSJOBINFO)  
    As Long  
  
ByVal lpServerName As String ' 本バージョンでは使用されません  
ByVal lJobNo As Long ' ジョブ番号  
ByRef lpJmssJobInfo As JMSSJOBINFO ' ジョブ情報データ定義型
```

JmssGetJobStatus 関数は、lJobNo で指定したジョブ番号のジョブ状態を取得します。

### パラメータ

lpServerName  
lJobNo  
lpJmssJobInfo

### 説明

本バージョンでは使用されません。必ず vbNullString を指定してください。  
情報(状態)取得を行うジョブのジョブ番号を指定します。  
ジョブ情報構造体 JMSSJOBINFO を指すポインタを指定します。  
関数が正常に終了した場合は、このジョブ情報構造体にジョブ情報(状態)が格納されます。

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssControlJob

|                            |                                  |                   |
|----------------------------|----------------------------------|-------------------|
| Declare Function           | <b>JmssControlJob</b> Lib "JAPI" |                   |
|                            | (ByVal <i>lpServerName</i>       | As String         |
|                            | ByVal <i>dwControlMode</i>       | As Long           |
|                            | ByVal <i>lJobNo</i>              | As Long)          |
|                            | As Long                          |                   |
| ByVal <i>lpServerName</i>  | As String                        | ' 本バージョンでは使用されません |
| ByVal <i>dwControlMode</i> | As Long                          | ' 要求する制御の種類       |
| ByVal <i>lJobNo</i>        | As Long                          | ' ジョブ番号           |

JmssControlJob 関数は、lJobNo で指定したジョブ番号のジョブに対して、dwControlMode で指定された制御操作を行います。

| パラメータ                  | 説明   |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
|------------------------|--|---|----|------------------------|--|----------------------|--|---------------------|--|-------------------|--|----------------------|--|---------------------|---|-------------------|--|-----------------------|---|
| lpServerName           | 本バージョンでは使用されません。必ず vbNullString を指定してください。   |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
| dwControlMode          | <p>要求する制御の種類を指定します。</p> <p>このパラメータには、次の値のいずれかを指定します。</p> <table> <tr> <th>値</th><th>意味</th></tr> <tr> <td>JMSS_CONTROL_TERMINATE</td><td> <p>強制終了要求を行います。</p> <p>対象ジョブが実行中であれば強制終了され、実行待ちであればジョブキューから(登録)削除されます。</p> </td></tr> <tr> <td>JMSS_CONTROL_SUSPEND</td><td> <p>実行中のジョブネットワークの一時停止要求を行います。</p> <p>本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p> </td></tr> <tr> <td>JMSS_CONTROL_RESUME</td><td> <p>一時停止中のジョブネットワークの再開要求を行います。</p> <p>本要求は一時停止中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p> </td></tr> <tr> <td>JMSS_CONTROL_HOLD</td><td> <p>ジョブの保留要求を行います。</p> <p>本要求は実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。</p> </td></tr> <tr> <td>JMSS_CONTROL_RELEASE</td><td> <p>ジョブの保留解除要求を尾篭舞います。</p> <p>本要求は保留ジョブに対してのみ有効に働きます。</p> </td></tr> <tr> <td>JMSS_CONTROL_DELETE</td><td> <p>ジョブの登録削除要求を行います。</p> <p>本要求は保留 / 実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。</p> </td></tr> <tr> <td>JMSS_CONTROL_STOP</td><td> <p>ジョブの停止要求を行います。</p> <p>本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p> </td></tr> <tr> <td>JMSS_CONTROL_CONTINUE</td><td> <p>ジョブの継続要求を行います。</p> <p>本要求は停止 / 強制終了 / 不明のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p> </td></tr> </table> | 値 | 意味 | JMSS_CONTROL_TERMINATE | <p>強制終了要求を行います。</p> <p>対象ジョブが実行中であれば強制終了され、実行待ちであればジョブキューから(登録)削除されます。</p> | JMSS_CONTROL_SUSPEND | <p>実行中のジョブネットワークの一時停止要求を行います。</p> <p>本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p> | JMSS_CONTROL_RESUME | <p>一時停止中のジョブネットワークの再開要求を行います。</p> <p>本要求は一時停止中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p> | JMSS_CONTROL_HOLD | <p>ジョブの保留要求を行います。</p> <p>本要求は実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。</p> | JMSS_CONTROL_RELEASE | <p>ジョブの保留解除要求を尾篭舞います。</p> <p>本要求は保留ジョブに対してのみ有効に働きます。</p> | JMSS_CONTROL_DELETE | <p>ジョブの登録削除要求を行います。</p> <p>本要求は保留 / 実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。</p> | JMSS_CONTROL_STOP | <p>ジョブの停止要求を行います。</p> <p>本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p> | JMSS_CONTROL_CONTINUE | <p>ジョブの継続要求を行います。</p> <p>本要求は停止 / 強制終了 / 不明のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p> |
| 値                      | 意味   |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
| JMSS_CONTROL_TERMINATE | <p>強制終了要求を行います。</p> <p>対象ジョブが実行中であれば強制終了され、実行待ちであればジョブキューから(登録)削除されます。</p>   |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
| JMSS_CONTROL_SUSPEND   | <p>実行中のジョブネットワークの一時停止要求を行います。</p> <p>本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p>   |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
| JMSS_CONTROL_RESUME    | <p>一時停止中のジョブネットワークの再開要求を行います。</p> <p>本要求は一時停止中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p>   |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
| JMSS_CONTROL_HOLD      | <p>ジョブの保留要求を行います。</p> <p>本要求は実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。</p>   |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
| JMSS_CONTROL_RELEASE   | <p>ジョブの保留解除要求を尾篭舞います。</p> <p>本要求は保留ジョブに対してのみ有効に働きます。</p>   |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
| JMSS_CONTROL_DELETE    | <p>ジョブの登録削除要求を行います。</p> <p>本要求は保留 / 実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。</p>  |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
| JMSS_CONTROL_STOP      | <p>ジョブの停止要求を行います。</p> <p>本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p>   |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
| JMSS_CONTROL_CONTINUE  | <p>ジョブの継続要求を行います。</p> <p>本要求は停止 / 強制終了 / 不明のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。</p>  |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |
| lJobNo                 | 実行制御を行うジョブのジョブ番号を指定します。  |   |    |                        |  |                      |  |                     |  |                   |  |                      |  |                     |   |                   |  |                       |   |

## 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_TERMINATE  
JMSS\_NO\_PAUSE  
JMSS\_NO\_RESTART  
JMSS\_NOT\_JOBNET  
JMSS\_NO\_HOLD  
JMSS\_NO\_RELEASE  
JMSS\_NO\_DELETE  
JMSS\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_CONTINUE  
JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssGetChildJobList

|                               |                               |                     |
|-------------------------------|-------------------------------|---------------------|
| Declare Function              | <b>JmssGetChildJobList</b>    | Lib "JAPI"          |
|                               | (ByVal <i>lpServerName</i>    | As String           |
|                               | ByVal <i>lJobNo</i>           | As Long             |
|                               | ByVal <i>dwQueryJobStatus</i> | As Long             |
|                               | ByRef <i>lpdwJobCount</i>     | As Long             |
|                               | ByRef <i>lpJobNoList</i>      | As Any)             |
|                               | As Long                       |                     |
| ByVal <i>lpServerName</i>     | As String                     | ' 本バージョンでは使用されません   |
| ByVal <i>lJobNo</i>           | As Long                       | ' ジョブ番号             |
| ByVal <i>dwQueryJobStatus</i> | As Long                       | ' 問い合わせジョブ状態条件      |
| ByRef <i>lpdwJobCount</i>     | As Long                       | ' 格納配列最大数/格納数       |
| ByRef <i>lpJobNoList</i>      | As Any                        | ' 派生ジョブ番号格納配列へのポインタ |

JmssGetChildJobList 関数は、lJobNo で指定したジョブ番号のジョブから派生したジョブのうち、問い合わせ条件(ジョブ状態)に一致するジョブのジョブ番号一覧を取得します。

### パラメータ

### 説明

| lpServerName     | 本バージョンでは使用されません。必ず vbNullString を指定してください。   |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
|------------------|--|---|----|------------------|---------------------|------------------|-------------------|------------------|----------------------------|
| lJobNo           | 派生ジョブを問い合わせる親ジョブ番号を指定します。  |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| dwQueryJobStatus | 取得したい派生ジョブのジョブ状態条件を指定します。<br>このパラメータには、次に示す値の組み合わせを指定します。  |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
|                  | <table><tr><th>値</th><th>意味</th></tr><tr><td>JMSS_CONTROL_END</td><td>実行終了した派生ジョブを対象とします。</td></tr><tr><td>JMSS_CONTROL_RUN</td><td>実行中の派生ジョブを対象とします。</td></tr><tr><td>JMSS_CONTROL_QUE</td><td>実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。</td></tr></table> | 値 | 意味 | JMSS_CONTROL_END | 実行終了した派生ジョブを対象とします。 | JMSS_CONTROL_RUN | 実行中の派生ジョブを対象とします。 | JMSS_CONTROL_QUE | 実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。 |
| 値                | 意味   |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| JMSS_CONTROL_END | 実行終了した派生ジョブを対象とします。  |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| JMSS_CONTROL_RUN | 実行中の派生ジョブを対象とします。  |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| JMSS_CONTROL_QUE | 実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。   |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| lpdwJobCount     | 格納できる配列の最大数を指定します。<br>関数が正常に終了した場合は格納した数が、指定した最大数で足りない場合は必要数が返却されます。   |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |
| lpJobNoList      | 派生ジョブのジョブ番号を格納する配列へのポインタを指定します。<br>NULL を指定すると、lpdwJobCount パラメータに必要数が設定返却されます。  |   |    |                  |                     |                  |                   |                  |                            |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_ENOUGH\_BUF  
JMSS\_NO\_JOBNO

## JmssCurrentJobNo

```
Declare Function JmssCurrentJobNo Lib "JAPI"  
    (ByVal lpServerName As String  
     ByRef lpJobNo As Long)  
    As Long  
  
ByVal lpServerName As String ' JMSS サーバ名格納ポインタ  
ByRef lpJobNo As Long ' 自ジョブ番号格納ポインタ
```

JmssCurrentJobNo 関数は、自ジョブのジョブ番号と自ジョブを監視している JMSS サーバ名を取得します。

### パラメータ

#### 説明

|                     |   |
|---------------------|---|
| <i>lpServerName</i> | 自ジョブを監視している JMSS サーバ名が通知されます。JMSS サーバ名の通知が必要でない場合には、vbNullString を指定してください。       |
| <i>lpJobNo</i>      | 自ジョブのジョブ番号が通知されます。監視されていない時は 0 が通知されます。ジョブ番号の通知が必要でない場合には、vbNullString を指定してください。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

```
JMSS_PARAM_ERROR  
JMSS_NOGET_SERVERNAME  
JMSS_NOWATCH
```

## JmssSetErrorLevel

```
Declare Sub JmssSetErrorLevel Lib "JAPI"  
    (ByVal lErrorLevel As Long) As Long  
  
ByVal lErrorLevel As Long ' 終了コード
```

JmssSetErrorLevel 関数は、VB アプリケーションから ERRORLEVEL を設定したいときに使用します。JLook の終了コードに表示され、ジョブネットの条件分岐で終了コードの判別が可能となります。この関数は、終了コードを設定後、VB アプリケーションを終了します。

プロセスを終了させる End ステートメント等の終了ステートメントの代わりに記述します。

### パラメータ

*lErrorLevel*

### 説明

終了コードを指定します。ERRORLEVEL に設定されます。

### 戻り値

戻り値はありません。

## 5.3 イベント処理 API

### JmssSendEvent

| Declare                   | Function  | JmssSendEvent              | Lib        | "JAPI" |
|---------------------------|-----------|----------------------------|------------|--------|
|                           |           | (ByVal <i>lpServerName</i> | As String  |        |
|                           |           | ByVal <i>lpQueueName</i>   | As String  |        |
|                           |           | ByVal <i>lpEventID</i>     | As String  |        |
|                           |           | ByVal <i>lpMessage</i>     | As String) |        |
|                           |           | As Long                    |            |        |
| ByVal <i>lpServerName</i> | As String | ' 送信先 JMSS サーバ名指定ポインタ      |            |        |
| ByVal <i>lpQueueName</i>  | As String | ' 送信先ジョブキュー名指定ポインタ         |            |        |
| ByVal <i>lpEventID</i>    | As String | ' 送信イベント ID                |            |        |
| ByVal <i>lpMessage</i>    | As String | ' 送信メッセージポインタ              |            |        |

JmssSendEvent 関数は、指定 JMSS サーバの指定ジョブキューに指定のイベント ID とメッセージを送信します。

| パラメータ        | 説明  |
|--------------|---|
| lpServerName | 送信先の JMSS サーバ名を指定します。<br>送信先の JMSS サーバ名は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。<br>vbNullString を指定すると、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。         |
| lpQueueName  | 送信先ジョブキュー名を指定します。<br>ジョブキュー名は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。<br>vbNullString を指定すると、全ジョブキューに対してブロードキャストされます。                    |
| lpEventID    | 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)へのポインタを指定します。<br>イベント ID 文字列は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。   |
| lpMessage    | 128 文字(バイト)以内の送信メッセージ文字列へのポインタを指定します。<br>送信メッセージ文字列は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。<br>送信メッセージを使用しない場合は、vbNullString を指定してください。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME



## JmssSendEventEx

|                           |                            |                       |
|---------------------------|----------------------------|-----------------------|
| Declare Function          | <b>JmssSendEventEx</b>     | Lib "JAPI"            |
|                           | (ByVal <i>lpServerName</i> | As String             |
|                           | ByVal <i>lpQueueName</i>   | As String             |
|                           | ByVal <i>lpEventID</i>     | As String             |
|                           | ByVal <i>lpMessage</i>     | As String             |
|                           | ByVal <i>lpParam</i>       | As String)            |
|                           | As Long                    |                       |
| ByVal <i>lpServerName</i> | As String                  | ' 送信先 JMSS サーバ名指定ポインタ |
| ByVal <i>lpQueueName</i>  | As String                  | ' 送信先ジョブキュー名指定ポインタ    |
| ByVal <i>lpEventID</i>    | As String                  | ' 送信イベント ID           |
| ByVal <i>lpMessage</i>    | As String                  | ' 送信メッセージポインタ         |
| ByVal <i>lpParam</i>      | As String                  | ' 送信パラメータポインタ         |

JmssSendEventEx 関数は、指定 JMSS サーバの指定ジョブキューに指定のイベント ID、メッセージをパラメータ付きで送信します。

### パラメータ

### 説明

|              |  |
|--------------|--|
| lpServerName | 送信先の JMSS サーバ名を指定します。<br>送信先の JMSS サーバ名は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。<br>vbNullString を指定すると、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。  |
| lpQueueName  | 送信先ジョブキュー名を指定します。<br>ジョブキュー名は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。<br>vbNullString を指定すると、全ジョブキューに対してブロードキャストされます。   |
| lpEventID    | 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)へのポインタを指定します。<br>イベント ID 文字列は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。  |
| lpParam      | 1024 文字(バイト)以内の送信パラメータ文字列へのポインタを指定します。<br>パラメータと値は vbNullString で区切ってください。<br>送信メッセージ文字列は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。<br>送信メッセージを使用しない場合は、vbNullString を指定してください。 |

### 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

## JmssReceiveEvent

Declare Function **JmssReceiveEvent** Lib "JAPI"

(ByVal *lpEventID* As String  
ByVal *lpServerName* As String  
ByVal *lpMachineName* As String  
ByVal *lpUserName* As String  
ByVal *lpMessage* As String  
ByVal *lpReceiveEventID* As String  
ByVal *dwTimeOut* As Long  
As Long

|                               |           |                       |
|-------------------------------|-----------|-----------------------|
| ByVal <i>lpEventID</i>        | As String | ' 受信イベント ID           |
| ByVal <i>lpServerName</i>     | As String | ' 送信元 JMSS サーバ名格納ポインタ |
| ByVal <i>lpMachineName</i>    | As String | ' 送信元マシン名格納ポインタ       |
| ByVal <i>lpUserName</i>       | As String | ' 送信元ユーザ名格納ポインタ       |
| ByVal <i>lpMessage</i>        | As String | ' 受信メッセージポインタ         |
| ByVal <i>lpReceiveEventID</i> | As String | ' 受信イベント ID           |
| ByVal <i>dwTimeOut</i>        | As Long   | ' タイムアウト時間            |

JmssReceiveEvent 関数は、指定したイベント ID を指定タイムアウト時間まで受信待ちします。

### パラメータ

### 説明

|                  |   |
|------------------|---|
| lpEventID        | 受信待ちする 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)を格納したポインタを指定します。<br>イベント ID 文字列は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。<br>"*"が指定された場合は、どんなイベント ID でも受信します。 |
| lpServerName     | 受信したイベント ID を送信した送信元の JMSS サーバ名が通知されます。<br>vbNullString を指定すると、通知は行われません。vbNullString 以外を指定する場合は、16 バイト以上の領域が必要となります。         |
| lpMachineName    | 受信したイベント ID を送信した送信元のマシン名が通知されます。<br>vbNullString を指定すると、通知は行われません。vbNullString 以外を指定する場合は、16 バイト以上の領域が必要となります。               |
| lpUserName       | 受信したイベント ID を送信したユーザ名が通知されます。<br>vbNullString を指定すると、通知は行われません。vbNullString 以外を指定する場合は、41 バイト以上の領域が必要となります。                   |
| lpMessage        | 受信した 128 文字(バイト)以内の送信メッセージが格納されます。<br>vbNullString を指定すると、通知は行われません。vbNullString 以外を指定する場合は、129 バイト以上の領域が必要となります。             |
| lpReceiveEventID | 受信したイベント ID が格納されます。<br>vbNullString を指定すると、通知は行われません。vbNullString 以外を指定する場合は、5 バイト以上の領域が必要となります。                             |
| dwTimeOut        | タイムアウト時間を秒単位で指定します。<br>0 を指定すると、すぐタイムアウトエラーで終了します。&HFFFF を指定すると、ジョブが終了するまで無限に待ち続けます。  |

## 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

JMSS\_TIMEOUT

## 注意

使用するマシンが稼働マシンで、かつ JLook サービスが起動している時にのみ使用可能です。  
監視している同一ジョブ内で同時に複数のイベント待ちを行った場合、JLook の画面上に表示される待ちイベント ID は最後にイベント待ち API を呼び出した時のイベント ID が表示されることになります。

## 5.4 ジョブキュー参照 API

### JmssDispQueueDialog

| Declare                     | Function  | JmssDispQueueDialog         | Lib | "JAPI"     |
|-----------------------------|-----------|-----------------------------|-----|------------|
|                             |           | (ByVal <i>lpServerName</i>  |     | As String  |
|                             |           | ByVal <i>hwndOwner</i>      |     | As Long    |
|                             |           | ByVal <i>lpQueueName</i>    |     | As String  |
|                             |           | ByVal <i>lpMessageTitle</i> |     | As String) |
|                             |           | As Long                     |     |            |
| ByVal <i>lpServerName</i>   | As String | ' 本バージョンでは使用されません           |     |            |
| ByVal <i>hwndOwner</i>      | As Long   | ' 表示する親ウィンドウハンドル            |     |            |
| ByVal <i>lpQueueName</i>    | As String | ' 初期選択ジョブキュー名               |     |            |
| ByVal <i>lpMessageTitle</i> | As String | ' エラーメッセージ表示時のタイトル          |     |            |

JmssDispQueueDialog 関数は、ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。

| パラメータ                 | 説明  |
|-----------------------|---|
| <i>lpServerName</i>   | 本バージョンでは使用されません。<br>必ず vbNullString を指定してください。  |
| <i>hwndOwner</i>      | 表示するダイアログボックスの親ウィンドウハンドルを指定します(ない場合は vbNullString を指定してください)。   |
| <i>lpQueueName</i>    | 初期選択させたいジョブキュー名を格納したポインタを指定します。<br>ジョブキュー名は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。<br>ダイアログボックスでジョブキュー名が選択された場合には、選択ジョブキュー名が本パラメータの指す領域に格納されます。 |
| <i>lpMessageTitle</i> | エラーメッセージ表示時に表示させるタイトルを格納した文字列へのポインタを指定します。<br>タイトル文字列は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。<br>vbNullString を指定すると、エラーメッセージを表示しません。           |

### 戻り値

ユーザがジョブキュー名一覧より任意のジョブキュー名を選択した場合([OK]ボタン選択)は、0 を返します。エラーが発生した場合や、ユーザーが[キャンセル]ボタンを選択した場合、ダイアログボックスを閉じた場合などは、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_CANCEL

## JmssGetJobQueue

```
Declare Function JmssGetJobQueue Lib "JAPI"  
    (ByVal lpServerName As String  
     ByVal lpQueueName As String  
     ByRef lpJmssJobQInfo As JMSSJOBQINFO)  
    As Long  
  
ByVal lpServerName As String ' JMSS サーバ名  
ByVal lpQueueName As String ' ジョブキュー名  
ByRef lpJmssJobQInfo As JMSSJOBQINFO ' ジョブキュー情報データ定義型
```

JmssGetJobQueue 関数は、lpQueueName で指定したジョブキューの情報を取得します。  
この関数を実行するユーザには、JMSS の「セキュリティ設定権」が必要です。

| パラメータ          | 説明  |
|----------------|---|
| lpServerName   | JMSS サーバ名を指定します。<br>JMSS サーバ名は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。<br>本パラメータに vbNullString を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。                     |
| lpQueueName    | 情報取得を行うジョブキュー名を指定します。<br>ジョブキュー名は、Chr\$(0)で終了していなければなりません。  |
| lpJmssJobQInfo | ジョブキュー情報データ定義型を指すポインタを指定します。<br>dwSize にこのデータ定義型のサイズを指定してください。サイズを指定しないと正常に動作しません。<br>関数が正常に終了した場合は、このジョブキュー情報データ定義型にジョブキュー情報が格納されます。 |

## 戻り値

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

```
JMSS_PARAM_ERROR  
JMSS_NO_CONNECT  
JMSS_SECURITY_NO_CONTROL  
JMSS_QUEUE_NOTFOUND
```

## 5.5 アラート通報 API

### JmssReportEvent

```
Declare Function JmssReportEvent Lib "JAPI"
    (ByVal dwMode As Long,
     ByVal dwType As Long,
     ByVal lpcaMessage As String) As Long

ByVal dwMode As Long      ' アラートの通知先
ByVal dwType As Long      ' アラートのタイプ
ByVal lpcaMessage As String ' 出力するメッセージ
```

JmssReportEvent 関数は、ESMPRO マネージャ / ページャにアラート通報します。

#### パラメータ

#### 説明

|                          |                                 |
|--------------------------|---------------------------------|
| dwMode                   | アラートの通知先を以下の値の組み合わせで指定します       |
| 値                        | 意味                              |
| JMSS_JALT_MODE_MANAGER   | ESMPRO マネージャに通報します。             |
| JMSS_JALT_MODE_PAGER     | ESMPRO ページャに通報します。              |
| dwType                   | 通報するアラートの種別を以下の値から指定します。        |
| 値                        | 意味                              |
| JMSS_JALT_TYPE_INFOMATIO | 情報レベルで通報します。                    |
| N                        | (アラートビューアでは緑色のマーク)              |
| JMSS_JALT_TYPE_WARNING   | 警告レベルで通報します。                    |
|                          | (アラートビューアでは黄色のマーク)              |
| JMSS_JALT_TYPE_ERROR     | エラーレベルで通報します。                   |
|                          | (アラートビューアでは赤色のマーク)              |
| lpcaMessage              | アラート通報するメッセージを指定します。            |
|                          | メッセージは、Chr\$(0)で終了していなければなりません。 |

#### 戻り値

正常にアラート通報(イベントログに出力)できた場合、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値を返します。

```
JMSS_PARAM_ERROR
JMSS_NOGET_PRODUCT_ID
JMSS_NOT_REPORT_EVENT
JMSS_NOT_INSTALLED
```

#### 注意

本 API は ESMPRO/JMSS システム上でのみ使用可能です(JMSS/ジョブ運用管理システム上では使用できません)。

## 5.6 データ定義型

### JMSSJOBTHROWINFO

#### Public Type JMSSJOBTHROWINFO

|                            |               |                        |
|----------------------------|---------------|------------------------|
| <i>dwSize</i>              | As Long       | ' このデータ型のサイズ(1120 を指定) |
| <i>dwPriority</i>          | As Long       | ' ジョブ優先順位              |
| <i>fWatchStdout</i>        | As Long       | ' 標準出力の監視有無            |
| <i>hStdin</i>              | As Long       | ' 常に 0                 |
| <i>hStdout</i>             | As Long       | ' 常に 0                 |
| <i>hStderr</i>             | As Long       | ' 常に 0                 |
| <i>caQueueName</i>         | As String*16  | ' 投入先キュー名              |
| <i>caJobName</i>           | As String*33  | ' ジョブの業務名              |
| <i>caJobPath</i>           | As String*257 | ' ジョブのファイル名            |
| <i>caJobParam</i>          | As String*257 | ' ジョブのパラメータ            |
| <i>caExecDir</i>           | As String*257 | ' 実行時ディレクトリ            |
| <i>dwRepeatLastCount</i>   | As Long       | ' 常に 0                 |
| <i>dwMaxElapsedTime</i>    | As Long       | ' 実行経過時間タイムアウト         |
| <i>dwMaxWorkingSetSize</i> | As Long       | ' 常に 0                 |
| <i>dwTermReport</i>        | As Long       | ' ジョブ終了通知              |
| <i>caStdoutFile</i>        | As String*257 | ' 標準出力内容保存ファイル         |

#### End Type

ジョブ投入情報データ定義型は、投入するジョブの情報を格納します。

## メンバ

dwSize  
dwPriority

## 説明

このデータ型のサイズ(1120)を指定します。

ジョブの優先順位を指定します。指定できる値は次の 4 種類です。

| 値                    | 意味  |
|----------------------|---|
| JMSS_PRIORITY_REAL   | 最高の優先順位でジョブを実行します。オペレーティングシステムを含む他のプロセスよりも優先して実行されますので、処理時間の長いジョブでは、ストールしたような状態になることがあります。一般のジョブでの使用は避けて運用してください。 |
| JMSS_PRIORITY_HIGH   | 他のジョブより優先して速やかに実行します。CPU を多く使用するジョブでは、アプリケーションを含む他のジョブが全く動作しなくなる場合がありますので、使用には細心の注意が必要です。                         |
| JMSS_PRIORITY_NORMAL | システム標準の優先順位でジョブを実行します。通常はこの順位で実行してください。   |
| JMSS_PRIORITY_IDLE   | システムがアイドル状態の時だけジョブを実行します(スクリーンセーバーと同じと考えてください)。   |

fWatchStdout

標準出力の監視有無を指定します。次の 4 種類から指定できます。

| 値                            | 意味  |
|------------------------------|---|
| JMSS_STDOUT_NOWATCH          | 標準出力の監視をしません。   |
| JMSS_STDOUT_SYSTEM_OVERWRITE | 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはシステム標準のファイルに上書きされます。                        |
| JMSS_STDOUT_SYSTEM_APEND     | 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはシステム標準のファイルに追加されます。                         |
| JMSS_STDOUT_USER_OVERWRITE   | 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはユーザ指定ファイル(caStdoutFile で指定したファイル名)に上書きされます。 |
| JMSS_STDOUT_USER_APEND       | 標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはユーザ指定ファイル(caStdoutFile で指定したファイル名)に追加されます。  |

hStdin

本バージョンでは使用されません。常に 0 でなければなりません。

hStdout

本バージョンでは使用されません。常に 0 でなければなりません。

hStderr

本バージョンでは使用されません。常に 0 でなければなりません。

caQueueName

投入先キュー名を指定します。キュー名は最大 15 文字。Chr\$(0)で終了していなければなりません。

caJobName

ジョブの業務名を指定します。業務名は最大 32 文字。Chr\$(0)で終了していなければなりません。

caJobPath

ジョブのファイル名をフルパスで指定します。最大 256 文字。Chr\$(0)で終了していなければなりません。

caJobParam

ジョブのパラメータを指定します。最大 256 文字。Chr\$(0)で終了していなければなりません。

caExecDir

ジョブの実行時ディレクトリを指定します。最大 256 文字。Chr\$(0)で終了していなければなりません。



| dwRepeatLastCount   | 将来のために予約されています。必ず 0 を指定してください。   |   |    |              |         |               |        |
|---------------------|--|---|----|--------------|---------|---------------|--------|
| dwMaxElapseTime     | 投入したジョブの実行時間を制限したい場合に分単位で指定します。指定できる時間は 0 分 ~ 1000 時間 59 分です。指定した時間が経過してもジョブが終了しなかった場合には強制終了し、終了コードは FFFFFFFB になります。   |   |    |              |         |               |        |
| dwMaxWorkingSetSize | 将来のために予約されています。必ず 0 を指定してください。   |   |    |              |         |               |        |
| dwTermReport        | ジョブの終了を投入元マシンに通知するかどうかを指定します。「通知する」を指定すると、投入ジョブの終了時に Messenger サービスを使用して投入ジョブのジョブ番号、業務名、終了状態、終了コードが投入元マシンに通知されます。指定できる値は次の 3 種類です。   |   |    |              |         |               |        |
|                     | <table> <tr> <th>値</th><th>意味</th></tr> <tr> <td>JMSS_SEND_NO</td><td>通知しません。</td></tr> <tr> <td>JMSS_SEND_YES</td><td>通知します。</td></tr> </table>   | 値 | 意味 | JMSS_SEND_NO | 通知しません。 | JMSS_SEND_YES | 通知します。 |
| 値                   | 意味   |   |    |              |         |               |        |
| JMSS_SEND_NO        | 通知しません。  |   |    |              |         |               |        |
| JMSS_SEND_YES       | 通知します。   |   |    |              |         |               |        |
| caStdoutFile        | 標準出力内容をユーザの好きなファイル名で保存したい場合にファイル名を指定します。実行マシンのローカルファイル名か、"¥¥マシン名¥共有名"で指定してください。fWatchStdout に JMSS_STDOUT_SYSTEM_OVERWRITE または JMSS_STDOUT_SYSTEM_APPEND を指定した場合は Chr\$(0)を指定してください。標準出力内容保存ファイル名は最大 256 文字までで、Chr\$(0)で終了してなければなりません。 |   |    |              |         |               |        |

## JMSSJOBINFO

### Public type JMSSJOBINFO

|                           |               |                          |
|---------------------------|---------------|--------------------------|
| <i>dwSize</i>             | As Long       | ' このデータ型のサイズ(1264 を指定)   |
| <i>dwJobType</i>          | As Long       | ' ジョブの種類                 |
| <i>dwNetId</i>            | As Long       | ' ジョブボックス ID             |
| <i>dwNetRev</i>           | As Long       | ' ジョブネットファイル Revision    |
| <i>dwSecondaryId</i>      | As Long       | ' 派生ジョブ有無 ID             |
| <i>lJobNo</i>             | As Long       | ' ジョブ番号                  |
| <i>lRootJobNo</i>         | As Long       | ' ルートジョブジョブ番号            |
| <i>lParentJobNo</i>       | As Long       | ' 親ジョブ番号                 |
| <i>dwExitCode</i>         | As Long       | ' ジョブ終了コード               |
| <i>dwJobStatus</i>        | As Long       | ' ジョブ実行状態                |
| <i>dwPriority</i>         | As Long       | ' ジョブ優先順位                |
| <i>dwMinWorkingSet</i>    | As Long       | ' 最小ワーキングセットサイズ          |
| <i>dwMaxWorkingSet</i>    | As Long       | ' 最大ワーキングセットサイズ          |
| <i>dwUserCPUTime</i>      | As Long       | ' ユーザモードの CPU 使用時間(ミリ秒)  |
| <i>dwKernelCPUTime</i>    | As Long       | ' カーネルモードの CPU 使用時間(ミリ秒) |
| <i>dwTotalCPUTime</i>     | As Long       | ' 全モードの CPU 使用時間(ミリ秒)    |
| <i>dwUserCPUPercent</i>   | As Long       | ' ユーザモードの CPU 使用率(%)     |
| <i>dwKernelCPUPercent</i> | As Long       | ' カーネルモードの CPU 使用率(%)    |
| <i>tBgn</i>               | As Long       | ' ジョブ開始日付/時間             |
| <i>tEnd</i>               | As Long       | ' ジョブ終了日付/時間             |
| <i>dwRepeatInterval</i>   | As Long       | ' 繰り返し間隔                 |
| <i>dwRepeatMaxCount</i>   | As Long       | ' 繰り返し回数                 |
| <i>tEndTime</i>           | As Long       | ' 繰り返し実行終了時間             |
| <i>dwRepeatCount</i>      | As Long       | ' 繰り返し実行した回数             |
| <i>caEventID</i>          | As String*5   | ' イベント ID                |
| <i>caUserName</i>         | As String*41  | ' 投入元ユーザ名                |
| <i>caWsName</i>           | As String*16  | ' 投入元マシン名                |
| <i>caQueueName</i>        | As String*16  | ' 投入ジョブキュー名              |
| <i>caCompName</i>         | As String*16  | ' 実行先マシン名                |
| <i>caJobName</i>          | As String*33  | ' 業務名                    |
| <i>caJobPath</i>          | As String*257 | ' ジョブのファイル名              |
| <i>caJobParam</i>         | As String*257 | ' パラメータ                  |
| <i>caExecDir</i>          | As String*257 | ' 実行時ディレクトリ              |
| <i>caOutFileName</i>      | As String*257 | ' 標準出力ファイル名              |
| <i>dwMaxElapsTime</i>     | As Long       | ' 実行経過タイムアウト時間(分)        |
| <i>dwParentJntNo</i>      | As Long       | ' 継続実行元となったジョブネットのジョブ番号  |
| <i>dwBranch</i>           | As Long       | ' 将来拡張用                  |

### End Type

ジョブ情報データ定義型は、投入したジョブの各種情報を格納通知します。

## メンバ

dwSize  
dwJobType

## 説明

このデータ型のサイズ(1264)を指定します。

ジョブの種類が通知されます。

ジョブの種類は、10 種類のジョブ種別と 4 種類の補足情報との組み合わせにて行われます。

### 値

JMSS\_JOBTYPE\_BAT  
JMSS\_JOBTYPE\_EXE32  
JMSS\_JOBTYPE\_EXE16  
JMSS\_JOBTYPE\_EXEDOS  
JMSS\_JOBTYPE\_JNT  
JMSS\_JOBTYPE\_COM  
JMSS\_JOBTYPE\_CMD  
JMSS\_JOBTYPE\_PIF  
JMSS\_JOBTYPE\_OS2  
JMSS\_JOBTYPE\_POSIX

### 意味

バッチファイルです。  
32 ビットアプリケーションです。  
16 ビットアプリケーションです。  
DOS アプリケーションです。  
ジョブネットワークです。  
COM ファイルです。  
CMD ファイルです。  
PIF ファイルです(未サポート)。  
OS2 用アプリケーションです。  
POSIX アプリケーションです。

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT\_APEND  
JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT\_USERFILE

標準出力監視ファイルは追加モードです。  
標準出力監視ファイルはユーザ指定ファイルです。

JMSS\_JOBTYPE\_STDOUT  
JMSS\_JOBTYPE\_CONTINUE  
JMSS\_JOBTYPE\_REPEAT  
JMSS\_JOBTYPE\_SCHEDULE

標準出力監視をしています。  
継続実行しているジョブネットワークです。  
スケジュール繰り返し実行指定されています。  
スケジュール実行されています。

dwNetId  
dwNetRev  
dwSecondaryId

ジョブネットワークファイルにおけるジョブボックス ID が通知されます。  
ジョブネットワークファイルの作成リビジョンが通知されます。  
派生ジョブの有無 ID が通知されます。ID には次の 2 つがあります。

### 値

JMSS\_NOEXIST\_DERIVE\_JOB  
JMSS\_EXIST\_DERIVE\_JOB

### 意味

派生ジョブはありません。  
派生ジョブがあります。

lJobNo  
lRootJobNo  
lParentJobNo

ジョブ番号が通知されます。  
このジョブの一番最初の親ジョブのジョブ番号が通知されます。本メンバが 0 であった場合は、親ジョブを持っていません。  
このジョブの親ジョブのジョブ番号が通知されます。本メンバが 0 であった場合は、親ジョブを持っていません。

dwExitCode

ジョブの終了コードが通知されます。起動エラー、終了(強制終了含む)時のみ意味を持ちます(起動エラー、終了(強制終了含む)以外の場合には 0 が返却されます)。

dwJobStatus

ジョブの実行状態を通知します。次の 10 種類の値のいずれかになります。

### 値

JMSS\_JOBSTATUS\_RUN  
JMSS\_JOBSTATUS\_FINISH  
JMSS\_JOBSTATUS\_TERM  
JMSS\_JOBSTATUS\_ERROR  
JMSS\_JOBSTATUS\_EVENT\_REC  
JMSS\_JOBSTATUS\_PAUSE  
  
JMSS\_JOBSTATUS\_EVENT\_SEND  
JMSS\_JOBSTATUS\_WAIT

### 意味

このジョブは実行中です。  
このジョブは終了しています。  
このジョブは強制終了されています。  
このジョブは起動エラーとなっています。  
このジョブはイベント待ち状態です。  
このジョブは一時停止(ジョブキュー内での一時停止も含む)されています。  
  
このジョブはイベント送信を完了しています。  
このジョブは実行待ちとなっています。

|                    |  |   |
|--------------------|--|---|
|                    | JMSS_JOBSTATUS_PENDINGP  | このジョブは保留状態になっています。                          |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_EXECUTE   | このジョブは現在起動中です。                              |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_EXCLUSIVE   | このジョブは排他制御待ちです。                             |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_RETRY   | このジョブは起動リトライ中です。                            |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_CHILDJOBRETRY   | 派生ジョブが起動リトライ中です。                            |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_STOP  | ジョブは停止しています。                                |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_STOPPING  | ジョブは停止中です。                                  |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_JOBBOXRETRY   | ジョブボックスリトライ中です。                             |
|                    | JMSS_JOBSTATUS_UNKNOWN   | ジョブ状態は不明です(ジョブ実行中に JLook サービスが予期せぬ終了をしました)。 |
| dwPriority         | <b>ジョブの優先順位が通知されます。次の 4 種類の値のいずれかになります。</b><br><b>値</b> <span style="float:right"><b>意味</b></span> |   |
|                    | JMSS_PRIORITY_REAL   | 最高の優先順位でジョブを実行しています。                        |
|                    | JMSS_PRIORITY_HIGH   | 他のジョブより優先して実行しています。                         |
|                    | JMSS_PRIORITY_NORMAL   | システム標準の優先順位でジョブを実行しています。                    |
|                    | JMSS_PRIORITY_IDLE   | 最低の優先順位でジョブを実行しています。                        |
| dwMinWorkingSet    | 最小ワーキングセットサイズを通知します。   |   |
| dwMaxWorkingSet    | 最小ワーキングセットサイズを通知します。   |   |
| dwUserCPUTime      | ユーザモードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。  |   |
| dwKernelCPUTime    | カーネルモードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。   |   |
| dwTotalCPUTime     | 全モードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。  |   |
| dwUserCPUPercent   | ユーザモードの CPU 使用率を%で通知します。   |   |
| dwKernelCPUPercent | カーネルモードの CPU 使用率を%で通知します。  |   |
| tBgn               | ジョブ開始日付/時間を通知します。  |   |
| tEnd               | ジョブ終了日付/時間を通知します。  |   |
| dwRepeatInterval   | 繰り返し周期の時間間隔が秒単位で通知されます。繰り返し実行以外の場合は常に 0 です。  |   |
| dwRepeatMaxCount   | 繰り返し回数が通知されます。繰り返し回数指定で起動されたジョブ以外は常に 0 です。   |   |
| tEndTime           | 繰り返し実行における終了時間が通知されます。終了時間指定で繰り返し起動されたジョブ以外は常に 0 です。   |   |
| dwRepeatCount      | 繰り返して実行された回数が通知されます。本メンバは、ジョブ終了時にのみ設定され、他のジョブ状態の時には意味を持ちません。                                       |   |
| caEventID          | イベント ID が NULL で終わる文字列(最大 4 文字)として通知されます。  |   |
| caUserName         | 投入元のユーザ名が NULL で終わる文字列(最大 40 文字)として通知されます。   |   |
| caWsName           | 投入元のマシン名が NULL で終わる文字列(最大 15 文字)として通知されます。   |   |
| caQueueName        | 投入ジョブキュー名が NULL で終わる文字列(最大 15 文字)として通知されます。  |   |
| caCompName         | 実行先のマシン名が NULL で終わる文字列(最大 15 文字)として通知されます。   |   |
| caJobName          | 業務名が NULL で終わる文字列(最大 32 文字)として通知されます。  |   |
| caJobPath          | ジョブのファイル名が NULL で終わる文字列(最大 256 文字)としてフルパスで通知されます。  |   |
| caJobParam         | ジョブ投入時に指定したパラメータが NULL で終わる文字列(最大 256 文字)として通知されます。  |   |
| caExecDir          | ジョブの実行時ディレクトリが NULL で終わる文字列(最大 256 文字)として通知されます。   |   |

|                |   |
|----------------|---|
| caOutFileName  | 標準出力ファイル名が NULL で終わる文字列(最大 256 文字)としてフルパスで通知されます。 |
| caRfu          | 予約されています。   |
| dwMaxElapsTime | 実行経過時間タイムアウト時間が分単位で通知されます。未設定の場合は 0 が通知されます。      |
| dwParentJntNo  | 継続実行の元となったジョブネットのジョブ番号が通知されます。通常は 0 が通知されます。      |
| dwBranch       | 将来拡張用です。  |

## JMSSJOBQINFO

### Public type JMSSJOBQINFO

|                          |              |               |
|--------------------------|--------------|---------------|
| <i>dwSize</i>            | As Long      | ' このデータ型のサイズ  |
| <i>caQueueName</i>       | As String*16 | ' ジョブキュー名     |
| <i>dwJobQueCondition</i> | As Long      | ' ジョブキューの状態   |
| <i>dwMaxRunningJob</i>   | As Long      | ' 最大ジョブキュー多重度 |
| <i>dwCurRunningJob</i>   | As Long      | ' 現在実行中ジョブ数   |
| <i>dwMaxEntryJob</i>     | As Long      | ' 最大登録ジョブ数    |
| <i>dwCurrentEntryJob</i> | As Long      | ' 現在登録済みのジョブ数 |
| <i>dwEntryStatus</i>     | As Long      | ' 登録状況        |

### End Type

ジョブキュー情報データ定義型は、ジョブキューの各種情報を格納します。

### メンバ

|                          |   |
|--------------------------|---|
| <i>dwSize</i>            | このデータ型のサイズを指定します。                       |
| <i>caQueueName</i>       | 情報を取得するジョブキュー名を指定します。キュー名は最大 15 文字までです。 |
| <i>dwJobQueCondition</i> | ジョブキューの状態が通知されます。<br>次の値のいずれかになります。     |

#### 値

#### 意味

|                          |  |
|--------------------------|--|
| JMSS_JOBQUECOND_OPEN     | ジョブキューは開いています。                         |
| JMSS_JOBQUECOND_CLOSE    | ジョブキューは閉じています。                         |
| <i>dwMaxRunningJob</i>   | ジョブキューの多重度が通知されます。                     |
| <i>dwCurRunningJob</i>   | 現在実行中のジョブ数が通知されます。                     |
| <i>dwMaxEntryJob</i>     | ジョブキューの登録可能ジョブ数が通知されます。                |
| <i>dwCurrentEntryJob</i> | 現在登録されているジョブ数が通知されます。                  |
| <i>dwEntryStatus</i>     | ジョブキューへの登録状態が通知されます。<br>次の値のいずれかになります。 |

#### 値

#### 意味

|  |                        |
|--|------------------------|
| JMSS_JOBQUEENTSTS_NORMAL   | 登録可能ジョブ数の 90% 以下です。    |
| JMSS_JOBQUEENTSTS_WARNING  | 登録可能ジョブ数の 90% を超えています。 |
| JMSS_JOBQUEENTSTS_ERROR  | 登録可能ジョブ数に達しています。       |
| <i>dwEntrystatus</i> は、一旦 JMSS_JOBQUEENTSTS_WARNING または JMSS_JOBQUEENTSTS_ERROR となると、登録可能ジョブ数の 80% 未満になるまで値は変化せず、80% 未満になった時点で JMSS_JOBQUEENTSTS_NORMAL となります。 |                        |

# 第 6 章 COBOL85 用 API リファレンス

---

## 6.1 API 一覧

### ジョブ制御 API

|                                   |                                    |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| <code>_JmssThrowJob</code>        | 指定ジョブの投入を行います。                     |
| <code>_JmssWaitJobExit</code>     | 指定ジョブの終了待ちを行います。                   |
| <code>_JmssGetJobStatus</code>    | 指定のジョブ状態を取得します。                    |
| <code>_JmssControlJob</code>      | 指定ジョブの実行制御(強制終了、一時停止、再開)を行います。     |
| <code>_JmssGetChildJobList</code> | 指定条件で指定ジョブから派生したジョブのジョブ番号一覧を取得します。 |
| <code>_JmssCurrentJobNo</code>    | 自ジョブ番号を取得します。                      |

### イベント処理 API

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| <code>_JmssSendEvent</code>    | 指定 JMSS サーバの指定ジョブキューにイベントを送信します。         |
| <code>_JmssSendEventEx</code>  | 指定 JMSS サーバの指定ジョブキューにパラメータ付きでイベントを送信します。 |
| <code>_JmssReceiveEvent</code> | 指定イベントの受信待ち合わせを行います。                     |

### ジョブキュー参照 API

|                                   |                            |
|-----------------------------------|----------------------------|
| <code>_JmssDispQueueDialog</code> | ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。 |
| <code>_JmssGetJobQuere</code>     | 指定したジョブキューの情報を取得します。       |

### アラート通報 API

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <code>_JmssReportEvent</code> | ESMPRO マネージャ / ページャにアラートを通報します。<br>(JMSS/ジョブ運用管理上では使用できません) |
|-------------------------------|---|

### 集団項目

|                  |              |
|------------------|--------------|
| JMSSJOBTHROWINFO | ジョブ投入情報集団項目  |
| JMSSJOBINFO      | ジョブ情報集団項目    |
| JMSSJOBQINFO     | ジョブキュー情報集団項目 |

## 6.2 ジョブ制御 API

### `_JmssThrowJob`

\* 本バージョンでは使用されません

01 SERVERNAME PIC X(15) VALUE LOW-VALUE.

01 FILLER PIC X VALUE LOW-VALUE.

\* ジョブ投入情報集団項目

01 JMSSJOBTHROWINFO

\* 投入ジョブ番号(返却)

01 JOBNO USAGE IS COMP-2.

\*

77 RESULTCODE USAGE IS COMP-2.

CALL "\_JmssThrowJob" USING

BY REFERENCE SERVERNAME,

BY REFERENCE JMSSJOBTHROWINFO,

BY VALUE JOBNO

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

`_JmssThrowJob` は、ジョブ投入集団項目 `JMSSJOBTHROWINFO` で指定したジョブの投入を行います。

### パラメータ

### 説明

`SERVERNAME` 本バージョンでは使用されません。必ず `NULL-STRING` を指定してください。

`JMSSJOBTHROWINFO` ジョブ投入集団項目 `JMSSJOBTHROWINFO` を指定します。

`JOBNO` ジョブ投入が成功した場合に通知される投入ジョブ番号を指定します。

### RESULTCODE の値

処理が正常に終了した場合は、0 を設定します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを設定します。

`JMSS_PARAM_ERROR`

`JMSS_NOT_ENOUGH_MEMORY`

`JMSS_NO_CONNECT`

`JMSS_NOGET_SERVERNAME`

`JMSS_SECURITY_NO_USE`

`JMSS_SECURITY_NO_THROW`

`JMSS_QUEUE_NOTFOUND`

`JMSS_QUEUE_FULL`

`JMSS_QUEUE_CLOSED`

`JMSS_PARENTJOB_TERMINATE`

`JMSS_POWEROFF_TERMINATE`

`JMSS_EXCLUSIVE_ERROR`



## **`_JmssWaitJobExit`**

\* 本バージョンでは使用されません

|    |            |                            |
|----|------------|----------------------------|
| 01 | SERVERNAME | PIC X(15) VALUE LOW-VALUE. |
| 01 | FILLER     | PIC X VALUE LOW-VALUE.     |

\* ジョブ番号

|    |       |                  |
|----|-------|------------------|
| 01 | JOBNO | USAGE IS COMP-2. |
|----|-------|------------------|

\* 本バージョンでは使用されません

|    |             |  |
|----|-------------|--|
| 01 | JMSSJOBINFO |  |
|----|-------------|--|

\* タイムアウト時間

|    |         |                  |
|----|---------|------------------|
| 01 | TIMEOUT | USAGE IS COMP-2. |
|----|---------|------------------|

\*

|    |            |                  |
|----|------------|------------------|
| 77 | RESULTCODE | USAGE IS COMP-2. |
|----|------------|------------------|

CALL "`_JmssWaitJobExit`" USING

BY REFERENCE SERVERNAME,  
BY VALUE JOBNO,  
BY REFERENCE JMSSJOBINFO,  
BY VALUE TIMEOUT

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

`_JmssWaitJobExit` は、JOBNO で指定したジョブ番号のジョブが終了するまで待ち合わせを行います。すでに指定ジョブが終了している場合には、すぐに正常終了します。また、タイムアウト時間内にジョブが終了しなかった場合には、エラー終了します。

### **パラメータ**

### **説明**

|             |  |
|-------------|--|
| SERVERNAME  | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL-STRING を指定してください。  |
| JOBNO       | 待ち合わせを行うジョブのジョブ番号を指定します。   |
| JMSSJOBINFO | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL-POINTER を指定してください。   |
| TIMEOUT     | タイムアウト時間をミリ秒単位で指定します。<br>0 を指定した場合は、すぐタイムアウトエラーで終了します。<br>-1 を指定した場合は、ジョブが終了するまで無限に待ち続けます。 |

### **RESULTCODE の値**

処理が正常に終了した場合は、0 を設定します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを設定します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_TIMEOUT  
JMSS\_NO\_JOBNO

## **`_JmssGetJobStatus`**

\* 本バージョンでは使用されません

01 SERVERNAME PIC X(15) VALUE LOW-VALUE.

01 FILLER PIC X VALUE LOW-VALUE.

\* ジョブ番号

01 JOBNO USAGE IS COMP-2.

\* ジョブ情報集団項目

01 JMSSJOBINFO

\*

77 RESULTCODE USAGE IS COMP-2.

CALL "`_JmssGetJobStatus`" USING

BY REFERENCE SERVERNAME,

BY VALUE JOBNO,

BY REFERENCE JMSSJOBINFO

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

`_JmssGetJobStatus` は、JOBNO で指定したジョブ番号のジョブ状態を取得します。

### **パラメータ**

SERVERNAME

### **説明**

本バージョンでは使用されません。

必ず NULL-STRING を指定してください。

JOBNO

情報(状態)取得を行うジョブのジョブ番号を指定します。

JMSSJOBINFO

ジョブ情報集団項目 JMSSJOBINFO を指定します。

処理が正常に終了した場合は、このジョブ情報集団項目にジョブ情報(状態)が格納されます。

### **RESULTCODE の値**

処理が正常に終了した場合は、0 を設定します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを設定します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NO\_CONNECT

JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

JMSS\_SECURITY\_NO\_USE

JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP

JMSS\_NO\_JOB

JMSS\_NO\_JOBNO

## **\_JmssControlJob**

\* 本バージョンでは使用されません

01 SERVERNAME PIC X(15) VALUE LOW-VALUE.

01 FILLER PIC X VALUE LOW-VALUE.

\* 要求する制御の種類

01 CONTROLMODE USAGE IS COMP-2.

\* ジョブ番号

01 JOBNO USAGE IS COMP-2.

\*

77 RESULTCODE USAGE IS COMP-2.

CALL "\_JmssControlJob" USING

BY REFERENCE SERVERNAME,

BY VALUE CONTROLMODE,

BY VALUE JOBNO

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

\_JmssControlJob は、JOBNO で指定したジョブ番号のジョブに対して、CONTROLMODE で指定された制御操作を行います。

### **パラメータ**

SERVERNAME  
CONTROLMODE

### **説明**

本バージョンでは使用されません。必ず NULL-STRING を指定してください。  
要求する制御の種類を指定します。

このパラメータには、次の値のいずれかを指定します。

| 値 | 意味   |
|---|--|
| 0 | 強制終了要求を行います。<br>対象ジョブが実行中であれば強制終了され、実行待ちであればジョブキューから(登録)削除されます。      |
| 1 | 実行中のジョブネットワークの一時停止要求を行います。<br>本要求は実行中のジョブネットワークジョブに対してのみ有効に働きます。     |
| 2 | 一時停止中のジョブネットワークの再開要求を行います。<br>本要求は一時停止中のジョブネットワークジョブに対してのみ有効に働きます。   |
| 4 | ジョブの保留要求を行います。<br>本要求は実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。        |
| 5 | ジョブの保留解除要求を尾端舞います。<br>本要求は保留ジョブに対してのみ有効に働きます。                        |
| 6 | ジョブの登録削除要求を行います。<br>本要求は保留 / 実行待ち / 排他待ち / 起動リトライ中のジョブに対してのみ有効に働きます。 |
| 7 | ジョブの停止要求を行います。<br>本要求は実行中のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。          |

8 ジョブの継続要求を行います。

本要求は停止 / 強制終了 / 不明のジョブネットワーク / 繰り返しジョブに対してのみ有効に働きます。

JOBNO

実行制御を行うジョブのジョブ番号を指定します。

## RESULTCODE の値

処理が正常に終了した場合は、0 を設定します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを設定します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_JOB  
JMSS\_NO\_TERMINATE  
JMSS\_NO\_PAUSE  
JMSS\_NO\_RESTART  
JMSS\_NOT\_JOBNET  
JMSS\_NO\_HOLD  
JMSS\_NO\_RELEASE  
JMSS\_NO\_DELETE  
JMSS\_NO\_STOP  
JMSS\_NO\_CONTINUE  
JMSS\_NO\_JOBNO

## **`_JmssGetChildJobList`**

\* 本バージョンでは使用されません

|    |            |                            |
|----|------------|----------------------------|
| 01 | SERVERNAME | PIC X(15) VALUE LOW-VALUE. |
| 01 | FILLER     | PIC X VALUE LOW-VALUE.     |

\* ジョブ番号

|    |       |                  |
|----|-------|------------------|
| 01 | JOBNO | USAGE IS COMP-2. |
|----|-------|------------------|

\* 問い合わせジョブ状態条件

|    |                |                  |
|----|----------------|------------------|
| 01 | QUERYJOBSTATUS | USAGE IS COMP-2. |
|----|----------------|------------------|

\* 格納配列最大数/格納数

|    |          |                  |
|----|----------|------------------|
| 01 | JOBCOUNT | USAGE IS COMP-2. |
|----|----------|------------------|

\* 派生ジョブ番号格納配列へのポインタ

|    |             |                   |
|----|-------------|-------------------|
| 01 | JOBINFOLIST | USAGE IS POINTER. |
|----|-------------|-------------------|

\*

|    |            |                  |
|----|------------|------------------|
| 77 | RESULTCODE | USAGE IS COMP-2. |
|----|------------|------------------|

CALL `"_JmssGetChildJobList"` USING

BY REFERENCE SERVERNAME,  
BY VALUE JOBNO,  
BY VALUE QUERYJOBSTATUS,  
BY REFERENCE JOBCOUNT,  
BY VALUE JOBINFOLIST

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

`_JmssGetChildJobList` は、JOBNO で指定したジョブ番号のジョブから派生したジョブのうち、問い合わせ条件(ジョブ状態)に一致するジョブのジョブ番号一覧を取得します。

### **パラメータ**

### **説明**

SERVERNAME

本バージョンでは使用されません。必ず NULL-STRING を指定してください。

JOBNO

派生ジョブを問い合わせる親ジョブ番号を指定します。

QUERYJOBSTATUS

取得したい派生ジョブのジョブ状態条件を指定します。

このパラメータには、次に示す値のいずれかを指定してください。

#### **値 意味**

1 実行終了した派生ジョブを対象とします。

16 実行中の派生ジョブを対象とします。

256 実行終了した派生ジョブ、および実行中の派生ジョブを対象とします。

17 実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。

257 実行終了した派生ジョブ、および実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。

272 実行中の派生ジョブ、および実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。

273 すべての状態の派生ジョブを対象とします。

|               |  |
|---------------|--|
| JOB COUNT     | 格納できる配列の最大数を指定します。<br>処理が正常に終了した場合は格納した数が、指定した最大数で足りない場合は必要数が設定されます。                       |
| JOB INFO LIST | 派生ジョブのジョブ番号を格納する配列へのポインタを指定します。<br>本パラメータが NULL-POINTER の場合は、JOB COUNT パラメータに必要数が設定返却されます。 |

## RESULTCODE の値

処理が正常に終了した場合は、0 を設定します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを設定します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
 JMSS\_NO\_CONNECT  
 JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
 JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
 JMSS\_SECURITY\_NO\_STOP  
 JMSS\_NO\_JOB  
 JMSS\_NO\_ENOUGH\_BUF  
 JMSS\_NO\_JOBNO

## **\_JmssCurrentJobNo**

### **\* JMSS サーバ名**

01 SERVERNAME PIC X(15) VALUE LOW-VALUE.

01 FILLER PIC X VALUE LOW-VALUE.

### **\* 自ジョブ番号**

01 JOBNO USAGE IS COMP-2.

\*

77 RESULTCODE USAGE IS COMP-2.

CALL "\_JmssCurrentJobNo" USING

BY REFERENCE SERVERNAME,

BY REFERENCE JOBNO

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

\_JmssCurrentJobNo は、自ジョブのジョブ番号と自ジョブを監視している JMSS サーバ名を取得します。

### **パラメータ**

SERVERNAME

### **説明**

自ジョブを監視している JMSS サーバ名が通知されます。JMSS サーバ名の設定が必要でない場合には、NULL-POINTER を指定してください。

JOBNO

自ジョブのジョブ番号が通知されます。監視されていない時は 0 が設定されます。ジョブ番号の設定が必要でない場合には、NULL-POINTER を指定してください。

### **RESULTCODE の値**

処理が正常に終了した場合は、0 を設定します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを設定します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

JMSS\_NOWATCH

## 6.3 イベント処理 API

### \_JmssSendEvent

\* 送信先 JMSS サーバ名指定ポインタ

|    |            |                        |
|----|------------|------------------------|
| 01 | SERVERNAME | PIC X(15).             |
| 01 | FILLER     | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

\* 送信先ジョブキュー名指定ポインタ

|    |           |                        |
|----|-----------|------------------------|
| 01 | QUEUENAME | PIC X(15).             |
| 01 | FILLER    | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

\* 送信イベント ID

|    |         |                        |
|----|---------|------------------------|
| 01 | EVENTID | PIC X(4).              |
| 01 | FILLER  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

\* 送信メッセージポインタ

|    |          |                        |
|----|----------|------------------------|
| 01 | EVENTMSG | PIC X(128).            |
| 01 | FILLER   | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

\*

|    |            |                  |
|----|------------|------------------|
| 77 | RESULTCODE | USAGE IS COMP-2. |
|----|------------|------------------|

CALL "\_JmssSendEvent" USING

BY REFERENCE SERVERNAME,  
BY REFERENCE QUEUENAME,  
BY REFERENCE EVENTID,  
BY REFERENCE EVENTMSG

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

\_JmssSendEvent は、指定 JMSS サーバの指定ジョブキューに指定のイベント ID とメッセージを送信します。



## パラメータ

## 説明

SERVERNAME

送信先の JMSS サーバ名を指定します。

送信先の JMSS サーバ名の最後は、"00"で終了していなければなりません。  
本パラメータに NULL-STRING を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。

QUEUENAME

送信先ジョブキュー名を指定します。

ジョブキュー名の最後は、"00"で終了していなければなりません。

本パラメータに NULL-STRING を指定した場合は、全ジョブキューに対してブロードキャストされます。

EVENTID

4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)を指定します。

イベント ID 文字列の最後は、"00"で終了していなければなりません。

EVENTMSG

128 文字(バイト)以内の送信メッセージ文字列を指定します。

送信メッセージ文字列の最後は、"00"で終了していなければなりません。

本パラメータを使用しない場合は、NULL-STRING を指定してください。

## RESULTCODE の値

処理が正常に終了した場合は、0 を設定します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを設定します。

JMSS\_PARAM\_ERROR

JMSS\_NO\_CONNECT

JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

## **\_JmssSendEventEx**

### **\* 送信先 JMSS サーバ名指定ポインタ**

|               |                        |
|---------------|------------------------|
| 01 SERVERNAME | PIC X(15).             |
| 01 FILLER     | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

### **\* 送信先ジョブキュー名指定ポインタ**

|               |                        |
|---------------|------------------------|
| 01 QUEUEENAME | PIC X(15).             |
| 01 FILLER     | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

### **\* 送信イベント ID**

|            |                        |
|------------|------------------------|
| 01 EVENTID | PIC X(4).              |
| 01 FILLER  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

### **\* 送信メッセージポインタ**

|             |                        |
|-------------|------------------------|
| 01 EVENTMSG | PIC X(128).            |
| 01 FILLER   | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

### **\* 送信パラメータポインタ**

|               |                        |
|---------------|------------------------|
| 01 EVENTPARAM | PIC X(1024).           |
| 01 FILLER     | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

\*

|               |                  |
|---------------|------------------|
| 77 RESULTCODE | USAGE IS COMP-2. |
|---------------|------------------|

CALL "\_JmssSendEventEx" USING

BY REFERENCE SERVERNAME,  
BY REFERENCE QUEUEENAME,  
BY REFERENCE EVENTID,  
BY REFERENCE EVENTMSG,  
BY REFERENCE EVENTPARAM

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

\_JmssSendEventEx 関数は、指定 JMSS サーバの指定ジョブキューに指定のイベント ID、メッセージをパラメータ付きで送信します。

## **パラメータ**

SERVERNAME

## **説明**

送信先の JMSS サーバ名を指定します。

送信先の JMSS サーバ名の最後は、"00"で終了していなければなりません。  
本パラメータに NULL-STRING を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。

QUEUEENAME

送信先ジョブキュー名を指定します。

ジョブキュー名の最後は、"00"で終了していなければなりません。  
本パラメータに NULL-STRING を指定した場合は、全ジョブキューに対してブロードキャストされます。

| パラメータ      | 説明   |
|------------|--|
| EVENTID    | 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)を指定します。<br>イベント ID 文字列の最後は、"00"で終了していなければなりません。   |
| EVENTMSG   | 128 文字(バイト)以内の送信メッセージ文字列を指定します。<br>送信メッセージ文字列の最後は、"00"で終了していなければなりません。<br>本パラメータを使用しない場合は、NULL-STRING を指定してください。                           |
| EVENTPARAM | 1024 文字(バイト)以内で送信パラメータを指定します。<br>パラメータと値は NULL で区切ってください。<br>送信パラメータ文字列の最後は、"00"で終了していなければなりません。<br>本パラメータを使用しない場合は、NULL-STRING を指定してください。 |

## RESULTCODE の値

処理が正常に終了した場合は、0 を設定します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを設定します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
 JMSS\_NO\_CONNECT  
 JMSS\_NOGET\_SERVERNAME

## **\_JmssReceiveEvent**

```
* 受信イベント ID
01  EVENTID                      PIC X(4).
01  FILLER                      PIC X VALUE LOW-VALUE.
* 送信元 JMSS サーバ名格納ポインタ
01  SERVERNAME                  PIC X(15).
01  FILLER                      PIC X VALUE LOW-VALUE.
* 送信元マシン名格納ポインタ
01  MACHINENAME                 PIC X(15).
01  FILLER                      PIC X VALUE LOW-VALUE.
* 送信元ユーザ名格納ポインタ
01  USERNAME                    PIC X(40).
01  FILLER                      PIC X VALUE LOW-VALUE.
* 受信メッセージポインタ
01  EVENTMSG                    PIC X(128).
01  FILLER                      PIC X VALUE LOW-VALUE.
* 受信イベント ID
01  RECEIVEID                   PIC X(4).
01  FILLER                      PIC X VALUE LOW-VALUE.
* タイムアウト時間
01  TIMEOUT                     USAGE IS COMP-2.
*
77  RESULTCODE                  USAGE IS COMP-2.
```

```
CALL  "_JmssReceiveEvent" USING
                                     BY REFERENCE EVENTID,
                                     BY REFERENCE SERVERNAME,
                                     BY REFERENCE MACHINENAME,
                                     BY REFERENCE USERNAME,
                                     BY REFERENCE EVENTMSG,
                                     BY REFERENCE RECEIVEID,
                                     BY VALUE TIMEOUT
                                     WITH RETURNING TO RESULTCODE.
```

\_JmssReceiveEvent は、指定したイベント ID を指定タイムアウト時間まで受信待ちします。

| パラメータ       | 説明  |
|-------------|---|
| EVENTID     | 受信待ちする 4 文字以内のイベント ID 文字列(英数字のみ)を指定します。<br>イベント ID 文字列の最後は、"00"で終了していなければなりません。<br>"*"が指定された場合は、どんなイベント ID でも受信します。 |
| SERVERNAME  | 受信したイベント ID を送信した送信元の JMSS サーバ名が通知されます。<br>本パラメータに NULL-POINTER を指定した場合は、本通知は行われません。                                |
| MACHINENAME | 受信したイベント ID を送信した送信元のマシン名が通知されます。<br>本パラメータに NULL-POINTER を指定した場合は、本通知は行われません。                                      |
| USERNAME    | 受信したイベント ID を送信したユーザ名が通知されます。<br>本パラメータに NULL-POINTER を指定した場合は、本通知は行われません。  |
| EVENTMSG    | 受信した 128 文字(バイト)以内の送信メッセージが格納されます。<br>本パラメータに NULL-POINTER を指定した場合は、本通知は行われません。                                     |
| RECEIVEID   | 受信したイベント ID が格納されます。<br>本パラメータに NULL-POINTER を指定した場合は、本通知は行われません。   |
| TIMEOUT     | タイムアウト時間を秒単位で指定します。<br>0 を指定した場合は、すぐタイムアウトエラーで終了します。<br>-1 を指定した場合は、ジョブが終了するまで無限に待ち続けます。                            |

## RESULTCODE の値

処理が正常に終了した場合は、0 を設定します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを設定します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_TIMEOUT

## 注意

使用するマシンが稼働マシンで、かつ JLook サービスが起動している時にのみ使用可能です。  
監視している同一ジョブ内で同時に複数のイベント待ちを行った場合、JLook の画面上に表示される待ちイベント ID は最後にイベント待ち API を呼び出した時のイベント ID が表示されることになります。

## 6.4 ジョブキュー参照 API

### `_JmssDispQueueDialog`

\* 本バージョンでは使用されません

|    |            |                            |
|----|------------|----------------------------|
| 01 | SERVERNAME | PIC X(15) VALUE LOW-VALUE. |
| 01 | FILLER     | PIC X VALUE LOW-VALUE.     |

\* 表示する親ウィンドウハンドル

|    |          |                  |
|----|----------|------------------|
| 01 | OWNERWND | USAGE IS COMP-2. |
|----|----------|------------------|

\* 初期選択ジョブキュー名

|    |           |                        |
|----|-----------|------------------------|
| 01 | QUEUENAME | PIC X(15).             |
| 01 | FILLER    | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

\* エラーメッセージ表示時のタイトル

|    |              |                        |
|----|--------------|------------------------|
| 01 | MESSAGETITLE | PIC X(64).             |
| 01 | FILLER       | PIC X VALUE LOW-VALUE. |

\*

|    |            |                  |
|----|------------|------------------|
| 77 | RESULTCODE | USAGE IS COMP-2. |
|----|------------|------------------|

CALL `"_JmssDispQueueDialog"` USING

BY REFERENCE SERVERNAME,  
BY VALUE OWNERWND,  
BY REFERENCE QUEUENAME,  
BY REFERENCE MESSAGETITLE

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

`_JmssDispQueueDialog` は、ジョブキュー名の一覧ダイアログボックスを表示します。

#### パラメータ

#### 説明

|              |  |
|--------------|--|
| SERVERNAME   | 本バージョンでは使用されません。必ず NULL-STRING を指定してください。  |
| OWNERWND     | 表示するダイアログボックスの親ウィンドウハンドルを指定します(ない場合は 0 を指定してください)。   |
| QUEUENAME    | 初期選択させたいジョブキュー名を指定します。<br>ジョブキュー名の最後は、"00"で終了していなければなりません。<br>ダイアログボックスでジョブキュー名が選択された場合には、選択ジョブキュー名が本パラメータに設定されます。 |
| MESSAGETITLE | エラーメッセージ表示時に表示させるタイトルを指定します。<br>タイトル文字列の最後は、"00"で終了していなければなりません。<br>本パラメータに NULL-STRING を指定した場合は、エラーメッセージを表示しません。  |

## RESULTCODE の値

ユーザがジョブキュー名一覧より任意のジョブキュー名を選択した場合([OK]ボタン選択)は、0を設定します。エラーが発生した場合や、ユーザーが[キャンセル]ボタンを選択した場合、ダイアログボックスを閉じた場合などは、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを設定します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_NOGET\_SERVERNAME  
JMSS\_SECURITY\_NO\_USE  
JMSS\_CANCEL

## **\_JmssGetJobQueue**

### **\* JMSS サーバ名**

|               |                            |
|---------------|----------------------------|
| 01 SERVERNAME | PIC X(15) VALUE LOW-VALUE. |
| 01 FILLER     | PIC X VALUE LOW-VALUE.     |

### **\* ジョブ番号**

|              |                            |
|--------------|----------------------------|
| 01 QUEUENAME | PIC X(15) VALUE LOW-VALUE. |
| 01 FILLER    | PIC X VALUE LOW-VALUE.     |

### **\* ジョブキュー情報集団項目**

|                 |  |
|-----------------|--|
| 01 JMSSJOBQINFO |  |
|-----------------|--|

\*

|               |                  |
|---------------|------------------|
| 77 RESULTCODE | USAGE IS COMP-2. |
|---------------|------------------|

CALL "\_JmssGetJobQueue " USING

BY REFERENCE SERVERNAME,  
BY REFERENCE QUEUENAME,  
BY REFERENCE JMSSJOBQINFO

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

\_JmssGetJobQueue 関数は、QUEUENAME で指定したジョブキューの情報を取得します。

この関数を実行するユーザには、JMSS の「セキュリティ設定権」が必要です。

## **パラメータ**

## **説明**

|              |   |
|--------------|---|
| SERVERNAME   | JMSS サーバ名を指定します。<br>JMSS サーバ名の最後は、"00"で終了していなければなりません。<br>本パラメータに NULL-STRING を指定した場合は、デフォルトの JMSS サーバ名が使用されます。 |
| QUEUENAME    | 情報取得を行うジョブキュー名を指定します。<br>ジョブキュー名の最後は、"00"で終了していなければなりません。   |
| JMSSJOBQINFO | ジョブキュー情報集団項目を指定します。<br>処理が正常に終了した場合は、このジョブキュー情報集団項目にジョブキュー情報が格納されます。  |

## **RESULTCODE の値**

関数が正常に終了した場合は、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値、またはシステムからのエラーコードを返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NO\_CONNECT  
JMSS\_SECURITY\_NO\_CONTROL  
JMSS\_QUEUE\_NOTFOUND



## 6.5 アラート通報 API

## JmssReportEvent

\* アラートの通知先

## 01 ALERTMODE

USAGE IS COMP-2.

\* アラートのタイプ

## 01 ALERTTYPE

USAGE IS COMP-2.

\* 出力するメッセージ

01 ALERTMESSAGE

PIC X(63).

01 FILLER

PIC X VALUE LOW-VALUE.

✻

77 RESULTCODE

USAGE IS COMP-2.

CALL " JmssReportEvent " USING

BY VALUE ALERTMODE.

BY VALUE ALERTTYPE.

BY REFERENCE ALERTMESSAGE

WITH RETURNING TO RESULTCODE.

JmssReportEvent 関数は、ESMPRO マネージャ / ページにアラート通報します。

## パラメータ

## 説明

ALERTMODE

アラートの通知先を以下の値の組み合わせで指定します。

|  |    |
|--|----|
|  | 意味 |
|--|----|

JMSS JALT MODE MANAGER ESMPRO マネージャに通報します。

JMSS JALT MODE PAGER ESMPRO ページに通報します。

ALERTTYPE

通報するアラートの種別を以下の値から指定します。

|   |    |
|---|----|
|   | 意味 |
| 値 |    |

JMSS JALT TYPE INFORMATION 情報レベルで通報します。

(アラートビューアでは緑色のマーク)

JMSS JALT TYPE WARNING 警告レベルで通報します。

(アラートビューアでは黄色のマーク)

JMSS JALT TYPE ERROR エラーレベルで通報します。

(アラートビューアでは赤色のマーク)

ALERTMESSAGE

アラート通報するメッセージを指定します。

メッセージの最後は、"00"で終了していなければなりません。

## RESULTCODE の値

正常にアラート通報(イベントログに出力)できた場合、0 を返します。エラーが発生した場合は、次のいずれかの値を返します。

JMSS\_PARAM\_ERROR  
JMSS\_NOGET\_PRODUCT\_ID  
JMSS\_NOT\_REPORT\_EVENT  
JMSS\_NOT\_INSTALLED

## 注意

本 API は ESMPRO/JMSS システム上でのみ使用可能です(JMSS/ジョブ運用管理システム上では使用できません)。

## 6.6 集団項目

### JMSSJOBTHROWINFO

|                         |                             |
|-------------------------|-----------------------------|
| 01 JMSSJOBTHROWINFO     |                             |
| 02 JT-SIZE              | USAGE IS COMP-2 VALUE 1120. |
| * ジョブ優先順位               |                             |
| 02 JT-PRIORITY          | USAGE IS COMP-2.            |
| * 標準出力の監視有無             |                             |
| 02 JT-WATCHSTDOUT       | USAGE IS COMP-2.            |
| * 常に 0                  |                             |
| 02 JT-STDIN             | USAGE IS COMP-2.            |
| * 常に 0                  |                             |
| 02 JT-STDOUT            | USAGE IS COMP-2.            |
| * 常に 0                  |                             |
| 02 JT-STDERR            | USAGE IS COMP-2.            |
| * 投入先キュー名               |                             |
| 02 JT-QUEUENAME         | PIC X(15).                  |
| 02 FILLER               | PIC X VALUE LOW-VALUE.      |
| * ジョブの業務名               |                             |
| 02 JT-JOBNAME           | PIC X(32).                  |
| 02 FILLER               | PIC X VALUE LOW-VALUE.      |
| * ジョブのファイル名             |                             |
| 02 JT-JOBPATH           | PIC X(256).                 |
| 02 FILLER               | PIC X VALUE LOW-VALUE.      |
| * ジョブのパラメータ             |                             |
| 02 JT-JOBPARAM          | PIC X(256).                 |
| 02 FILLER               | PIC X VALUE LOW-VALUE.      |
| * 実行時ディレクトリ             |                             |
| 02 JT-EXECDIR           | PIC X(256).                 |
| 02 FILLER               | PIC X VALUE LOW-VALUE.      |
| * 常に 0                  |                             |
| 02 JT-REPEATLASTCOUNT   | USAGE IS COMP-2.            |
| * 実行経過時間タイムアウト          |                             |
| 02 JT-MAXELAPSETIME     | USAGE IS COMP-2.            |
| * 常に 0                  |                             |
| 02 JT-MAXWORKINGSETSIZE | USAGE IS COMP-2.            |
| * ジョブ終了通知               |                             |
| 02 JT-TERMREPORT        | USAGE IS COMP-2.            |
| * 標準出力内容保存ファイル          |                             |
| 02 JT-STDOUTFILE        | PIC X(256).                 |
| 02 FILLER               | PIC X VALUE LOW-VALUE.      |

ジョブ投入情報集団項目は、投入するジョブの情報を格納します。

## 項目

## 説明

JT-SIZE

この集団項目のサイズです。

JT-PRIORITY

ジョブの優先順位を指定します。指定できる値は次のとおりです。

### 値

### 意味

JMSS\_PRIORITY\_REAL

最高の優先順位でジョブを実行します。オペレーティングシステムを含む他のプロセスよりも優先して実行されますので、処理時間の長いジョブでは、ストールしたような状態になることがあります。一般のジョブでの使用は避けて運用してください。

JMSS\_PRIORITY\_HIGH

他のジョブより優先して速やかに実行します。CPUを多く使用するジョブでは、アプリケーションを含む他のジョブが全く動作しなくなる場合がありますので、使用には細心の注意が必要です。

JMSS\_PRIORITY\_NORMAL

システム標準の優先順位でジョブを実行します。通常はこの順位で実行してください。

JMSS\_PRIORITY\_IDLE

システムがアイドル状態の時だけジョブを実行します(スクリーンセーバーと同じと考えてください)。

JT-WATCHSTDOUT

標準出力の監視有無を指定します。

### 値

### 意味

JMSS\_STDOUT\_NOWATCH

標準出力の監視をしません。

JMSS\_STDOUT\_SYSTEM\_OVERWRITE

標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはシステム標準のファイルに上書きされます。

JMSS\_STDOUT\_SYSTEM\_APPEND

標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはシステム標準のファイルに追加されます。

JMSS\_STDOUT\_USER\_OVERWRITE

標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはユーザ指定ファイル(caStdoutFileで指定したファイル名)に上書きされます。

JMSS\_STDOUT\_USER\_APPEND

標準出力の監視を行います。標準出力内容保存ファイルはユーザ指定ファイル(caStdout-Fileで指定したファイル名)に追加されます。

JT-STDIN

本バージョンでは使用されません。常に0でなければなりません。

JT-STDOUT

本バージョンでは使用されません。常に0でなければなりません。

JT-STDERR

本バージョンでは使用されません。常に0でなければなりません。

JT-QUEUENAME

投入先キュー名を指定します。キュー名は最大15文字。文字列の最後は"00"で終了していなければなりません。

| JT-JOBNAME         | ジョブの業務名を指定します。業務名は最大 32 文字。文字列の最後は"00"で終了していなければなりません。  |   |    |              |         |               |        |
|--------------------|---|---|----|--------------|---------|---------------|--------|
| JT-JOBPATH         | ジョブのファイル名をフルパスで指定します。最大 256 文字。文字列の最後は"00"で終了していなければなりません。  |   |    |              |         |               |        |
| JT-JOBPARAM        | ジョブのパラメータを指定します。最大 256 文字。文字列の最後は"00"で終了していなければなりません。   |   |    |              |         |               |        |
| JT-EXECDIR         | ジョブの実行時ディレクトリを指定します。最大 256 文字。文字列の最後は"00"で終了していなければなりません。   |   |    |              |         |               |        |
| JT-REPEATLASTCOUNT | 将来のために予約されています。必ず 0 を指定してください。  |   |    |              |         |               |        |
| JT-MAXELAPSETIM    | 投入したジョブの実行時間を制限したい場合に分単位で指定します。指定できる時間は 0 分～1000 時間 59 分です。指定した時間が経過してもジョブが終了しなかった場合には強制終了し、終了コードは FFFFFFFB になります。  |   |    |              |         |               |        |
| JT-TERMREPORT      | ジョブの終了を投入元マシンに通知するかどうかを指定します。「通知する」を指定すると、投入ジョブの終了時に Messenger サービスを使用して投入ジョブのジョブ番号、業務名、終了状態、終了コードが投入元マシンに通知されます。指定できる値は次のとおりです。  |   |    |              |         |               |        |
|                    | <table> <tr> <th>値</th><th>意味</th></tr> <tr> <td>JMSS_SEND_NO</td><td>通知しません。</td></tr> <tr> <td>JMSS_SEND_YES</td><td>通知します。</td></tr> </table>  | 値 | 意味 | JMSS_SEND_NO | 通知しません。 | JMSS_SEND_YES | 通知します。 |
| 値                  | 意味  |   |    |              |         |               |        |
| JMSS_SEND_NO       | 通知しません。   |   |    |              |         |               |        |
| JMSS_SEND_YES      | 通知します。  |   |    |              |         |               |        |
| JT-STDOUTFILE      | 標準出力内容をユーザの好きなファイル名で保存したい場合にファイル名を指定します。実行マシンのローカルファイル名か、"¥マシン名¥共有名"で指定してください。JT-WATCHSTDOUT に JMSS_STDOUT_SYSTEM_OVERWRITE または JMSS_STDOUT-_SYSTEM_APEND を指定した場合は"00"を指定してください。標準出力内容保存ファイル名は最大 256 文字までで、"00"で終了していなければなりません。 |   |    |              |         |               |        |

## JMSSJOBINFO

|                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| 01 JMSSJOBINFO           |                             |
| 02 JI-SIZE               | USAGE IS COMP-2 VALUE 1264. |
| * ジョブの種類                 |                             |
| 02 JI-JOBTYPE            | USAGE IS COMP-2.            |
| * ジョブボックス ID             |                             |
| 02 JI-NETID              | USAGE IS COMP-2.            |
| * ジョブネットファイル Revision    |                             |
| 02 JI-NETREV             | USAGE IS COMP-2.            |
| * 派生ジョブ有無 ID             |                             |
| 02 JI-SECONDARYID        | USAGE IS COMP-2.            |
| * ジョブ番号                  |                             |
| 02 JI-JOBNO              | USAGE IS COMP-2.            |
| * ルートジョブジョブ番号            |                             |
| 02 JI-ROOTJOBNO          | USAGE IS COMP-2.            |
| * 親ジョブ番号                 |                             |
| 02 JI-PARENTJOBNO        | USAGE IS COMP-2.            |
| * ジョブ終了コード               |                             |
| 02 JI-EXITCODE           | USAGE IS COMP-2.            |
| * ジョブ実行状態                |                             |
| 02 JI-JOBSTATUS          | USAGE IS COMP-2.            |
| * ジョブ優先順位                |                             |
| 02 JI-PRIORITY           | USAGE IS COMP-2.            |
| * 最小ワーキングセットサイズ          |                             |
| 02 JI-MINWORKINGSET      | USAGE IS COMP-2.            |
| * 最大ワーキングセットサイズ          |                             |
| 02 JI-MAXWORKINGSET      | USAGE IS COMP-2.            |
| * ユーザモードの CPU 使用時間(ミリ秒)  |                             |
| 02 JI-USERCPUTIME        | USAGE IS COMP-2.            |
| * カーネルモードの CPU 使用時間(ミリ秒) |                             |
| 02 JI-KERNELCPUTIME      | USAGE IS COMP-2.            |
| * 全モードの CPU 使用時間(ミリ秒)    |                             |
| 02 JI-TOTALCPUTIME       | USAGE IS COMP-2.            |
| * ユーザモードの CPU 使用率(%)     |                             |
| 02 JI-USERCPUPERCENT     | USAGE IS COMP-2.            |
| * カーネルモードの CPU 使用率(%)    |                             |
| 02 JI-KERNELCPUPERCENT   | USAGE IS COMP-2.            |
| * ジョブ開始日付/時間             |                             |
| 02 JI-BEGINTIME          | USAGE IS COMP-2.            |
| * ジョブ終了日付/時間             |                             |
| 02 JI-ENDTIME            | USAGE IS COMP-2.            |
| * 繰り返し間隔                 |                             |
| 02 JI-REPEATINTERVAL     | USAGE IS COMP-2.            |

|                          |  |                        |
|--------------------------|--|------------------------|
| * 繰り返し回数                 |  |                        |
| 02 JI-REPEATMAXCOUNT     |  | USAGE IS COMP-2.       |
| * 繰り返し実行終了時間             |  |                        |
| 02 JI-ENDREPEATTIME      |  | USAGE IS COMP-2.       |
| * 繰り返し実行した回数             |  |                        |
| 02 JI-REPEATCOUNT        |  | USAGE IS COMP-2.       |
| * イベント ID                |  |                        |
| 02 JI-EVENTID            |  | PIC X(4).              |
| 02 FILLER                |  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |
| * 投入元ユーザ名                |  |                        |
| 02 JI-USERNAME           |  | PIC X(40).             |
| 02 FILLER                |  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |
| * 投入元マシン名                |  |                        |
| 02 JI-WSNAME             |  | PIC X(15).             |
| 02 FILLER                |  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |
| * 投入ジョブキュー名              |  |                        |
| 02 JI-QUEUENAME          |  | PIC X(15).             |
| 02 FILLER                |  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |
| * 実行先マシン名                |  |                        |
| 02 JI-COMPUTERNAME       |  | PIC X(15).             |
| 02 FILLER                |  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |
| * 業務名                    |  |                        |
| 02 JI-JOBNAME            |  | PIC X(32).             |
| 02 FILLER                |  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |
| * ジョブのファイル名              |  |                        |
| 02 JI-JOBPATH            |  | PIC X(256).            |
| 02 FILLER                |  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |
| * パラメータ                  |  |                        |
| 02 JI-JOBPARAM           |  | PIC X(256).            |
| 02 FILLER                |  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |
| * 実行時ディレクトリ              |  |                        |
| 02 JI-EXECDIR            |  | PIC X(256).            |
| 02 FILLER                |  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |
| * 標準出力ファイル名              |  |                        |
| 02 JI-OUTFILENAME        |  | PIC X(256).            |
| 02 FILLER                |  | PIC X VALUE LOW-VALUE. |
| * FILLER                 |  |                        |
| 02 FILLER                |  | PIC X(1).              |
| * 実行経過時間タイムアウト           |  |                        |
| 02 JI-MAXELAPSTIME       |  | USAGE IS COMP-2.       |
| * 継続実行の元となったジョブネットのジョブ番号 |  |                        |
| 02 JI-PARENTJNTNO        |  | USAGE IS COMP-2.       |
| * 将来拡張用                  |  |                        |
| 02 JI-BRANCH             |  | USAGE IS COMP-2.       |

ジョブ情報集団項目は、投入したジョブの各種情報を格納通知します。

| 項目                      | 説明   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
|-------------------------|--|------|----|-------------------------|---------------|------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|-----------------|-------------------|--------------|-------------------|-------------|-------------------|-------------|-------------------|--------------------|-------------------|-----------------|---------------------|-------------------|
| JI-SIZE                 | この集団項目のサイズです。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JI-JOBTTYPE             | ジョブの種類が通知されます。<br>ジョブの種類は、ジョブ種別と補足情報との組み合わせにて行われます。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
|                         | <table> <tr> <th>値</th><th>意味</th></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_BAT</td><td>バッチファイルです。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_EXE32</td><td>32 ビットアプリケーションです。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_EXE16</td><td>16 ビットアプリケーションです。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_EXEDOS</td><td>DOS アプリケーションです。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_JNT</td><td>ジョブネットワークです。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_COM</td><td>COM ファイルです。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_CMD</td><td>CMD ファイルです。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_PIF</td><td>PIF ファイルです(未サポート)。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_OS2</td><td>OS2 アプリケーションです。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_POSIX</td><td>POSIX アプリケーションです。</td></tr> </table> | 値    | 意味 | JMSS_JOBTTYPE_BAT       | バッチファイルです。    | JMSS_JOBTTYPE_EXE32    | 32 ビットアプリケーションです。    | JMSS_JOBTTYPE_EXE16  | 16 ビットアプリケーションです。     | JMSS_JOBTTYPE_EXEDOS   | DOS アプリケーションです。 | JMSS_JOBTTYPE_JNT | ジョブネットワークです。 | JMSS_JOBTTYPE_COM | COM ファイルです。 | JMSS_JOBTTYPE_CMD | CMD ファイルです。 | JMSS_JOBTTYPE_PIF | PIF ファイルです(未サポート)。 | JMSS_JOBTTYPE_OS2 | OS2 アプリケーションです。 | JMSS_JOBTTYPE_POSIX | POSIX アプリケーションです。 |
| 値                       | 意味   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_BAT       | バッチファイルです。   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_EXE32     | 32 ビットアプリケーションです。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_EXE16     | 16 ビットアプリケーションです。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_EXEDOS    | DOS アプリケーションです。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_JNT       | ジョブネットワークです。   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_COM       | COM ファイルです。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_CMD       | CMD ファイルです。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_PIF       | PIF ファイルです(未サポート)。   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_OS2       | OS2 アプリケーションです。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_POSIX     | POSIX アプリケーションです。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
|                         | JMSS_JOBTTYPE_STDOUT_APEND 標準出力監視ファイルは追加モードです。   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
|                         | JMSS_JOBTTYPE_STDOUT_USERFILE 標準出力監視ファイルはユーザ指定ファイルです。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
|                         | <table> <tr> <th>補足情報</th><th>意味</th></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_STDOUT</td><td>標準出力監視をしています。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_CONTINUE</td><td>継続実行しているジョブネットワークです。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_REPEAT</td><td>スケジュール繰り返し実行指定されています。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBTTYPE_SCHEDULE</td><td>スケジュール実行されています。</td></tr> </table>   | 補足情報 | 意味 | JMSS_JOBTTYPE_STDOUT    | 標準出力監視をしています。 | JMSS_JOBTTYPE_CONTINUE | 継続実行しているジョブネットワークです。 | JMSS_JOBTTYPE_REPEAT | スケジュール繰り返し実行指定されています。 | JMSS_JOBTTYPE_SCHEDULE | スケジュール実行されています。 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| 補足情報                    | 意味   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_STDOUT    | 標準出力監視をしています。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_CONTINUE  | 継続実行しているジョブネットワークです。   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_REPEAT    | スケジュール繰り返し実行指定されています。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_JOBTTYPE_SCHEDULE  | スケジュール実行されています。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JI-NETID                | ジョブネットワークファイルにおけるジョブボックス ID が通知されます。   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JI-NETREV               | ジョブネットワークファイルの作成レビジョンが通知されます。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JI-SECONDARYID          | 派生ジョブの有無 ID が通知されます。   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
|                         | <table> <tr> <th>値</th><th>意味</th></tr> <tr> <td>JMSS_NOEXIST_DERIVE_JOB</td><td>派生ジョブはありません。</td></tr> <tr> <td>JMSS_EXIST_DERIVE_JOB</td><td>派生ジョブがあります。</td></tr> </table>  | 値    | 意味 | JMSS_NOEXIST_DERIVE_JOB | 派生ジョブはありません。  | JMSS_EXIST_DERIVE_JOB  | 派生ジョブがあります。          |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| 値                       | 意味   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_NOEXIST_DERIVE_JOB | 派生ジョブはありません。   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JMSS_EXIST_DERIVE_JOB   | 派生ジョブがあります。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JI-JOBNO                | ジョブ番号が通知されます。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JI-ROOTJOBNO            | このジョブの一番最初の親ジョブのジョブ番号が通知されます。本メンバが 0 であった場合は、親ジョブを持っていません。   |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JI-PARENTJOBNO          | このジョブの親ジョブのジョブ番号が通知されます。本メンバが 0 であった場合は、親ジョブを持っていません。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |
| JI-EXITCODE             | ジョブの終了コードが通知されます。起動エラー、終了(強制終了含む)時のみ意味を持ちます(起動エラー、終了(強制終了含む)以外の場合には 0 が返却されます)。  |      |    |                         |               |                        |                      |                      |                       |                        |                 |                   |              |                   |             |                   |             |                   |                    |                   |                 |                     |                   |



## JI-JOBSTATUS

ジョブの実行状態を通知します。次の値のいずれかになります。

| 値                            | 意味  |
|------------------------------|---|
| JMSS_JOBSTATUS_RUN           | このジョブは実行中です。                                |
| JMSS_JOBSTATUS_FINISH        | このジョブは終了しています。                              |
| JMSS_JOBSTATUS_TERM          | このジョブは強制終了されています。                           |
| JMSS_JOBSTATUS_ERROR         | このジョブは起動エラーとなっています。                         |
| JMSS_JOBSTATUS_EVENT_REC     | このジョブはイベント待ち状態です。                           |
| JMSS_JOBSTATUS_PAUSE         | このジョブは一時停止(ジョブキュー内での一時停止も含む)されています。         |
| JMSS_JOBSTATUS_EVENT_SEND    | このジョブはイベント送信を完了しています。                       |
| JMSS_JOBSTATUS_WAIT          | このジョブは実行待ちとなっています。                          |
| JMSS_JOBSTATUS_PENDING       | このジョブは保留状態となっています。                          |
| JMSS_JOBSTATUS_EXECUTE       | このジョブは現在起動中です。                              |
| JMSS_JOBSTATUS_EXCLUSIVE     | このジョブは排他制御待ちです。                             |
| JMSS_JOBSTATUS_RETRY         | このジョブは起動リトライ中です。                            |
| JMSS_JOBSTATUS_CHILDJOBRETRY | 派生ジョブが起動リトライ中です。                            |
| JMSS_JOBSTATUS_STOP          | ジョブは停止しています。                                |
| JMSS_JOBSTATUS_STOPPING      | ジョブは停止中です。                                  |
| JMSS_JOBSTATUS_JOBBOXRETRY   | ジョブボックスリトライ中です。                             |
| JMSS_JOBSTATUS_UNKNOWN       | ジョブ状態は不明です(ジョブ実行中に JLook サービスが予期せぬ終了をしました)。 |

## JI-PRIORITY

ジョブの優先順位が通知されます。次の値のいずれかになります。

| 値                    | 意味                       |
|----------------------|--------------------------|
| JMSS_PRIORITY_REAL   | 最高の優先順位でジョブを実行しています。     |
| JMSS_PRIORITY_HIGH   | 他のジョブより優先して実行しています。      |
| JMSS_PRIORITY_NORMAL | システム標準の優先順位でジョブを実行しています。 |
| JMSS_PRIORITY_IDLE   | 最低の優先順位でジョブを実行しています。     |

## JI-MINWORKINGSET

最小ワーキングセットサイズを通知します。

## JI-MAXWORKINGSET

最小ワーキングセットサイズを通知します。

## JI-USERCPUTIME

ユーザモードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。

## JI-KERNELCPUTIME

カーネルモードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。

## JI-TOTALCPUTIME

全モードの CPU 使用時間をミリ秒単位で通知します。

## JI-USERCPUPERCENT

ユーザモードの CPU 使用率を%で通知します。

## JI-KERNELCPUPERCENT

カーネルモードの CPU 使用率を%で通知します。

## JI-BEGINTIME

ジョブ開始日付/時間を通知します。

## JI-ENDTIME

ジョブ終了日付/時間を通知します。

## JI-REPEATINTERVAL

繰り返し周期の時間間隔が秒単位で通知されます。繰り返し実行以外の場合は常に 0 です。

## JI-REPEATMAXCOUNT

繰り返し回数が通知されます。繰り返し回数指定で起動されたジョブ以外は常に 0 です。

## JI-ENDREPEATTIME

繰り返し実行における終了時間が通知されます。終了時間指定で繰り返し起動されたジョブ以外は常に 0 です。

## JI-REPEATCOUNT

繰り返して実行された回数が通知されます。本項目は、ジョブ終了時にのみ設定され、他のジョブ状態の時には意味を持ちません。

## JI-EVENTID

イベント ID(最大 4 文字)が通知されます。

|                 |  |
|-----------------|--|
| JI-USERNAME     | 投入元のユーザ名(最大 40 文字)が通知されます。                   |
| JI-WSNAME       | 投入元のマシン名(最大 15 文字)が通知されます。                   |
| JI-QUEUENAME    | 投入ジョブキュー名(最大 15 文字)が通知されます。                  |
| JI-COMPUTERNAME | 実行先のマシン名(最大 15 文字)が通知されます。                   |
| JI-JOBNAME      | 業務名(最大 32 文字)が通知されます。                        |
| JI-JOBPATH      | ジョブのファイル名(最大 256 文字)がフルパスで通知されます。            |
| JI-JOBPARAM     | ジョブ投入時に指定したパラメータ(最大 256 文字)が通知されます。          |
| JI-EXECDIR      | ジョブの実行時ディレクトリ(最大 256 文字)が通知されます。             |
| JI-OUTFILENAME  | 標準出力ファイル名(最大 256 文字)がフルパスで通知されます。            |
| JI-MAXELAPSTIME | 実行経過時間タイムアウト時間が分単位で通知されます。未設定の場合は 0 が通知されます。 |
| JI-PARENTJNTNO  | 継続実行の元となったジョブネットのジョブ番号が通知されます。通常は 0 が通知されます。 |
| JI-BRANCH       | 将来拡張用です。                                     |

## JMSSJOBQINFO

|    |                    |                           |
|----|--------------------|---------------------------|
| 01 | JMSSJOBQINFO       |                           |
| 02 | JQ-INFO SIZE       | USAGE IS COMP-2 VALUE 44. |
| *  | ジョブキュー名            |                           |
| 02 | JQ-QUEUE NAME      | PIC X(15).                |
| 02 | FILLER             | PIC X VALUE LOW-VALUE.    |
| *  | ジョブキューの状態          |                           |
| 02 | JQ-QUEUE CONDITION | USAGE IS COMP-2.          |
| *  | 最大ジョブキュー多重度        |                           |
| 02 | JQ-MAX RUNNING JOB | USAGE IS COMP-2.          |
| *  | 現在実行中ジョブ数          |                           |
| 02 | JQ-CUR RUNNING JOB | USAGE IS COMP-2.          |
| *  | 最大登録ジョブ数           |                           |
| 02 | JQ-MAX ENTRY JOB   | USAGE IS COMP-2.          |
| *  | 現在登録済みのジョブ数        |                           |
| 02 | JQ-CUR ENTRY JOB   | USAGE IS COMP-2.          |
| *  | 登録状況               |                           |
| 02 | JQ-ENTRY STATUS    | USAGE IS COMP-2.          |

ジョブキュー情報集団項目は、ジョブキューの各種情報を格納します。

| 項目                        | 説明   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
|---------------------------|--|---|----|--------------------------|---------------------|---------------------------|------------------------|-------------------------|------------------|
| JQ-INFO SIZE              | この集団項目のサイズです。  |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JQ-QUEUE NAME             | 情報を取得するジョブキュー名を指定します。キュー名は最大 15 文字までです。文字列の最後は"00"で終了していなければなりません。   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JQ-QUEUE CONDITION        | ジョブキューの状態が通知されます。次の値のいずれかになります。  |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
|                           | <table> <tr> <th>値</th><th>意味</th></tr> <tr> <td>JMSS_JOBQUECOND_OPEN</td><td>ジョブキューは開いています。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBQUECOND_CLOSE</td><td>ジョブキューは閉じています。</td></tr> </table>  | 値 | 意味 | JMSS_JOBQUECOND_OPEN     | ジョブキューは開いています。      | JMSS_JOBQUECOND_CLOSE     | ジョブキューは閉じています。         |                         |                  |
| 値                         | 意味   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JMSS_JOBQUECOND_OPEN      | ジョブキューは開いています。   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JMSS_JOBQUECOND_CLOSE     | ジョブキューは閉じています。   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JQ-MAX RUNNING JOB        | ジョブキューの多重度が通知されます。   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JQ-CUR RUNNING JOB        | 現在実行中のジョブ数が通知されます。   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JQ-MAX ENTRY JOB          | ジョブキューの登録可能ジョブ数が通知されます。  |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JQ-CUR ENTRY JOB          | 現在登録されているジョブ数が通知されます。  |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JQ-ENTRY STATUS           | ジョブキューへの登録状態が通知されます。次の値のいずれかになります。   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
|                           | <table> <tr> <th>値</th><th>意味</th></tr> <tr> <td>JMSS_JOBQUEENTSTS_NORMAL</td><td>登録可能ジョブ数の 90% 以下です。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBQUEENTSTS_WARNING</td><td>登録可能ジョブ数の 90% を超えています。</td></tr> <tr> <td>JMSS_JOBQUEENTSTS_ERROR</td><td>登録可能ジョブ数に達しています。</td></tr> </table> | 値 | 意味 | JMSS_JOBQUEENTSTS_NORMAL | 登録可能ジョブ数の 90% 以下です。 | JMSS_JOBQUEENTSTS_WARNING | 登録可能ジョブ数の 90% を超えています。 | JMSS_JOBQUEENTSTS_ERROR | 登録可能ジョブ数に達しています。 |
| 値                         | 意味   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JMSS_JOBQUEENTSTS_NORMAL  | 登録可能ジョブ数の 90% 以下です。  |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JMSS_JOBQUEENTSTS_WARNING | 登録可能ジョブ数の 90% を超えています。   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
| JMSS_JOBQUEENTSTS_ERROR   | 登録可能ジョブ数に達しています。   |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |
|                           | JQ-ENTRY STATUS は、一旦 JMSS_JOBQUEENTSTS_WARNING または JMSS_JOBQUEENTSTS_ERROR となると、登録可能ジョブ数の 80% 未満になるまで値は変化せず、80% 未満になった時点で JMSS_JOBQUEENTSTS_NORMAL となります。  |   |    |                          |                     |                           |                        |                         |                  |



# 第7章 コード一覧

---

## 7.1 エラーコード

JAPI の各 API で返却されるエラーコードについて説明します。

(“0x”が付いている数値は 16 進数を表します。)

|                        |                        |  |
|------------------------|------------------------|--|
| JMSS_PARAM_ERROR       | 1610612736(0x60000000) | 指定されたパラメータが不正です。   |
| JMSS_NOT_ENOUGH_MEMORY | 1610612737(0x60000001) | メモリが足りません。   |
| JMSS_NO_CONNECT        | 1610612738(0x60000002) | JMSS サーバに接続できません。  |
| JMSS_NOGET_SERVERNAME  | 1610612739(0x60000003) | デフォルトの JMSS サーバ名が取得できません。JMSS インストールディレクトリにある JAPI.dll をロードしていないときに起きることがあります。 |
| JMSS_SECURITY_NO_USE   | 1610612740(0x60000004) | 現在のユーザに JMSS 利用権がありません。JMSS/JEnv で設定してください。                                    |
| JMSS_SECURITY_NO_THROW | 1610612741(0x60000005) | 現在のユーザにジョブ投入権がありません。JMSS/JEnv で設定してください。                                       |
| JMSS_SECURITY_NO_STOP  | 1610612742(0x60000006) | 他ユーザ強制終了権を持っていないユーザが、他ユーザ投入ジョブを強制終了しようとした。                                     |
| JMSS_QUEUE_NOTFOUND    | 1610612743(0x60000007) | ジョブキューが見つかりません。  |
| JMSS_QUEUE_FULL        | 1610612744(0x60000008) | 指定されたジョブキューはすでに最大登録ジョブ数分のジョブが登録されています。   |
| JMSS_QUEUE_CLOSED      | 1610612745(0x60000009) | 指定されたジョブキューは閉じられています。  |
| JMSS_NO_JOB            | 1610612746(0x6000000A) | 指定されたジョブ番号のジョブはありません。  |
| JMSS_NOWATCH           | 1610612747(0x6000000B) | このジョブは監視されていません。   |
| JMSS_TIMEOUT           | 1610612748(0x6000000C) | タイムアウトしました。  |

|                              |                        |   |
|------------------------------|------------------------|---|
| JMSS_NO_ENOUGH_BUF           | 1610612749(0x6000000D) | 指定された領域が不足しています。  |
| JMSS_CANCEL                  | 1610612750(0x6000000E) | [キャンセル]ボタンが選択されました。                                       |
| JMSS_NO_TERMINATE            | 1610612752(0x60000010) | 指定されたジョブの強制終了はできませんでした(すでに終了/強制終了/起動エラーとなっている可能性があります)。   |
| JMSS_WSEML_JOB               | 1610612753(0x60000011) | このジョブは WS-EML 環境で起動されたジョブです。                              |
| JMSS_NO_SEND_EVENT           | 1610612754(0x60000012) | イベント送信に失敗しました。  |
| JMSS_SECURITY_ERROR          | 1610612755(0x60000013) | セキュリティ情報の取得に失敗しました。                                       |
| JMSS_NO_PAUSE                | 1610612756(0x60000014) | 指定されたジョブの一時停止はできませんでした(すでに一時停止している可能性があります)。              |
| JMSS_NO_RESTART              | 1610612757(0x60000015) | 指定されたジョブの再開はできませんでした(すでに再開されている可能性があります)。                 |
| JMSS_NOT_JOBNET              | 1610612758(0x60000016) | 指定されたジョブ番号のジョブはジョブネットワークではありません(指定したジョブが実行中の場合にのみ通知されます)。 |
| JMSS_ERROR_NOGET_ENVIRONMENT | 1610612759(0x60000017) | WS-EML 用の環境変数取得に失敗しました。                                   |
| JMSS_NO_CHAILDJOB            | 1610612760(0x60000018) | 派生ジョブがありません。  |
| JMSS_PARENTJOB_TERMINATE     | 1610612761(0x60000019) | 親ジョブが強制終了中です。   |
| JMSS_POWEROFF_TERMINATE      | 1610612768(0x60000020) | 電源切断処理中です。  |
| JMSS_EXCLUSIVE_ERROR         | 1610612769(0x60000021) | 排他待ちのため投入できませんでした。  |
| JMSS_NOGET_PRODUCT_ID        | 1610612770(0x60000022) | JMSS の種別が判別できません。   |
| JMSS_NOT_REPORT_EVENT        | 1610612771(0x60000023) | アラート(イベントログ)が出力できません。                                     |

|                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| JMSS_NOT_INSTALLED       | 1610612772(0x60000024) |
| JMSS が正常にインストールされていません。  |                        |
| JMSS_NO_HOLD             | 1610612775(0x60000027) |
| ジョブを保留できません。             |                        |
| JMSS_NO_RELEASE          | 1610612776(0x60000028) |
| ジョブを保留解除できません。           |                        |
| JMSS_NO_DELETE           | 1610612777(0x60000029) |
| ジョブを登録削除できません。           |                        |
| JMSS_OVERLAP_JOBNO       | 1610612784(0x60000030) |
| ジョブ番号が重複しています。           |                        |
| JMSS_NO_STOP             | 1610612785(0x60000031) |
| ジョブを停止できません。             |                        |
| JMSS_NO_CONTINUE         | 1610612786(0x60000032) |
| ジョブを継続できません。             |                        |
| JMSS_SECURITY_NO_CONTROL | 1610612787(0x60000033) |
| セキュリティ設定権がありません。         |                        |
| JMSS_BADPATH             | 1610612802(0x60000042) |
| 指定したパスの長さが規定値を超えています。    |                        |
| JMSS_NO_JOBNO            | 1611661312(0x60100000) |
| 指定されたジョブ番号のジョブは存在しません。   |                        |

## 7.2 その他定数

JAPI の各 API で使用するコード(定数)について説明します。  
("0x"が付いている数値は 16 進数を表します。)

JmssControlJob(\_JmssControlJob)API で使用されます。

|                        |   |                             |
|------------------------|---|-----------------------------|
| JMSS_CONTROL_TERMINATE | 0 | 強制終了要求を行います。                |
| JMSS_CONTROL_SUSPEND   | 1 | 実行中のジョブネットワークの一時停止を要求します。   |
| JMSS_CONTROL_RESUME    | 2 | 一時停止中のジョブネットワークの再開を要求します。   |
| JMSS_CONTROL_HOLD      | 4 | ジョブの保留を要求します。               |
| JMSS_CONTROL_RELEASE   | 5 | 保留ジョブの保留解除を要求します。           |
| JMSS_CONTROL_DELETE    | 6 | ジョブネット/繰り返しジョブの登録削除を要求します。  |
| JMSS_CONTROL_STOP      | 7 | 実行中ジョブネット/繰り返しジョブの停止を要求します。 |
| JMSS_CONTROL_CONTINUE  | 8 | 停止中ジョブネット/繰り返しジョブの継続を要求します。 |

JmssGetChildJobList(\_JmssGetChildJobList)API で指定する派生ジョブ状態に設定される値です。

|                  |            |                            |
|------------------|------------|----------------------------|
| JMSS_CONTROL_END | 0x00000001 | 実行終了した派生ジョブを対象とします。        |
| JMSS_CONTROL_RUN | 0x00000010 | 実行中の派生ジョブを対象とします。          |
| JMSS_CONTROL_QUE | 0x00000100 | 実行待ち(起動中も含む)の派生ジョブを対象とします。 |

JmssGetJobStatus(\_JmssGetJobStatus)API で取得したジョブ種別に設定される値です。

|                              |            |                         |
|------------------------------|------------|-------------------------|
| JMSS_JOBTYPE_BAT             | 1          | バッチファイルです。              |
| JMSS_JOBTYPE_EXE32           | 2          | 32 ビットアプリケーションです。       |
| JMSS_JOBTYPE_EXE16           | 3          | 16 ビットアプリケーションです。       |
| JMSS_JOBTYPE_EXEDOS          | 4          | DOS アプリケーションです。         |
| JMSS_JOBTYPE_JNT             | 5          | ジョブネットワークです。            |
| JMSS_JOBTYPE_COM             | 6          | COM ファイルです。             |
| JMSS_JOBTYPE_CMD             | 7          | CMD ファイルです。             |
| JMSS_JOBTYPE_PIF             | 8          | PIF ファイルです(未サポート)。      |
| JMSS_JOBTYPE_OS2             | 9          | OS2 アプリケーションです。         |
| JMSS_JOBTYPE_POSIX           | 10         | POSIX アプリケーションです。       |
| JMSS_JOBTYPE_UNKNOWN         | 255        | 不明です。                   |
| JMSS_JOBTYPE_STDOUT_APEND    | 0x00000400 | 標準出力監視ファイルは追加モードです。     |
| JMSS_JOBTYPE_STDOUT_USERFILE | 0x00000800 | 標準出力監視ファイルはユーザ指定ファイルです。 |
| JMSS_JOBTYPE_STDOUT          | 0x00001000 | 標準出力監視をしています。           |
| JMSS_JOBTYPE_CONTRINUE       | 0x00002000 | 継続実行しているジョブネットワークです。    |
| JMSS_JOBTYPE_REPEAT          | 0x00004000 | スケジュール繰り返し実行指定されています。   |
| JMSS_JOBTYPE_SCHEDULE        | 0x00008000 | スケジュール実行されています。         |



JmssGetJobStatus(\_JmssGetJobStatus)API で取得したジョブ情報のジョブ実行状態に設定される値です。

|                              |     |   |
|------------------------------|-----|---|
| JMSS_JOBSTATUS_RUN           | 0   | このジョブは現在実行中です。                                      |
| JMSS_JOBSTATUS_FINISH        | 1   | このジョブは終了しています。                                      |
| JMSS_JOBSTATUS_TERM          | 2   | このジョブは強制終了されています。                                   |
| JMSS_JOBSTATUS_ERROR         | 3   | このジョブは起動エラーとなっています。                                 |
| JMSS_JOBSTATUS_EVENT_REC     | 4   | このジョブはイベント待ち状態です。                                   |
| JMSS_JOBSTATUS_PAUSE         | 5   | このジョブは一時停止されています。                                   |
| JMSS_JOBSTATUS_EVENT_SEND    | 6   | このジョブはイベント送信を完了しています。                               |
| JMSS_JOBSTATUS_WAIT          | 7   | このジョブは実行待ちとなっています。                                  |
| JMSS_JOBSTATUS_PENDING       | 8   | このジョブは保留状態となっています。                                  |
| JMSS_JOBSTATUS_EXECUTE       | 9   | このジョブは現在起動中です。                                      |
| JMSS_JOBSTATUS_EXCLUSIVE     | 10  | このジョブは排他制御待ちです。                                     |
| JMSS_JOBSTATUS_RETRY         | 11  | このジョブは起動リトライ中です。                                    |
| JMSS_JOBSTATUS_CHILDJOBRETRY | 12  | このジョブは派生ジョブが起動リトライ中です。                              |
| JMSS_JOBSTATUS_STOP          | 13  | このジョブは停止しています。                                      |
| JMSS_JOBSTATUS_STOPPING      | 14  | このジョブは停止中です。  |
| JMSS_JOBSTATUS_JOBBOXRETRY   | 15  | このジョブはジョブボックスリトライ中です。                               |
| JMSS_JOBSTATUS_UNKNOWN       | 127 | このジョブの状態は不明です。<br>(ジョブ実行中に JLook サービスが予期せぬ終了をしました)。 |

JmssThrowJob(\_JmssThrowJob)API で使用するジョブ投入情報のジョブ優先順位に設定する値です。または、JmssGetJobStatus(\_JmssGetJobStatus)API で取得したジョブ情報のジョブ優先順位に設定される値です。

|                      |   |                           |
|----------------------|---|---------------------------|
| JMSS_PRIORITY_REAL   | 0 | 最高の優先順位でジョブを実行します。        |
| JMSS_PRIORITY_HIGH   | 1 | 他のジョブより優先して速やかに実行します。     |
| JMSS_PRIORITY_NORMAL | 2 | システム標準の優先順位でジョブを実行します。    |
| JMSS_PRIORITY_IDLE   | 3 | システムがアイドル状態の時だけジョブを実行します。 |

JmssThrowJob(\_JmssThrowJob)API で使用するジョブ投入情報の標準出力監視フラグに設定する値です。

|                              |   |                        |
|------------------------------|---|------------------------|
| JMSS_STDOUT_NOWATCH          | 0 | 標準出力監視をしません。           |
| JMSS_STDOUT_SYSTEM_OVERWRITE | 1 | システム上書きモードで監視します。      |
| JMSS_STDOUT_SYSTEM_APPEND    | 2 | システム追加モードで監視します。       |
| JMSS_STDOUT_USER_OVERWRITE   | 3 | ユーザ指定ファイル上書きモードで監視します。 |
| JMSS_STDOUT_USER_APPEND      | 4 | ユーザ指定ファイル追加モードで監視します。  |

JmssThrowJob(\_JmssThrowJob)API で使用するジョブ終了通知に設定する値です。

|               |   |                |
|---------------|---|----------------|
| JMSS_SEND_NO  | 0 | 通知しません。        |
| JMSS_SEND_YES | 1 | ジョブの終了時に通知します。 |

JmssGetJobStatus(\_JmssGetJobStatus)API で取得したジョブ情報の派生ジョブ有無 ID に設定される値です。

|                         |   |              |
|-------------------------|---|--------------|
| JMSS_NOEXIST_DERIVE_JOB | 0 | 派生ジョブはありません。 |
| JMSS_EXIST_DERIVE_JOB   | 1 | 派生ジョブがあります。  |

JmssGetJobQueue(\_JmssGetJobQueue)API で取得したジョブキュー情報のジョブキューの状態に設定される値です。

|                       |   |                |
|-----------------------|---|----------------|
| JMSS_JOBQUECOND_OPEN  | 0 | ジョブキューは開いています。 |
| JMSS_JOBQUECOND_CLOSE | 1 | ジョブキューは閉じています。 |

JmssGetJobQueue(\_JmssGetJobQueue)API で取得したジョブキュー情報のジョブキューへの登録状態に設定される値です。

|                           |   |                     |
|---------------------------|---|---------------------|
| JMSS_JOBQUEENTSTS_NOMAL   | 0 | 登録可能ジョブ数の 90% 未満です。 |
| JMSS_JOBQUEENTSTS_WARNING | 1 | 登録可能ジョブ数の 90% 以上です。 |
| JMSS_JOBQUEENTSTS_ERROR   | 2 | 登録可能ジョブ数に達しています。    |

JmssReportEvent(\_JmssReportEvent)API で使用されます

|                        |         |                     |
|------------------------|---------|---------------------|
| JMSS_JALT_MODE_MANAGER | 0x10000 | ESMPRO マネージャに通報します。 |
| JMSS_JALT_MODE_PAGER   | 0x20000 | ESMPRO ページャに通報します。  |

JmssReportEvent(\_JmssReportEvent)API で使用されます

|                           |   |               |
|---------------------------|---|---------------|
| JMSS_JALT_TYPE_INFOMATION | 0 | 情報レベルで通報します。  |
| JMSS_JALT_TYPE_WARNING    | 1 | 警告レベルで通報します。  |
| JMSS_JALT_TYPE_ERROR      | 2 | エラーレベルで通報します。 |

## 第 8 章 互換性留意事項

---

### 8.1 JMSS Ver2.0 ~ 4.0 開発キット JAPI との互換

#### JMSS Ver 2.0 ~ 4.0 開発キット JAPI との互換

JMSS Ver 2.0 ~ 4.0 開発キット JAPI を使用して作成したユーザアプリケーションは、ジョブキュー参照 API を除き、そのまま JMSS Ver 6.0 上で使用することができます(ビルドしたバージョンの JAPI.DLL を使用してください)。

ジョブキュー参照 API を使用するには、Ver6.0 の開発環境で再ビルドを行う必要があります。

JMSS Ver 6.0 開発キット JAPI を使用して作成したユーザアプリケーションは JMSS Ver 2.0 ~ 4.0 では使用することができません。

#### JMSS Ver 5.0 開発キット JAPI との互換

JMSS Ver 5.0 開発キット JAPI を使用して作成したユーザアプリケーションは、そのまま JMSS Ver 6.0 上で使用することができます(ビルドしたバージョンの JAPI.DLL を使用してください)。

JMSS Ver 6.0 開発キット JAPI を使用して作成したユーザアプリケーションは JMSS Ver 5.0 では使用することができません。



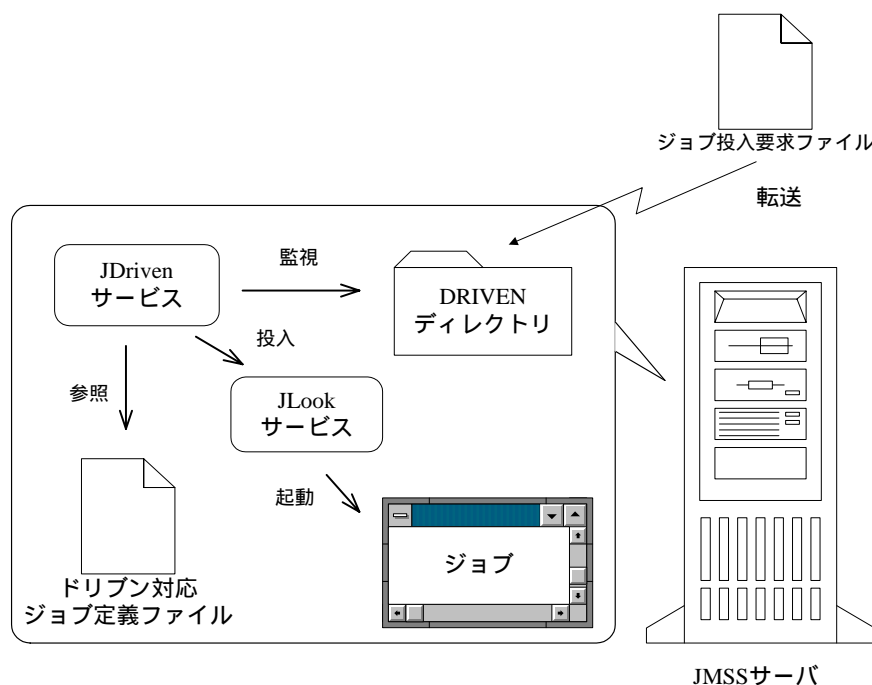
## 第9章 ホスト連携機能

### 9.1 ホスト連携機能とは

ホスト連携機能は、JMSS サーバにジョブ投入要求ファイルを転送することにより、あらかじめ定義しておいたジョブを投入することができる機能です。

### 9.2 ホストからのジョブ投入要求処理の概要

JAPI をインストールすると、ホスト連携サービス(JMSS JDriven Service)がインストールされます。このサービスは、ファイル転送があったかどうかを監視し、転送されたファイルがあった場合には、それに対応したジョブを投入します。



**ファイル転送:** ホストから DRIVEN ディレクトリにファイルを転送します。

**監視:** DRIVEN ディレクトリを監視し、ファイルが転送されたらファイル名と内容を参照します。

**参照:** 転送されたファイル名に対応したジョブ情報を DRVJOB.INI ファイルから参照します

**投入:** 参照したジョブ情報にしたがってジョブ投入要求を行います。

**起動:** 投入要求を受け取った JLook サービスは対応するジョブを起動します。

## 9.3 投入要求の準備

ジョブ投入要求を行うには、ジョブ投入要求ファイルとドリブン対応ジョブ定義ファイル(いずれもテキスト形式)を設定する必要があります。

また、ジョブ投入要求は、ドリブン ID という ID で管理します。投入するジョブそれぞれに、英数字4文字以内(英字は大文字のみ)の ID を付与してください。

### ドリブン対応ジョブ定義ファイル(drvjob.ini)

ドリブン対応ジョブ定義ファイル(drvjob.ini)に、投入するジョブの設定をドリブン ID 毎に設定します。drvjob.ini は、JMSS インストールディレクトリの下にあります。

drvjob.ini は、全体の情報を指定する[GLOBAL]セクション(全体で1つ)と、各ドリブンに対応したジョブを定義する[ドリブン ID]セクション(投入するジョブごとに定義)で構成されています。

#### [GLOBAL]

USERNAME=*username*

投入元ユーザ名を指定します。省略すると、JDriven サービス起動時のユーザ名(通常は SYSTEM)となります。各ドリブン対応ジョブ定義セクションで投入元ユーザ名が指定されている場合は、そちらが優先されます。

WSNAME=*wsname*

投入元マシン名を指定します。省略すると、JMSS サーバのマシン名となります。各ドリブン対応ジョブ定義セクションで投入元マシン名が指定されている場合は、そちらが優先されます。

#### [ドリブン ID]

JOBFILE=*jobfile*

ジョブファイル名を指定します。(必須)

TITLE=*title*

業務名(半角 32 文字まで)を指定します。省略すると、ジョブファイル名からパスと拡張子を除いた名前となります。

DIRECTORY=*directory*

実行時ディレクトリを指定します。省略すると、JMSS インストールディレクトリとなります。

OUTPUT=*output*

標準出力監視オプションを数値で指定します。省略すると、0 となります。

0: 監視しない

1: 監視する(システムファイル上書きモード)

2: 監視する(システムファイル追加モード)

3: 監視する(ファイル指定上書きモード)

4: 監視する(ファイル指定追加モード)

OUTPUTFILE=*outputfile*

OUTPUT に 3 または 4 を指定した場合、標準出力保存先ファイル名を指定します。

LIMIT=*limit*

実行経過時間タイムアウトを分単位で指定します。

REPORT=*report*

ジョブ終了通知を指定します。

0: 通知する

1: 通知しない

PRIORITY=*priority*

優先順位を指定します。省略すると、2 となります。

0=REAL

1=HIGH

2=NORMAL

3=IDLE

QUEUE=*queue*

投入先キュー名を指定します。省略すると、JMSS サーバのデフォルトキューとなります。

USERNAME=*username*

投入元ユーザ名を指定します。省略すると、GLOBAL セクションに設定されているユーザ名となります。

WSNAME=*wsname*

投入元マシン名を指定します。省略すると、GLOBAL セクションに設定されているマシン名となります。

[ドリブン ID]

: (次のドリブンについて定義)

:

同じドリブンIDが複数設定されていた場合は、ファイルの先頭に近い方の設定が参照されます  
先頭に”;”(セミコロン)がついた行はコメント行となります。

## ジョブ投入要求ファイル

ドリブンIDをファイル名とするファイル(拡張子なし)を作成し、投入するジョブのパラメータを記述します。

|       |  |
|-------|--|
| パラメータ | ファイルの1行目にパラメータを指定してください。                             |
| //EOF | ファイル終了文字列(この行は必ずファイルの最後に指定してください。前後にスペースを入れないでください。) |

パラメータは省略可能です。省略する場合は、1行目に「//EOF」を記述してください。

## 9.4 ホストからのジョブ投入要求方法

ジョブ投入要求ファイルを、JMSS インストールディレクトリ下の DRIVEN サブディレクトリに転送すると、ファイル名と同じドリブンIDに対応したジョブが起動されます。

ジョブが投入されると、ジョブ投入要求ファイルは DRIVEN サブディレクトリから削除されます。ファイル転送が途中で失敗した等、「//EOF」の行がないファイルが DRIVEN ディレクトリに作成された場合は、エクスプローラ等で削除してください。



**ESMPRO<sup>TM</sup>/JMSS<sup>®</sup> Ver6.0**

**開発キット JAPI**

**ユーザーズマニュアル**

2003年 10月 初版

**日本電気株式会社**

東京都港区芝五丁目7番1号

TEL(03)3454-1111(大代表)

**開発 NECソフト株式会社**

東京都江東区新木場1-18-6

TEL(03)5569-3333(大代表)

(C)NEC Corporation/NEC Soft, Ltd.1995,2003

日本電気株式会社の許可なく複製・改編などを行うことはできません。  
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。